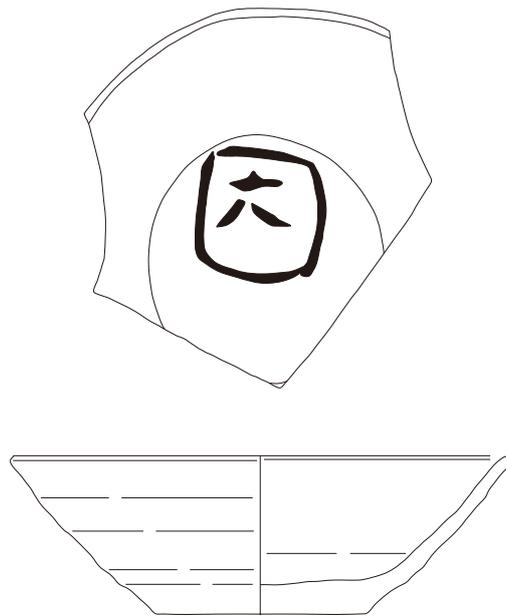


町内遺跡発掘調査報告書Ⅸ



2017.3

埼玉県入間郡三芳町教育委員会

はじめに

三芳町は、都心から僅か 30km の位置にありながら、武蔵野の面影を偲ばせる雑木林が随所に広がる、緑豊かな町であります。また、埼玉県指定旧跡「三富開拓地割遺跡」や埼玉県指定有形民俗文化財「竹間沢車人形の道具」などをはじめ、数多くの文化財を伝え残しています。

昭和 40 年代までは、畑作中心の純農村地帯として緩やかに発展してきましたが、その後の高度成長期から、住宅開発や工場・倉庫などの進出によりその姿は急速な変貌を遂げてきました。

このような都市化の進展や経済的な発展に伴い、緑地や文化財が失われつつあります。このため、三芳町教育委員会としては、文化財保護を教育行政の重点施策に位置づけて、先人たちが培ってきた様々な文化や歴史を、将来への発展の礎となる貴重な遺産として保護し、伝え残していく努力を続けています。とりわけ、町内に残された 33 箇所の遺跡すなわち埋蔵文化財は、先人たちの営みを知り得る大切な文化財として、国及び県の補助を得て記録保存のための発掘調査を実施することができました。

ここに刊行する『町内遺跡発掘調査報告書』には、国庫・県費補助事業として平成 24 年度から平成 26 年度の 3 年間にわたり実施した町内遺跡発掘調査事業の成果などが記録されています。

開発に先立つ発掘調査が実施され、本書が刊行できますことは、ひとえに関係者の皆様のご理解とご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

また、本書が多くの方々の埋蔵文化財に対する理解と関心を深め、郷土の歴史・文化遺産を伝え残し、三芳町がより一層の発展を遂げていくための一助となることを願ってやみません。

三芳町教育委員会
教育長 桑原孝昭

例 言

1. 本書は、埼玉県入間郡三芳町に所在する三芳町町内遺跡の発掘・試掘確認調査成果の報告書である。発掘・試掘確認調査は三芳町教育委員会が主体となり、国庫・県費補助事業として平成 24 年度から平成 26 年度までの 3 年間に実施した。また、附編に掲載した発掘調査については、各開発者から三芳町教育委員会が委託を受け実施した。
2. 国庫・県費補助事業「町内遺跡発掘調査事業」として本書に収録した発掘・試掘確認調査は、平成 24 年度に総額 3,022,275 円（国庫 1,500,000 円・県費 366,000 円・町費 1,156,275 円）、平成 25 年度に総額 3,568,430 円（国庫 1,750,000 円・県費 366,000 円・町費 1,452,430 円）、平成 26 年度に総額 2,252,285 円（国庫 1,050,000 円・県費 350,000 円・町費 852,285 円）をもって実施したものである。
3. 整理作業は各年度及び平成 27 年度・平成 28 年度に、報告書刊行は平成 28 年度に行った。
4. 自然科学分析については、平成 25 年度の町費事業として業務委託を行った。
5. 平成 24 年度から平成 26 年度までの発掘・試掘確認調査組織は下記のとおりである。

【平成 24 年度・平成 25 年度】

調査主体者	三芳町教育委員会	教育長	桑原孝昭
調査事務局	文化財保護課	参事	松本富雄（平成 25 年 3 月まで 平成 24 年 9 月まで課長）
	同	課長	鈴木義雄（平成 26 年 10 月より）
	同	係長	間仁田忠男
	同	主査	小沼美典
	同	主任	大久保淳
	同	主事	内藤友映
調査担当	同	主任	越前谷理

【平成 26 年度】

調査主体者	三芳町教育委員会	教育長	桑原孝昭
調査事務局	文化財保護課	参事	鈴木義雄（平成 26 年 8 月まで課長）
	同	課長	柳井章宏（主幹兼務 平成 26 年 8 月まで副課長）
	同	主査	印南孝雄
	同	主査	小沼美典
	同	主事	内藤友映
調査担当	同	主幹	柳井章宏
	同	主任	越前谷理

6. 平成 27 年度及び平成 28 年度の調査組織は下記のとおりである。
- | | | | |
|-------|----------|-----|---------------------|
| 調査主体者 | 三芳町教育委員会 | 教育長 | 桑原孝昭 |
| 調査事務局 | 文化財保護課 | 課長 | 柳井章宏（主幹兼務） |
| | 同 | 主査 | 小沼美典（平成 28 年 3 月まで） |
| | 同 | 主査 | 荻野恵子（平成 28 年 4 月より） |
| | 同 | 主任 | 中村 愛（平成 28 年 4 月より） |
| | 同 | 主事 | 窪田藤夫（平成 28 年 3 月まで） |
| | 同 | 主事 | 内藤友映（平成 28 年 3 月まで） |
| | 同 | 主事補 | 岡野賢人 |
| 調査担当 | 同 | 主幹 | 柳井章宏 |
| | 同 | 主任 | 越前谷理 |
7. 出土遺物及び遺構図面類は、三芳町教育委員会が保管する。
 8. 遺構写真撮影、本書の執筆・編集、挿図・図版作成、遺物写真撮影は越前谷理が行った。附編の古井戸山遺跡次の遺物実測図作成及び遺物写真撮影は（株）東京航業研究所に、中東遺跡第 9 地点の遺物実測図作成・遺物写真撮影・原稿執筆は（有）アルケーリサーチにそれぞれ業務委託を行い、自然科学分析は（株）火山灰考古学研究所に業務委託を行った。
 9. 本書に掲載した図版等の凡例は、それぞれの図で示した。
 10. 本書で使用した図面の方位は全て座標北であり、測量は日本測地系及び世界測地系に基づいている。
 11. 本書に掲載した地図は、三芳町発行の 1/2,500 及び 1/10,000 である。
 12. 発掘現場での遺構・遺物の記録、整理作業での図版作成は、（株）CUBIC 社製「遺構くん Cubic」を使用した。
 13. 本書の作成・編集には、主に Adobe 社製 Illustrator CS5、Photoshop CS5、InDesign CS5、Acrobat 9 を使用した。
 14. 発掘調査及び出土資料の整理・報告にあたり、下記の諸氏・関係機関にご教授・ご指導を賜った。記して感謝の意を表したい。（順不同、敬称略）
岡崎裕子、加藤秀之、亀田直美、隈本健介、小菅将夫、酒巻孝光、笹森健一、佐藤一也、鈴木美保、砂田佳弘、須藤隆司、諏訪間順、早田勉、高崎直成、坪田幹男、長崎潤一、鍋島直久、西井幸雄、根本靖、野口淳、早坂廣人、藤波啓容、堀善之、柳沢健司、和田晋治、埼玉県生涯学習文化財課、ふじみ野市教育委員会、富士見市教育委員会、（有）アルケーリサーチ、（株）火山灰考古学研究所、（株）CUBIC、（株）東京航業研究所
 15. 発掘調査ならびに整理作業従事者は下記のとおりである。（敬称略）
浅沼薫、阿部欽一、江幡春江、大下潤子、荻原雅夫、川井浩一、黒岩裕二、佐藤洋子、清水行枝、武政潤一、田中夫味子、田村早苗、仲井キヨ子、永見武男、奈良部大樹、野上吉樹、平田小百合、藤本昭一、堀田敦子、松本アキヨ、松野清、黛佳代子、望月正一、吉田悦子、渡邊愛

目次

はじめに

例言

目次・挿図目次・表目次

写真図版目次

序章	1
1. 三芳町町内遺跡について	1
2. 遺跡の立地と環境	2
年度ごとの調査概要	4
1. 発掘調査	4
2. 試掘確認調査	4
各遺跡の調査	6
1. 中東遺跡第6地点(2次)の調査	6
1) 遺跡の立地と概要	6
2) 調査の経緯	6
3) 遺構と遺物	6
2. 本村南遺跡第12地点の調査	8
1) 遺跡の立地と概要	8
2) 調査の経緯	8
3) 遺構と遺物	8
3. 本村北H地点の調査	11
1) 遺跡の立地と概要	11
2) 調査の経緯	11
3) 遺構と遺物	11
自然科学分析	19
附編	29
1. 古井戸山遺跡 次の調査	29
1) 遺跡の立地と概要	29
2) 調査の経緯	29
3) 遺構と遺物	29
2. 中東遺跡第9地点の調査	33
1) 遺跡の立地と概要	33
2) 調査の経緯	33
3) 遺構と遺物	33

挿図目次

第1図 三芳町遺跡分布図(1/30,000)	3
第2図 調査位置図(1/5,000)	6
第3図 調査区全体図(1/500)	6
第4図 ピット8石器出土位置図及び土層断面図(1/30)・出土石器(1/1)	7
第5図 調査位置図(1/2,500)	8
第6図 遺構配置図(1/200)・1号住居跡平面図及び土層断面図(1/60)・炉跡平面図及び土層断面図(1/30)	9
第7図 1号住居跡遺物出土状況(1/60)及び出土遺物(1/3)	10
第8図 調査位置図(1/2,500)	11
第9図 調査区全体図(1/200)・遺構配置図(1/60)	12
第10図 1号住居跡平面図及び土層断面図(1/60)・カマド平面図及び土層断面図(1/30)	12

第11図 1号住居跡遺物出土状況図(1/60)及び出土遺物(1/3・1/2)	13
第12図 2号住居跡平面図(1/60)・3号住居跡平面図及び土層断面図(1/60)	14
第13図 2号住居跡・3号住居跡カマド平面図及び土層断面図(1/30)	15
第14図 3号住居跡遺物出土状況図(1/60)及び出土遺物(1/3)	17
第15図 中東遺跡第6地点(2次)ピット8の土層柱状図	22
第16図 中東遺跡第6地点(2次)ピット2の土層柱状図	22
第17図 ピット8の火山ガラス比ダイヤグラム	23
第18図 ピット8の植物珪酸体分析結果	27
第19図 調査位置図(1/2,500)	29
第20図 遺構配置図(1/100)・第1層石器出土状況図(1/60)及び出土石器(1/1)・第1層石器出土状況図(1/60)	30
第21図 1号住居跡平面図及び土層断面図(1/40)	31
第22図 1号焼土遺構平面図及び土層断面図(1/40)	31
第23図 第1層出土石器(1/2)	32
第24図 調査位置図(1/5,000)	33
第25図 遺構配置図(1/200)	34
第26図 トレンチ4土層断面図(1/100)	35
第27図 石器集中1 器種別分布図(1/60)	36
第28図 石器集中1 石材別分布図(1/60)	37
第29図 石器集中2 器種別分布図(1/60)	38
第30図 石器集中2 石材別分布図(1/60)	38
第31図 石器集中3 器種別分布図(1/80)	40
第32図 石器集中3 石材別分布図(1/80)	41
第33図 第1層下部～第1層出土石器(2/3)	43
第34図 第1層下部～第1層出土石器(2/3)	45
第35図 第1層下部～第1層出土石器(2/3)	47
第36図 第1層出土石器(2/3)	49
第37図 第1層出土石器(2/3)	50

表目次

第1表 試掘確認調査一覧表(1)	4
第2表 試掘確認調査一覧表(2)	5
第3表 ピット8の火山ガラス比分析結果	23
第4表 ピット8のテフラ検出分析結果	24
第5表 ピット8の植物珪酸体分析結果	27
第6表 第9地点石器組成表	50
第7表 第9地点石器属性表	51
第8表 第9地点石器属性表	52
第9表 第9地点石器属性表	53
第10表 第9地点石器属性表	54
第11表 第9地点石器属性表	55
第12表 第9地点石器属性表	56

写真図版目次

写真図版 1 平成 24 年度 藤久保東第三遺跡第 8 地点, 宮前遺跡

- 藤久保東第三遺跡第 8 地点 調査前全景
- 藤久保東第三遺跡第 8 地点 表土剥ぎ
- 藤久保東第三遺跡第 8 地点 調査風景
- 藤久保東第三遺跡第 8 地点 完掘(北から)
- 藤久保東第三遺跡第 8 地点 焼土遺構(北から)
- 藤久保東第三遺跡第 8 地点 埋め戻し
- 宮前遺跡 調査前全景
- 宮前遺跡 表土剥ぎ

写真図版 2 平成 24 年度 宮前遺跡, 三富開拓地割遺跡第 16 地点,

- 三富開拓地割遺跡第 17 地点 完掘(北から)
- 宮前遺跡 埋め戻し
- 三富開拓地割遺跡第 16 地点 調査前全景
- 三富開拓地割遺跡第 16 地点 表土剥ぎ
- 三富開拓地割遺跡第 16 地点 完掘(南から)
- 三富開拓地割遺跡第 16 地点 埋め戻し
- 三富開拓地割遺跡第 17 地点 調査前全景
- 三富開拓地割遺跡第 17 地点 調査風景

写真図版 3 平成 24 年度 三富開拓地割遺跡第 17 地点,

- 生出入北遺跡, 中西遺跡第 1 地点
- 三富開拓地割遺跡第 17 地点 石器集中(北から)
- 三富開拓地割遺跡第 17 地点 ナイフ形石器
- 生出入北遺跡 調査前全景
- 生出入北遺跡 完掘(東から)
- 中西遺跡第 1 地点 調査前全景
- 中西遺跡第 1 地点(試掘) 調査風景
- 中西遺跡第 1 地点(試掘) 遺物出土状況(北から)
- 中西遺跡第 1 地点(試掘) 完掘(北東から)

写真図版 4 平成 24 年度 中西遺跡第 1 地点, 藤久保東遺跡 Y 地点,

- 藤久保東遺跡 Z 地点
- 中西遺跡第 1 地点(発掘) 表土剥ぎ
- 中西遺跡第 1 地点(発掘) 完掘(東から)
- 藤久保東遺跡 Y 地点 調査前全景
- 藤久保東遺跡 Y 地点 調査風景
- 藤久保東遺跡 Y 地点 遺物出土状況
- 藤久保東遺跡 Y 地点 完掘(南西から)
- 藤久保東遺跡 Z 地点 調査前全景
- 藤久保東遺跡 Z 地点 表土剥ぎ

写真図版 5 平成 24 年度 藤久保東遺跡 Z 地点,

- 平成 25 年度 中東遺跡第 6 地点(1 次), 中東遺跡第 6 地点(2 次)
- 藤久保東遺跡 Z 地点 完掘(西から)
- 藤久保東遺跡 Z 地点 埋め戻し
- 中東遺跡第 6 地点(1 次) 調査前全景
- 中東遺跡第 6 地点(1 次) 表土剥ぎ
- 中東遺跡第 6 地点(1 次) 完掘(東から)
- 中東遺跡第 6 地点(1 次) 埋め戻し
- 中東遺跡第 6 地点(2 次) 調査前全景
- 中東遺跡第 6 地点(2 次) 表土剥ぎ

写真図版 6 平成 25 年度 中東遺跡第 6 地点(2 次),

- 藤久保東遺跡第 27 地点
- 中東遺跡第 6 地点(2 次) ナイフ形石器
- 中東遺跡第 6 地点(2 次) ナイフ形石器(1/1)
- 中東遺跡第 6 地点(2 次) 完掘(東から)
- 中東遺跡第 6 地点(2 次) 埋め戻し
- 藤久保東遺跡第 27 地点 調査前全景
- 藤久保東遺跡第 27 地点 表土剥ぎ
- 藤久保東遺跡第 27 地点 完掘(西から)
- 藤久保東遺跡第 27 地点 埋め戻し

写真図版 7 平成 25 年度 中東遺跡第 7 地点,

- 中東遺跡第 6 地点(3 次), 中東遺跡第 6 地点(4 次)
- 中東遺跡第 7 地点 調査前全景
- 中東遺跡第 7 地点 表土剥ぎ
- 中東遺跡第 7 地点 遺物出土状況(南から)
- 中東遺跡第 7 地点 完掘(西から)
- 中東遺跡第 6 地点(3 次) 調査前全景
- 中東遺跡第 6 地点(3 次) 完掘(北から)
- 中東遺跡第 6 地点(4 次) 調査前全景
- 中東遺跡第 6 地点(4 次) 調査風景

写真図版 8 平成 26 年度 中東遺跡第 6 地点(4 次),

- 中東遺跡第 8 地点, 古井戸山遺跡 次
- 中東遺跡第 6 地点(4 次) 調査風景
- 中東遺跡第 6 地点(4 次) 完掘(西から)
- 中東遺跡第 6 地点(4 次) 剥片
- 中東遺跡第 6 地点(4 次) 石核
- 中東遺跡第 8 地点 調査前全景
- 中東遺跡第 8 地点 完掘(北から)
- 古井戸山遺跡 次 調査前全景
- 古井戸山遺跡 次 調査風景

写真図版 9 平成 26 年度 古井戸山遺跡 次, 中東遺跡第 9 地点

- 古井戸山遺跡 次 完掘(南西から)
- 古井戸山遺跡 次 住居跡検出状況(東から)
- 古井戸山遺跡 次 土層堆積状況(東から)
- 古井戸山遺跡 次 ナイフ形石器
- 中東遺跡第 9 地点 調査前全景
- 中東遺跡第 9 地点 表土剥ぎ
- 中東遺跡第 9 地点 遺物出土状況(西から)
- 中東遺跡第 9 地点 完掘(北東から)

写真図版 10 平成 26 年度 本村南遺跡第 12 地点

- 本村南遺跡第 12 地点 調査前全景
- 本村南遺跡第 12 地点(試掘) 表土剥ぎ
- 本村南遺跡第 12 地点(試掘) 完掘(南から)
- 本村南遺跡第 12 地点(試掘) 住居跡検出状況(西から)
- 本村南遺跡第 12 地点(発掘) 表土剥ぎ
- 本村南遺跡第 12 地点(発掘) 住居跡調査風景
- 本村南遺跡第 12 地点(発掘) 遺物出土状況(西から)
- 本村南遺跡第 12 地点(発掘) 土層堆積状況(西から)

写真図版 11 平成 26 年度 本村南遺跡第 12 地点

- 本村南遺跡第 12 地点(発掘) 弥生土器片
- 本村南遺跡第 12 地点(発掘) 炭化材
- 本村南遺跡第 12 地点(発掘) 完掘(西から)
- 本村南遺跡第 12 地点(発掘) 炉跡(北から)
- 本村南遺跡第 12 地点(発掘) 1 号住居跡出土遺物(1/3)

写真図版 12 平成 26 年度 本村北遺跡 H 地点

- 本村北遺跡 H 地点 調査前全景
- 本村北遺跡 H 地点(試掘) 表土剥ぎ
- 本村北遺跡 H 地点(試掘) 完掘(南から)
- 本村北遺跡 H 地点(試掘) 住居跡検出状況(南から)
- 本村北遺跡 H 地点(発掘) 住居跡調査風景
- 本村北遺跡 H 地点(発掘) 遺物出土状況(南から)
- 本村北遺跡 H 地点(発掘) 遺物出土状況
- 本村北遺跡 H 地点(発掘) 須恵器坏

写真図版 13 平成 26 年度 本村北遺跡 H 地点

- 本村北遺跡 H 地点(発掘) 土製紡錘車
- 本村北遺跡 H 地点(発掘) 土製紡錘車
- 本村北遺跡 H 地点(発掘) 完掘(南から)
- 本村北遺跡 H 地点(発掘) 1 号住居跡カマド(南から)
- 本村北遺跡 H 地点(発掘) 1 号住居跡出土遺物(1/3)

写真図版 14 平成 26 年度 本村北遺跡 H 地点, 整理作業

- 本村北遺跡 H 地点(発掘) 2 号住居跡出土遺物(1/3)
- 本村北遺跡 H 地点(発掘) 3 号住居跡出土遺物(1/3)
- 整理作業風景
- 整理作業風景

写真図版 15 附編 古井戸山遺跡 次(発掘)

- 古井戸山遺跡 次(発掘) 住居跡調査風景
- 古井戸山遺跡 次(発掘) 住居跡完掘(東から)
- 古井戸山遺跡 次(発掘) 土層堆積状況(南東から)
- 古井戸山遺跡 次(発掘) 石核出土状況(北から)
- 古井戸山遺跡 次(発掘) 土層堆積状況(北から)
- 古井戸山遺跡 次(発掘) 石核
- 古井戸山遺跡 次(発掘) 完掘(南東から)
- 古井戸山遺跡 次(発掘) 埋め戻し

写真図版 16 附編 古井戸山遺跡 次(発掘)

- 古井戸山遺跡 次(発掘) 出土遺物(1/1・1/2)

写真図版 17 附編 中東遺跡第 9 地点(発掘)

- 中東遺跡第 9 地点(発掘) 調査風景
- 中東遺跡第 9 地点(発掘) 調査風景
- 中東遺跡第 9 地点(発掘) 石器集中 1(北から)
- 石器集中 1 土層堆積状況(北から)
- 石器集中 1 ナイフ形石器
- 石器集中 1 ナイフ形石器
- 石器集中 1 ナイフ形石器
- 石器集中 1 ナイフ形石器

写真図版 18 附編 中東遺跡第 9 地点(発掘)

- 中東遺跡第 9 地点(発掘) 石器集中 2(南から)
- 石器集中 2 石核
- 中東遺跡第 9 地点(発掘) 石器集中 3(北から)
- 石器集中 3 土層堆積状況(北から)
- 石器集中 3 剥片
- 石器集中 3 剥片
- 石器集中 1・石器集中 2 完掘(南から)
- 石器集中 3 完掘(北から)

写真図版 19 附編 中東遺跡第 9 地点(発掘)

- 中東遺跡第 9 地点(発掘) 第 層下部~第 層出土石器(2/3)

写真図版 20 附編 中東遺跡第 9 地点(発掘)

- 中東遺跡第 9 地点(発掘) 第 層下部~第 層出土石器(2/3)

写真図版 21 附編 中東遺跡第 9 地点(発掘)

- 中東遺跡第 9 地点(発掘) 第 層出土石器(2/3・1/2)

写真図版 22 附編 中東遺跡第 9 地点(発掘)

- 中東遺跡第 9 地点(発掘) 第 層出土石器(1/2)

．序章

1 三芳町町内遺跡について

三芳町は、埼玉県南西部の荒川右岸台地上に位置し、西方には富士山と秩父、多摩の山並みを遠望する平野地帯である。地形としては、西方約 50km 先の青梅市付近を扇頂として広がる武蔵野台地の北東部にあたり、台地縁辺から切り込む開析谷により僅かな起伏をもつものの、そのほとんどが関東ローム層に厚く覆われ、ほぼ平坦な地形を呈している。

三芳町は、上述のように関東ローム層の厚く堆積した台地が占め、特に町の西部域は現在流れる河川も雨水排水用の掘割となった砂川のみであり、広々とした台地が続いている。近年の発掘調査により西部域にも数条の埋没谷が存在し、その周辺において旧石器時代から縄文時代早期の遺跡の存在が明らかになりつつあるが、谷の埋没以降、西部域の集落形成は江戸時代の新田開発が行われるまで待たねばならなかったようである。西部域で行われた新田開発の中でも、元禄 7 年～ 9 年(1694～96)に川越藩主柳沢吉保の命により行われた三富地区の畑作新田開拓地(三芳町大字上富、所沢市中富・下富)は、埼玉県の旧跡「三富開拓地割遺跡」として指定されており、今なお整然とした屋敷地と畑地と雑木林の区画が残され、武蔵野の典型的な新田開拓の面影をとどめる地域として知られる。

一方、町東部域はより武蔵野台地の縁辺に近く、柳瀬川をはじめとする荒川の沖積面に向かう数条の河川や開析谷が台地を切り込むように存在する。東部域はこれらの河川に沿って早くから開発が進み、西部域とは異なった様相を呈し、また原始・古代の遺跡も数多く存在する。

近年まで、三芳地域は自然環境に適応しつつ純農村地帯として緩やかな発展を遂げてきたが、都心より 30km 圏内にあることから都市化の波を強く受け、高度経済成長期以降急激に変化してきた。町の東隣を走る東武東上線と地下鉄有楽町線・副都心線の相互乗り入れ、関越自動車道路の貫通と所沢インターチェンジ設置などの交通手段の改善は、工場・倉庫などの企業進出や個人住宅・アパート・マンションなどの住宅建設を促進させる結果となった。

三芳町には、現在 33 箇所の埋蔵文化財包蔵地が知られるが、当然のことながら開発行為は埋蔵文化財包蔵地内にも及び、破壊の危機にさらされてきている。すでにそのうちの一部は住宅開発などにより煙滅してしまったものもある。三芳町ではこうした状況に対処すべく、文化財保護法改正後、特に昭和 51 年度以降埋蔵文化財の保護、とりわけ記録保存のための発掘調査に力を注いできた。しかし、このような発掘調査は蚕食的・個別的調査であることが多く、十分な時間と費用を費やし調査が実施できぬことも多く、また、開発者との間で調査費用・期間などについて問題が生じることも少なくなかった。

三芳町では、このような問題を少しでも解消すべく国庫・県費の補助を得て、「三芳町町東部遺跡群発掘調査事業(昭和 53 年度～昭和 57 年度)」、「三芳町町内遺跡群発掘調査事業(昭和 58 年度～平成元年度)」、「三芳町町内遺跡発掘調査事業(平成 2 年度～)」として調査を実施してきた。遺跡範囲確認調査の実施により調査期間・調査方法・調査費用の積算などが容易になったことと、利益を目的としない個人住宅開発などの費用負担の問題を解消できたことは本事業の成果といえる。

本事業により、平成 24 年度は発掘調査 1 件・試掘確認調査 8 件、平成 25 年度は試掘確認調査 5 件、平成 26 年度は試掘確認調査 6 件を実施した。

今回の報告は、平成 24 年度から平成 26 年度までの 3 年間の成果の記録報告である。また、 . 附編には、受託事業として実施した発掘調査 2 件の成果を併せて掲載した。

2. 遺跡の立地と環境

三芳町は、埼玉県の西南部に位置し、東に志木市、富士見市、南東に新座市、南西に所沢市、北にふじみ野市、川越市と接する。面積は 15.33k m²、人口は約 38,000 人である。地形的には、多摩川の開析扇状地といわれる武蔵野台地上の北東部縁辺に位置している。町の西部域は標高約 45m でほとんど平坦な地形を呈するが、標高 30m の等高線を境とする東部域には東方の沖積地(荒川低地)に向かう河川が複数存在しており、遺跡の多くはこうした河川流域に分布している。また、近年の調査により、現在はほぼ平坦な地形を呈する西部域にも数条の埋没谷が存在し、その周辺で遺跡の存在が明らかになりつつある。以下、河川流域ごとに主要遺跡のこれまでの調査成果を概観する。

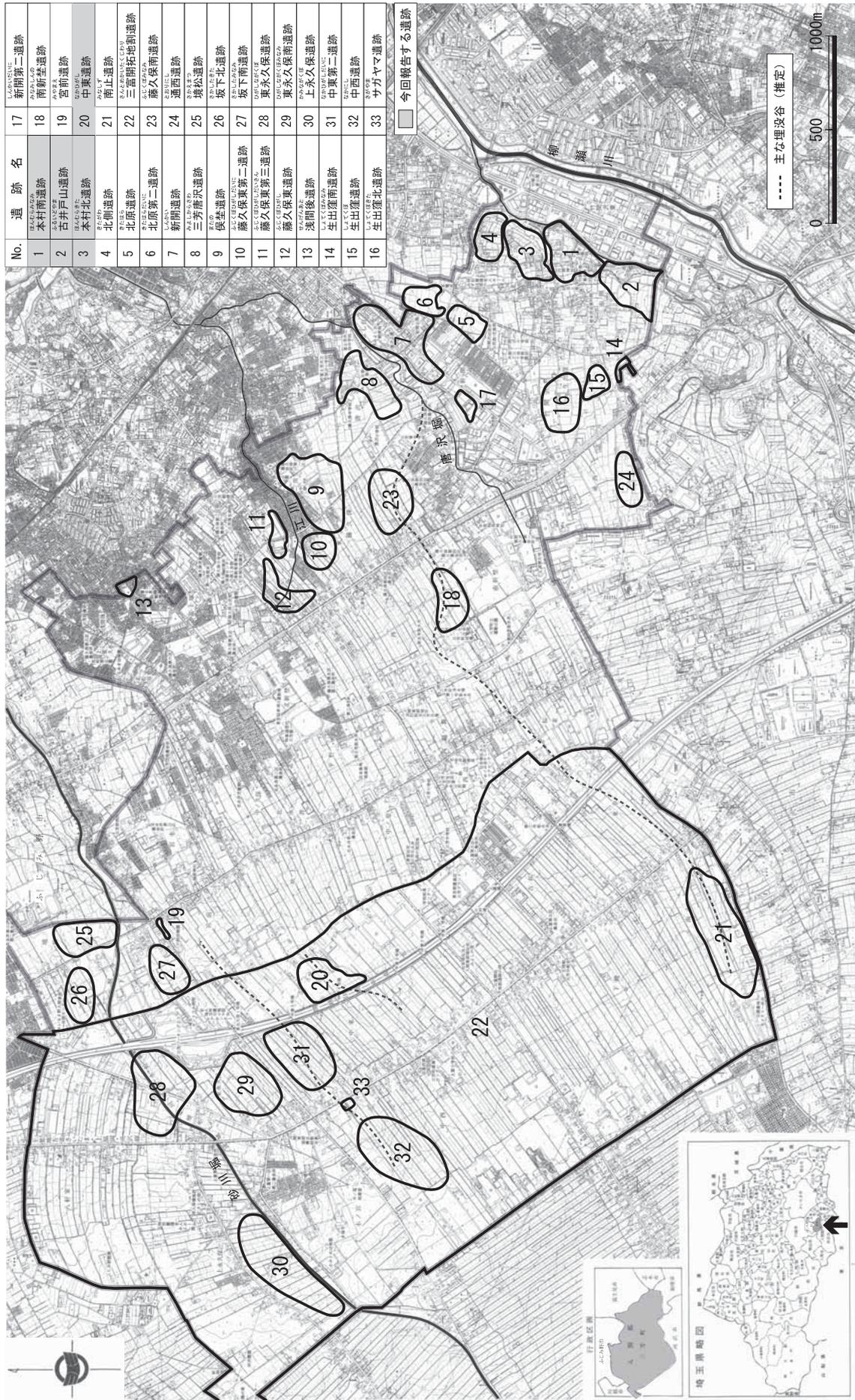
【砂川流域】現在は雨水排水用の掘割となっている砂川流域には、平成 16 年度実施の分布調査により新たに登録された遺跡が数多く存在する。上永久保遺跡(30)では 2 地点の調査が行われ、旧石器時代第 1 層の石器集中や礫群、時期不明の土坑が検出されている。また、右岸の宮前遺跡(19)では、奈良・平安時代の木炭窯が検出され、同じ崖線上に位置する奈良時代後半から平安時代にかけての大規模な製鉄遺跡、東台遺跡(ふじみ野市)に木炭を供給していた可能性もあり注目される。

【富士見江川流域】富士見江川最上流域付近には藤久保東遺跡(12)、藤久保東第二遺跡(10)、藤久保東第三遺跡(11)、俣埜遺跡(9)の旧石器時代を中心とした 4 つの遺跡が存在する。藤久保東遺跡、藤久保東第二遺跡では旧石器時代第 1 層から局部磨製石斧 3 点を含む 80 点以上の石器や礫が出土しており、県内最古の石器群である(三芳町指定文化財)。また、藤久保東遺跡では旧石器時代第 1 層から第 2 層にかけて 10,000 点を越える石器や礫が富士見江川旧河道に沿うように検出されている。俣埜遺跡では旧石器時代第 1 層から第 2 層にかけての石器、縄文時代早期の炉穴、縄文時代中期から後期の住居跡が検出されているほか、平成 16 年実施の発掘調査により奈良・平安時代の溶解炉、木炭窯、住居跡が検出され、町内で初めて製鉄遺跡の存在が確認された。

【唐沢堀流域】唐沢堀右岸には、新開遺跡(7)が存在する。昭和 51 年から調査が進められ、旧石器時代第 1 層から第 2 層より石器集中 39 箇所、礫群 45 箇所のほか平安時代の須恵器窯跡・工房跡が検出されている。また、左岸には三芳唐沢遺跡(8)が存在し、旧石器時代の石器が出土している。

【柳瀬川流域】柳瀬川左岸には、上流より古井戸山遺跡(2)、本村南遺跡(1)、本村北遺跡(3)、北側遺跡(4)が存在する。古井戸山遺跡では旧石器時代の石器集中や礫群、縄文時代前期及び弥生時代前期の住居跡が確認されている。隣接する本村南遺跡は、かつて弥生時代中期末葉(宮ノ台式)の土器が出土したことで知られる遺跡である。これまでの発掘調査により弥生時代中期から後期の住居跡や弥生時代後期の方形周溝墓・V 字状の大溝が検出され、弥生時代中期末葉から後期末葉を中心とする遺跡として位置付けられる。本村北遺跡では、縄文時代前期、弥生時代後期、古墳時代後期、奈良・平安時代の各住居跡が検出されている。北側遺跡では現在のところ調査による遺構・遺物の検出は無いが、縄文時代中期及び弥生時代後期の土器片、土師器片、須恵器片の出土が知られている。

【西部域の埋没谷流域】砂川に合流もしくは並行すると考えられる埋没谷の上流域には、中東遺跡(20)が広がる。これまでに 5 地点を調査し、旧石器時代第 1 層・第 2 層・第 3 層・第 4 層・第 5 層から 3,400 点を越える石器や礫が出土しており、富士見江川最上流域に位置する藤久保東遺跡と同様、重層的な遺跡である。また、平成 24 年度の発掘調査により、中東遺跡の位置する埋没谷と流路を異にする埋没谷において、サガヤマ遺跡(33)が新たに確認され、第 1 層から第 2 層に位置付けられる石器集中が検出された。さらに、三芳町と所沢市の境を流れる埋没谷最上流域には南止遺跡(21)が存在し、特に旧石器時代第 1 層下部で石器集中・礫群が多数確認されているほか、第 2 層上部において野岳・休場型の非削片系細石刃核・細石刃が出土している。



第1図 三芳町遺跡分布図(1/30,000)

．年度ごとの調査概要

平成 24 年度から平成 26 年度までの 3 年間に、町内遺跡発掘調査事業において調査を実施した遺跡は 10 遺跡 16 地点である。年度ごとの内訳は、平成 24 年度に発掘調査 1 件・試掘確認調査 8 件、平成 25 年度に試掘確認調査 5 件、平成 26 年度に試掘確認調査 6 件を行った。このうち、平成 26 年度の試掘確認調査の結果、同事業において発掘調査が必要と判断された 2 件については、町費単独で対応した。

1．発掘調査

1) 中西遺跡第 1 地点

所在地：三芳町大字上富 1453-1

調査期間：平成 25 年 1 月 8 日～ 1 月 9 日

開発者：

調査原因：個人住宅建設

調査面積：204 m²

主な成果：遺構・遺物なし

2) 本村南遺跡第 12 地点（町費単独対応）

所在地：三芳町大字竹間沢 832-12、836-1

調査期間：平成 27 年 1 月 27 日～ 2 月 16 日

開発者：

調査原因：個人住宅建設

調査面積：374 m²

主な成果：弥生時代後期住居跡 1 軒

3) 本村北遺跡 H 地点（町費単独対応）

所在地：三芳町大字竹間沢 785-1、785-6

調査期間：平成 27 年 2 月 18 日～ 3 月 2 日

開発者：

調査原因：個人住宅建設

調査面積：1,648 m²

主な成果：平安時代住居跡 3 軒

2．試掘確認調査

平成 24 年度から平成 26 年度に実施した試掘確認調査は、下記のとおりである。

遺跡名称	調査原因	調査地	調査期間	面積	確認内容
藤久保東第三遺跡 第 8 地点	分譲住宅	藤久保 767-5、 768-1 の一部	24.5.15 ~ 6.12	1,278 m ²	時期不明焼土遺構 盛土保存
宮前遺跡	幼稚園建設	北永井 72-1 他	24.6.29、9.26	3,277 m ²	遺構・遺物なし
三富開拓地割遺跡 第 16 地点	歩道整備	上富 35-3 他	24.7.3 ~ 7.13	284 m ²	遺構・遺物なし
三富開拓地割遺跡 第 17 地点	歩道整備	上富 1455-5 他	24.7.13 ~ 8.10	1,284 m ²	旧石器時代剥片 発掘調査 『サガヤマ遺跡第 1 地点発掘 調査報告書』（平成 26 年度刊行） に掲載
生出窪北遺跡	物置建設	竹間沢 269-2	24.9.11	57 m ²	遺構・遺物なし
中西遺跡 第 1 地点	個人住宅	上富 1453-1	24.9.10 ~ 10.9	204 m ²	縄文時代土器片・土器包含層 盛土保存、一部発掘調査

第 1 表 試掘確認調査一覧表（1）

遺跡名称	調査原因	調査地	調査期間	面積	確認内容
藤久保東遺跡 Y地点	分譲住宅	藤久保 786-3	24.12.10 ~ 12.21	615 m ²	旧石器時代礫ほか 盛土保存
藤久保東遺跡 Z地点	個人住宅	藤久保 16 街区 10	25.3.11 ~ 3.28	306 m ²	遺構・遺物なし
中東遺跡 第 6 地点 (1 次)	倉庫増築	上富 179-3	25.9.27 ~ 10.4	1,530 m ²	遺構・遺物なし
中東遺跡 第 6 地点 (2 次)	倉庫増築	上富 178-7 他	25.9.27 ~ 12.4	542 m ²	旧石器時代石器 盛土保存
藤久保東遺跡 第 27 地点	分譲住宅	藤久保 7 街区 1 他	25.11.28 ~ 12.26	1,466 m ²	遺構・遺物なし
中東遺跡 第 7 地点	倉庫増築	上富 168-13 他	26.2.7 ~ 3.14	285 m ²	縄文時代集石 受託調査 『中東遺跡第 6 地点 (4 次)・ 第 7 地点発掘調査報告書』(平 成 27 年度刊行) に掲載
中東遺跡 第 6 地点 (3 次)	倉庫増築	上富 168-1 他	26.3.17 ~ 3.19	3,628 m ²	遺構・遺物なし
中東遺跡 第 6 地点 (4 次)	倉庫増築	上富 163-2 の一部	26.4.7 ~ 5.8	746 m ²	旧石器時代石器 受託調査 『中東遺跡第 6 地点 (4 次)・ 第 7 地点発掘調査報告書』(平 成 27 年度刊行) に掲載
中東遺跡 第 8 地点	農地改良	上富 182-2 他	26.7.22	2,878 m ²	遺構・遺物なし
古井戸山遺跡 次	無線基地局	竹間沢 933-1 の 一部	26.9.2 ~ 9.22	150 m ²	時期不明住居跡 1 軒 受託調査
中東遺跡 第 9 地点	資材置場	上富 195-2 他	26.11.4 ~ 12.22	199 m ²	旧石器時代石器集中 受託調査
本村南遺跡 第 12 地点	個人住宅	竹間沢 832-12 他	27.1.23	374 m ²	弥生時代後期住居跡 1 軒 発掘調査
本村北遺跡 H地点	個人住宅	竹間沢 785-1 他	27.2.16 ~ 2.17	1,648 m ²	平安時代住居跡 3 軒 発掘調査

第 2 表 試掘確認調査一覧表 (2)

．各遺跡の調査

1．中東遺跡第6地点（2次）の調査

1)遺跡の立地と概要

中東遺跡は、武蔵野台地北東部に位置し、埼玉県入間郡三芳町大字上富字中東 223-1 付近を谷頭にもつ埋没谷上流域一帯に広がる。平成 22 年度までに 5 地点にわたる試掘調査・発掘調査を行い、うち 3 地点で立川ローム第 層から第 層にかけて石器集中 30 箇所及び礫群 1 箇所が確認され、3,400 点を超える石器や礫が出土している。この成果からも明らかなように、本遺跡は旧石器時代を中心とした遺跡と捉えられている。

2)調査の経緯

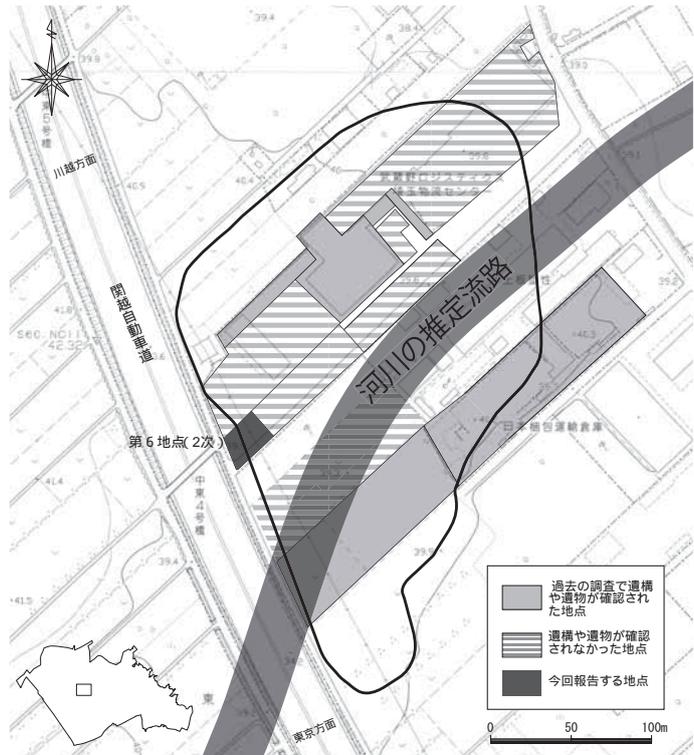
今回の調査地点である第 6 地点(2次)は、埼玉県入間郡三芳町上富 178-7 ほかに位置する。三芳町教育委員会では、倉庫増設に先立つ遺跡の範囲及び性格・内容の把握のため、当該箇所 542 m²について平成 25 年 9 月 27 日～ 12 月 4 日に試掘調査を実施した。調査の結果、旧石器時代のナイフ形石器が出土したため開発者と協議を行ったところ、未調査部分については盛土をして現状保存とすることになった。今回の調査地点は、周知の埋蔵文化財包蔵地(県遺跡番号 32-020)の西部に位置する(第 2 図)。

3)遺構と遺物

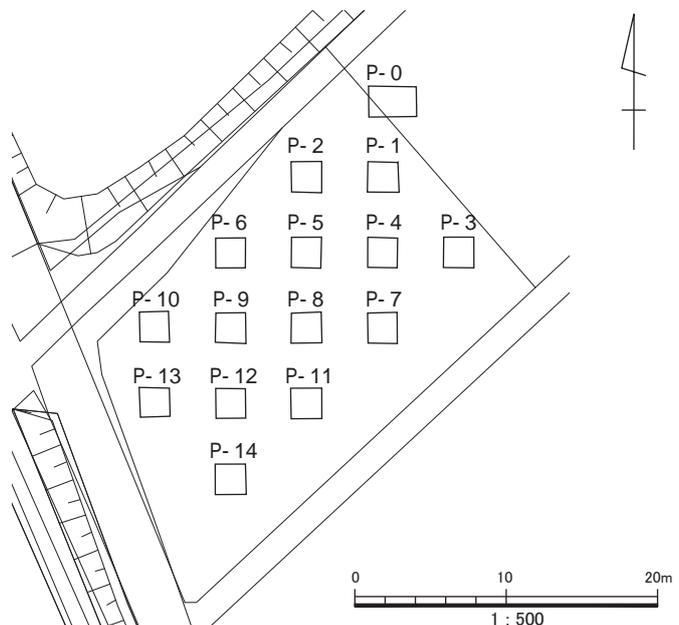
今回の調査により、旧石器時代第 層においてナイフ形石器 1 点が出土した。なお、遺物の出土したピット 8 において、層位の把握及び古植生の復元を目的として、株式会社火山灰考古学研究所に業務委託を行い、火山灰分析及び植物珪酸体分析を実施した。試料採取にあたっては、同研究所の分析担当者が発掘現場にて直接行った。結果については、自然科学分析に掲載した。

【遺物】(第 4 図)

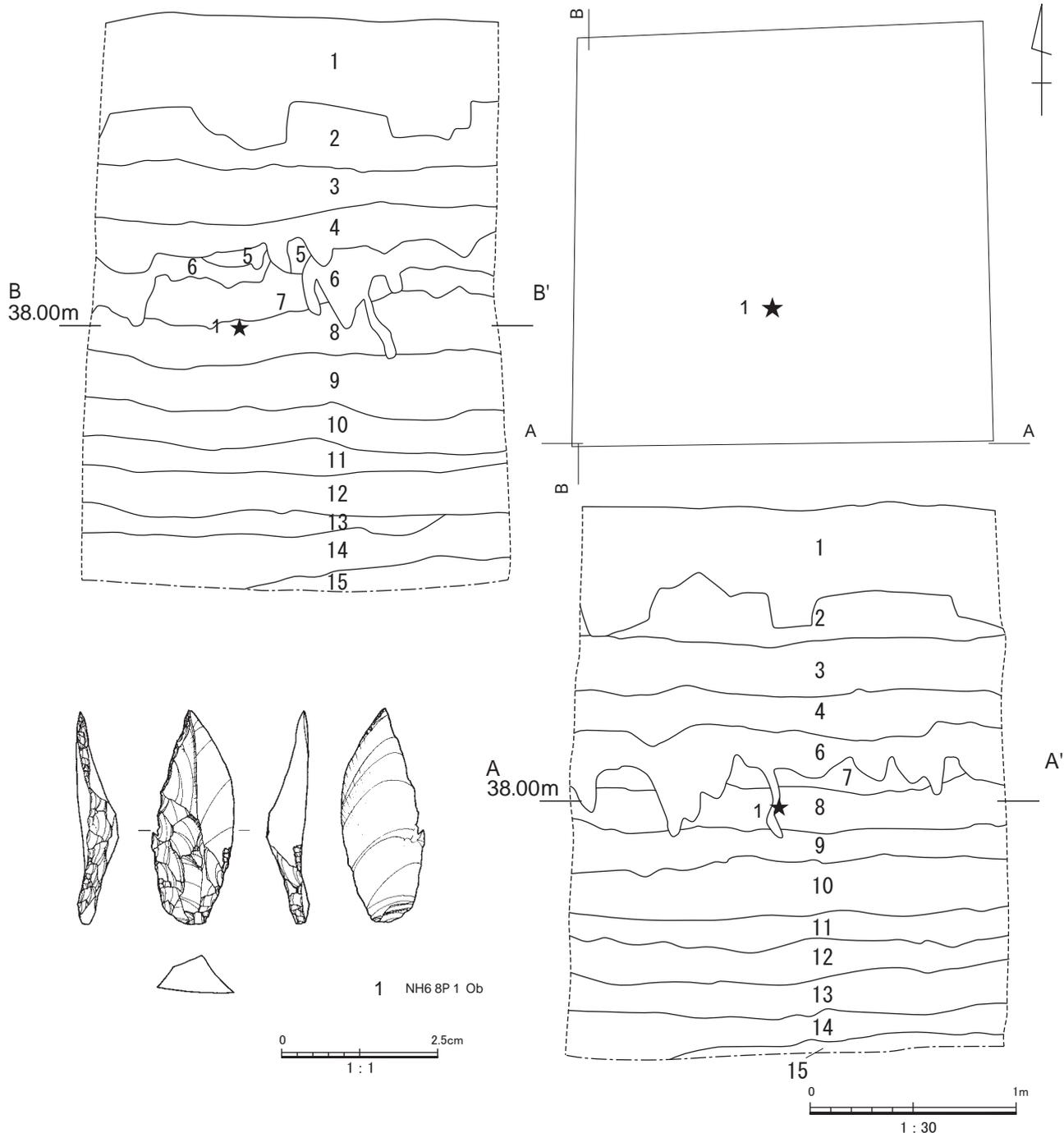
1．ナイフ形石器 左側縁全体及び右側縁下部に主要剥離面側からの細かな調整が施される。黒曜石製。



第 2 図 調査位置図(1/5,000)



第 3 図 調査区全体図(1/500)



1. 表土
2. 黒褐色土 しまり有 粘性無 黄褐色土ブロックを少量に含む
3. 黒褐色土 しまり弱 粘性無
4. 暗褐色土 しまり弱 粘性やや有 漸移層
5. 黄褐色土 しまり強 粘性無 5mm大の赤色スコリア粒子を多量に、白色粒子を微量に含む
6. 黄褐色土 しまりやや弱 粘性無 5mm大の赤色スコリア粒子・黒色スコリア粒子を多量に、白色粒子を少量に含む ソフトローム層
7. にぶい黄褐色土 しまり強 粘性無 2~3mm大の赤色スコリア粒子・黒色スコリア粒子を多量に含む
8. 褐色土 しまり強 粘性やや有 黒色スコリア粒子・黄褐色土ブロックを多量に、2~3mm大の赤色スコリア粒子を微量に含む 第層

9. 灰黄褐色土 しまり強 粘性やや有 5mm大の黒色スコリア粒子を多量に、白色スコリア粒子を少量に含む 10層との境に赤色スコリア粒子を集中して含む 粘土質
10. 灰黄褐色土 しまり弱 粘性強 白色粒子を非常に多量に含む 粘土質
11. にぶい黄褐色土 しまり強 粘性強 ATに由来すると思われる白色土ブロックを多量に、黒色スコリア粒子を少量に含む 粘土質
12. 褐色土 しまりやや弱 粘性強 黒色スコリア粒子を多量に含む 粘土質
13. 暗褐色土 しまり強 粘性強 黒色スコリア粒子を多量に含む 全体的にサビ化が進行
14. 灰白色土 しまり弱 粘性強 サビのブロックを多量に含む
15. 灰白色土 しまり強 粘性強 粘土質

第4図 ピット8 石器出土位置図及び土層断面図(1/30)・出土石器(1/1)

2. 本村南遺跡第 12 地点の調査

1) 遺跡の立地と概要

本村南遺跡は、武蔵野台地を開析する柳瀬川の左岸崖線上に位置する。これまでに 11 地点の発掘調査が行われ、弥生時代中期の住居跡 2 軒、弥生時代後期の住居跡 19 軒・方形周溝墓 3 基、弥生時代の溝跡（大溝）1 条、古墳時代の住居跡 1 軒、地下式坑 2 基、井戸跡 3 基、時期不明の土坑 29 基、溝跡 8 条が確認されている。

2) 調査の経緯

今回の調査地点である第 12 地点は、埼玉県入間郡三芳町竹間沢 832-12 及び 836-1 に位置する。三芳町教育委員会では、個人住宅建設に先立つ遺跡の範囲及び性格・内容の把握のため、当該箇所 374 m²について平成 27 年 1 月 23 日に試掘調査を実施した。調査の結果、弥生時代後期の住居跡 1 軒が確認されたため開発者と協議を行ったところ、開発は避けられないとの結論に達し、住居跡の確認された範囲を拡張する形で記録保存のための発掘調査を実施することとなった。

三芳町教育委員会では、文化財保護法に基づき平成 27 年 1 月 26 日付け三芳教文発第 296 号で発掘調査通知を埼玉県教育委員会へ提出し、同年 1 月 27 日～2 月 16 日に発掘調査を実施した。今回の調査地点は、周知の埋蔵文化財包蔵地(県遺跡番号 32-001)の北東部に位置する(第 5 図)。

3) 遺構と遺物

遺構は、弥生時代後期の住居跡 1 軒が確認され、遺物は弥生土器片・縄文土器片などが出土した。

【遺構】

1 号住居跡(第 6 図・第 7 図)

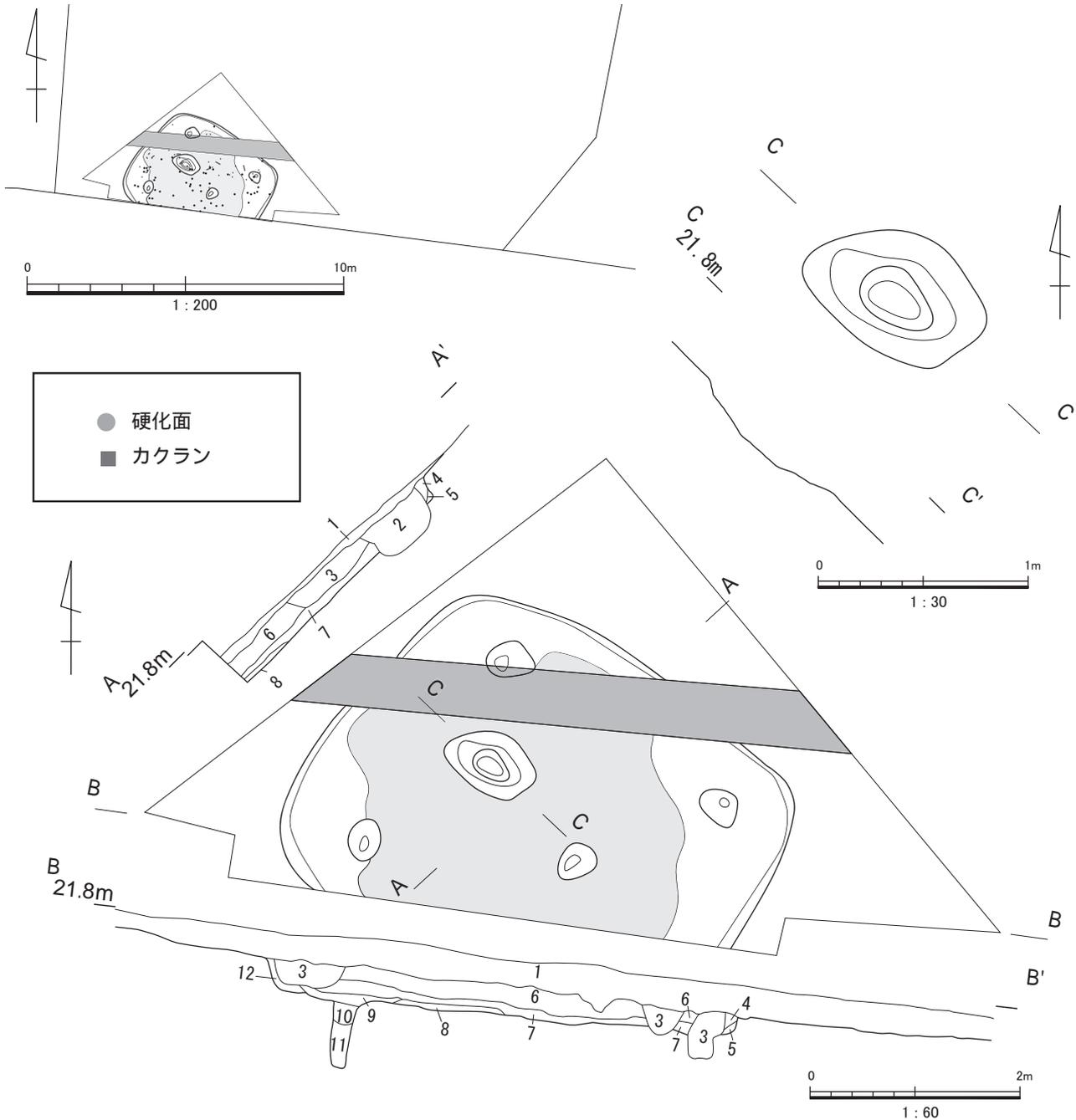
南側 2/3 程度が調査区外のため未検出であるが、長軸 4.15 m × 短軸 3.40 m (確認された最大値)、主軸方向は N - 58° - W の隅丸方形の平面形態を呈する。壁高は確認面より最大 30cm。床面はロームブロックを主体とする貼床が施され、硬く踏みしめられている。柱穴は 4 箇所確認され、うち 3 箇所が支柱穴と考えられる。炉跡は北西寄りの貼床上に、長軸 90cm × 短軸 60cm の規模で、浅い窪みを持って確認された。出土遺物は、弥生土器片 517 点・縄文土器片 67 点・石器類 37 点などである。



第 5 図 調査位置図 (1/2,500)

【遺物】 第7図)

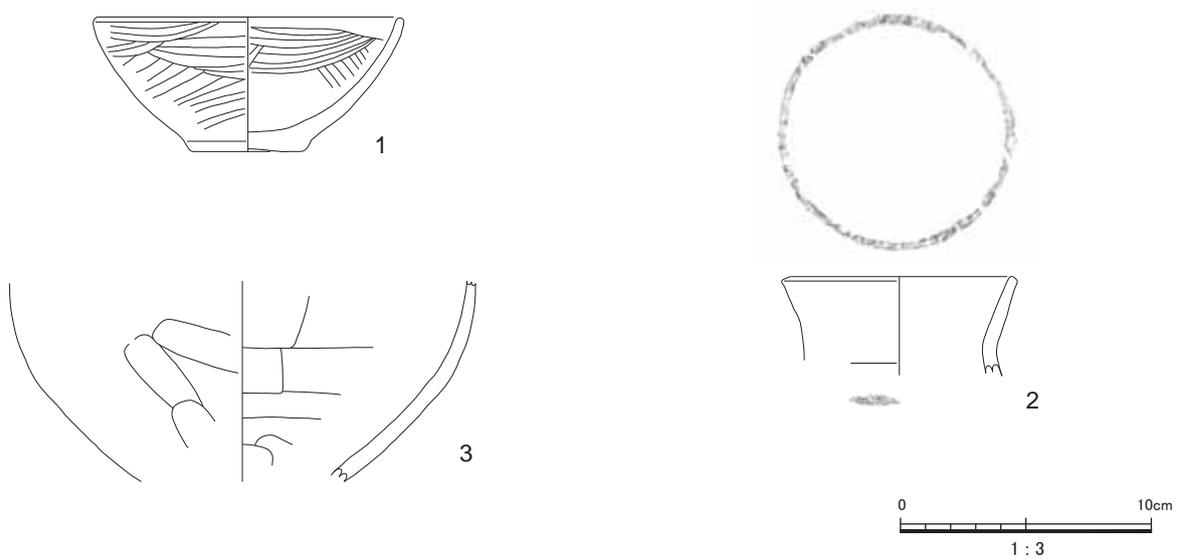
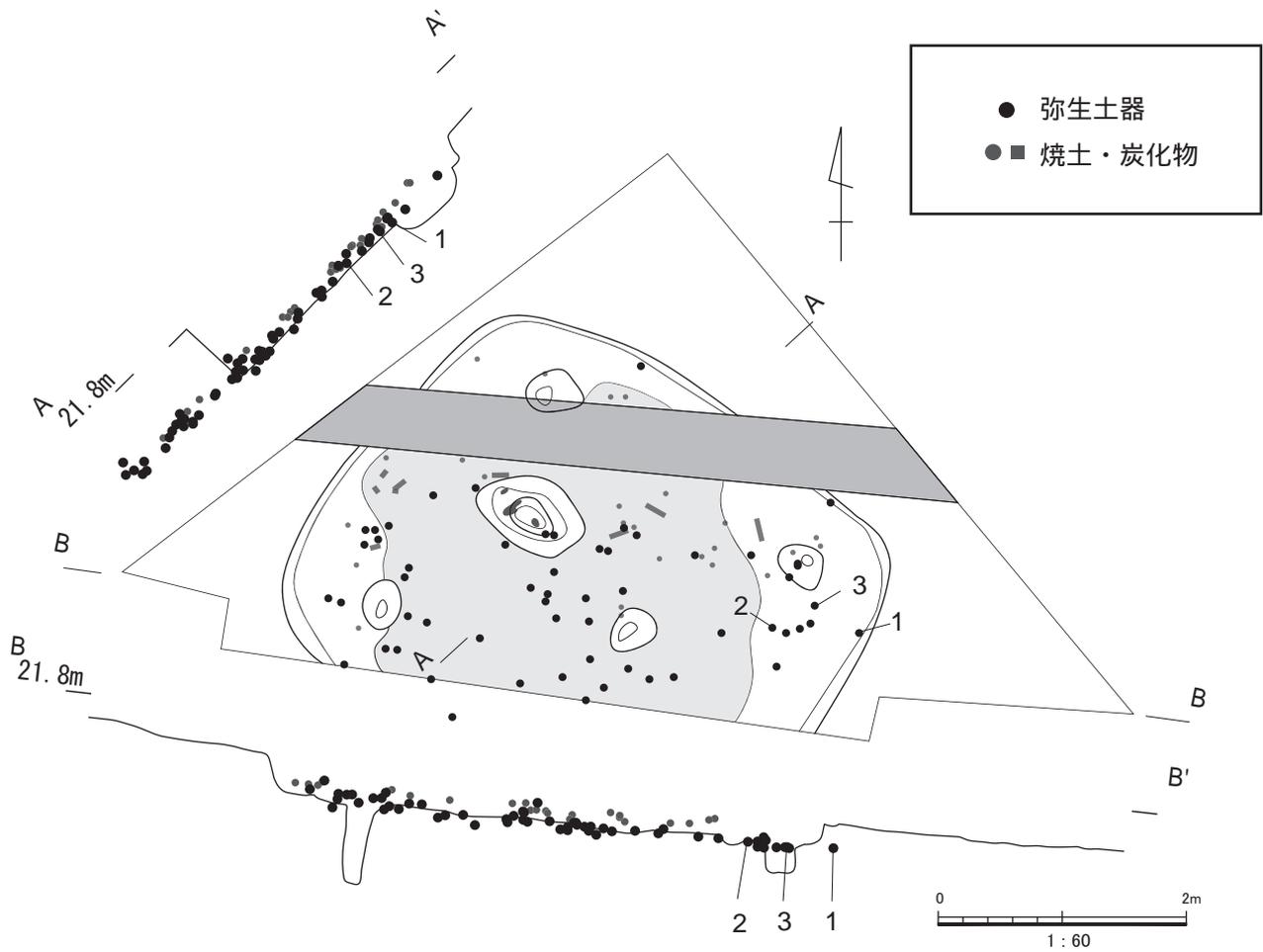
1. 碗形土器 残存率60%で、口径12.4cm(復元径)・底径4.4cm(復元径)・器高5.4cm。調整は、口縁部内面及び口唇部をヨコナデ、体部外面及び内面をヘラミガキ、底部をヘラケズリ。胎土は緻密で、小石を若干含む。焼成は良好。色調は黄褐色。



1. 表土
2. 黒褐色土 しまり無 粘性無 ローム粒子を多量に含む 後世の溝跡
3. 黒褐色土 木根などのカクラン
4. 黒褐色土 しまり有 粘性無 焼土粒子を多量に含む
5. 灰黄褐色土 しまり有 粘性無 ローム粒子を多量に含む
6. 黒褐色土 しまり有 粘性無 焼土粒子・ローム粒子を多量に含む
7. 黒褐色土 しまり有 粘性無 焼土粒子を多量に、ローム粒子を少量に、炭化物粒子を微量に含む

8. 黒褐色土 しまりやや強 粘性無 ロームブロックを多量に、焼土粒子を少量に含む
9. 黒褐色土 しまり有 粘性無 焼土粒子・ローム粒子を少量に含む
10. 褐色土 しまり有 粘性無 9層のブロックを多量に含む
11. 褐色土 しまり有 粘性無
12. 灰黄褐色土 しまり有 粘性無 ロームブロックを多量に含む

第6図 遺構配置図(1/200)・1号住居跡平面図及び土層断面図(1/60)・炉跡平面図及び土層断面図(1/30)



第7図 1号住居跡遺物出土状況図(1/60)及び出土遺物(1/3)

2 . 小型丸底土器 口縁部～頸部のみ残存(残存率20%)で、口径9.4cm・器高4.0cm(残存高)。調整は、口唇部に細かい縄文、頸部内面及び外面はヨコナデ、外面ヨコナデの下部に細かい縄文。胎土は緻密で、小石を若干含む。焼成は良好。色調は褐色で、ほぼ全面に赤彩を施す。

3 . 台付甕形土器 体部下半の破片(残存率10%)で、胴部最大径18.6cm(復元径)。調整は、体部外面ヘラケズリ、内面をハケナデ。胎土は緻密で小石を多量に含む。焼成は良好。色調は灰黄褐色。

3. 本村北遺跡H地点の調査

1) 遺跡の立地と概要

本村北遺跡は、武蔵野台地を開析する柳瀬川の左岸崖線上に位置する。遺跡の南側を流れる通称「盆川(ボンガワ)」と呼ばれる小河川により形成された谷と、遺跡の北側に位置する富士見市境に入り込む谷に画された小さな舌状台地の南斜面に存在する。これまでに7地点の発掘調査が行われ、縄文時代前期(関山期)の住居跡1軒・土坑1基、縄文時代中期の集石1基、早期・前期・後期の土器片を含む包含層、弥生時代後期の住居跡1軒、古墳時代後期の住居跡1軒、奈良時代の住居跡4軒、平安時代の住居跡3軒と土器焼成遺構1基、時期不明の井戸跡3基、溝跡18条、土坑・ピット多数が確認されている。

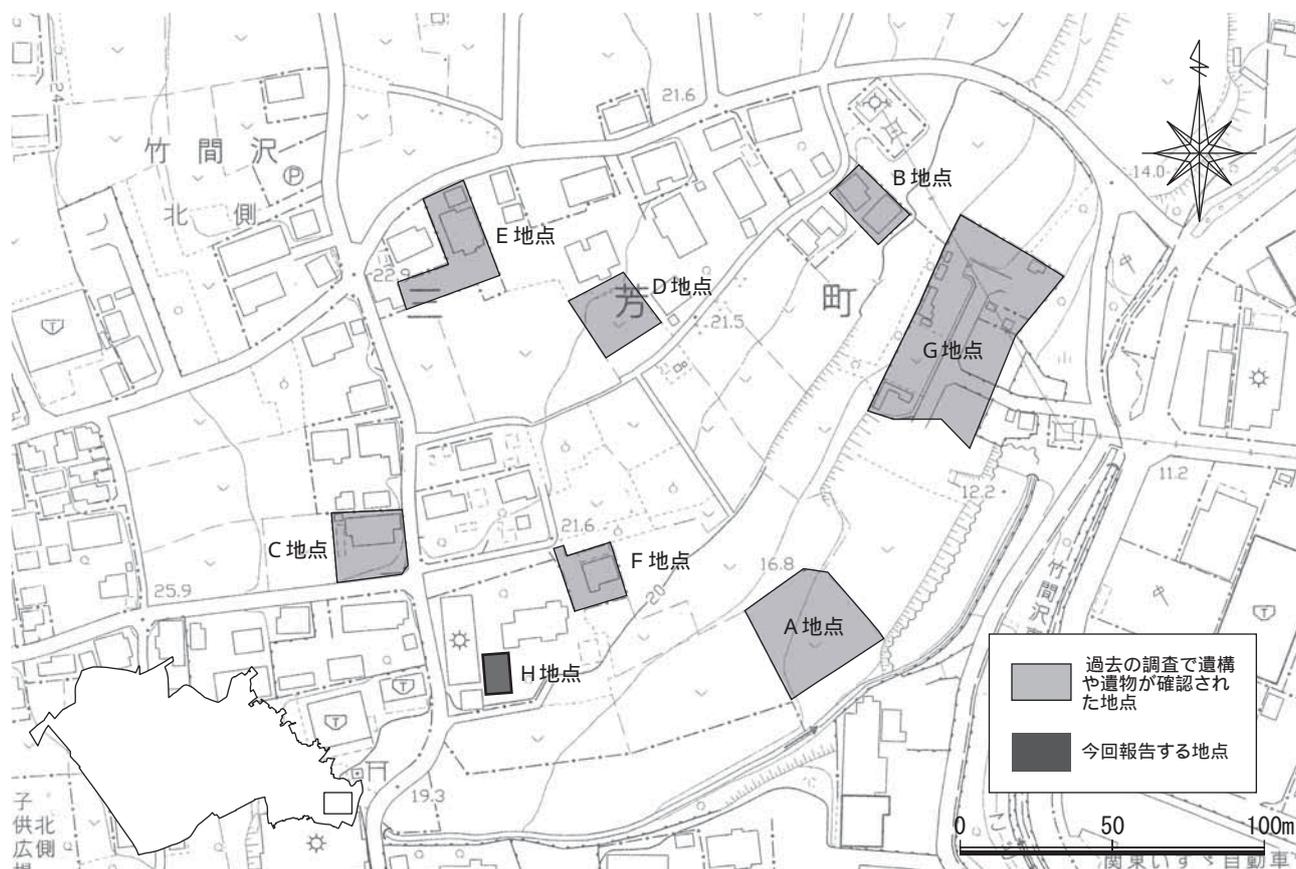
2) 調査の経緯

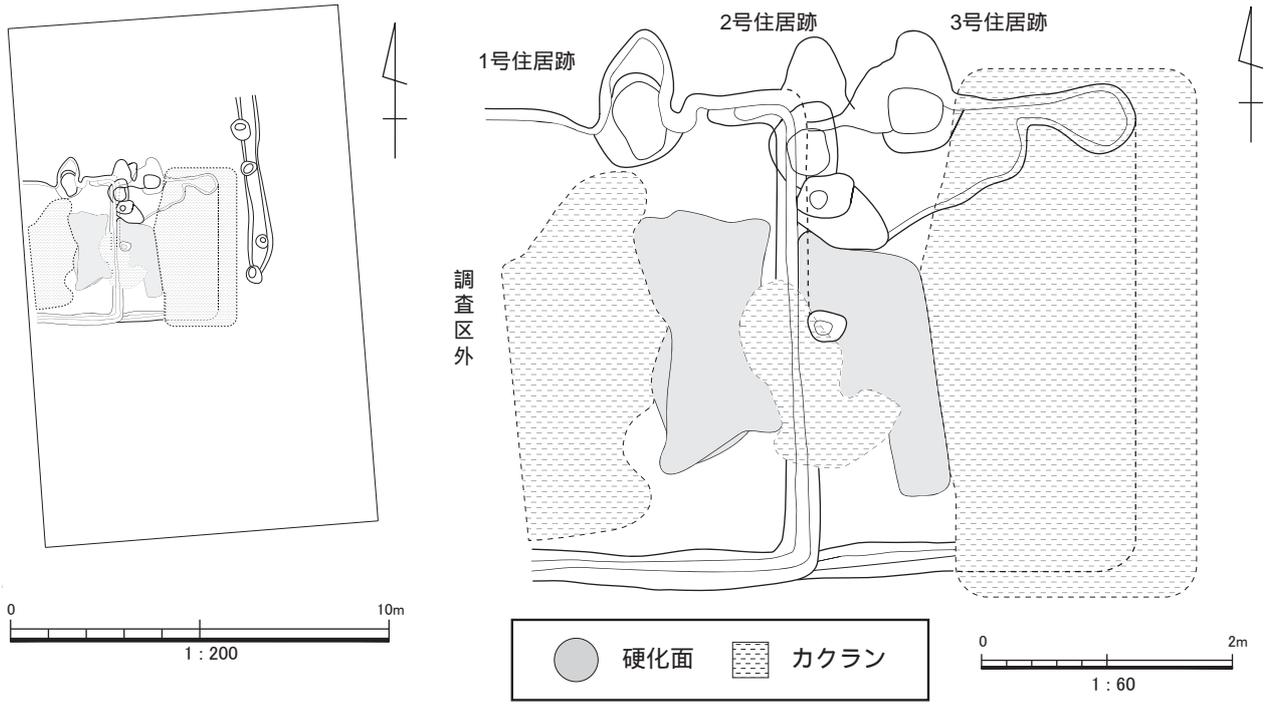
今回の調査地点であるH地点は、埼玉県入間郡三芳町竹間沢785-1及び-6に位置する。三芳町教育委員会では、個人住宅建設に先立つ遺跡の範囲及び性格・内容の把握のため、当該箇所1,648㎡について平成27年2月16日～2月17日に試掘調査を実施した。調査の結果、平安時代の住居跡3軒が確認されたため開発者と協議を行ったところ、開発は避けられないとの結論に達し、住居跡の確認された範囲を拡張する形で記録保存のための発掘調査を実施することとなった。

三芳町教育委員会では、文化財保護法に基づき平成27年2月17日付け三芳教文発第312号で発掘調査通知を埼玉県教育委員会へ提出し、同年2月18日～3月2日に発掘調査を実施した。今回の調査地点は、周知の埋蔵文化財包蔵地(県遺跡番号32-003)の南西部に位置する(第8図)。

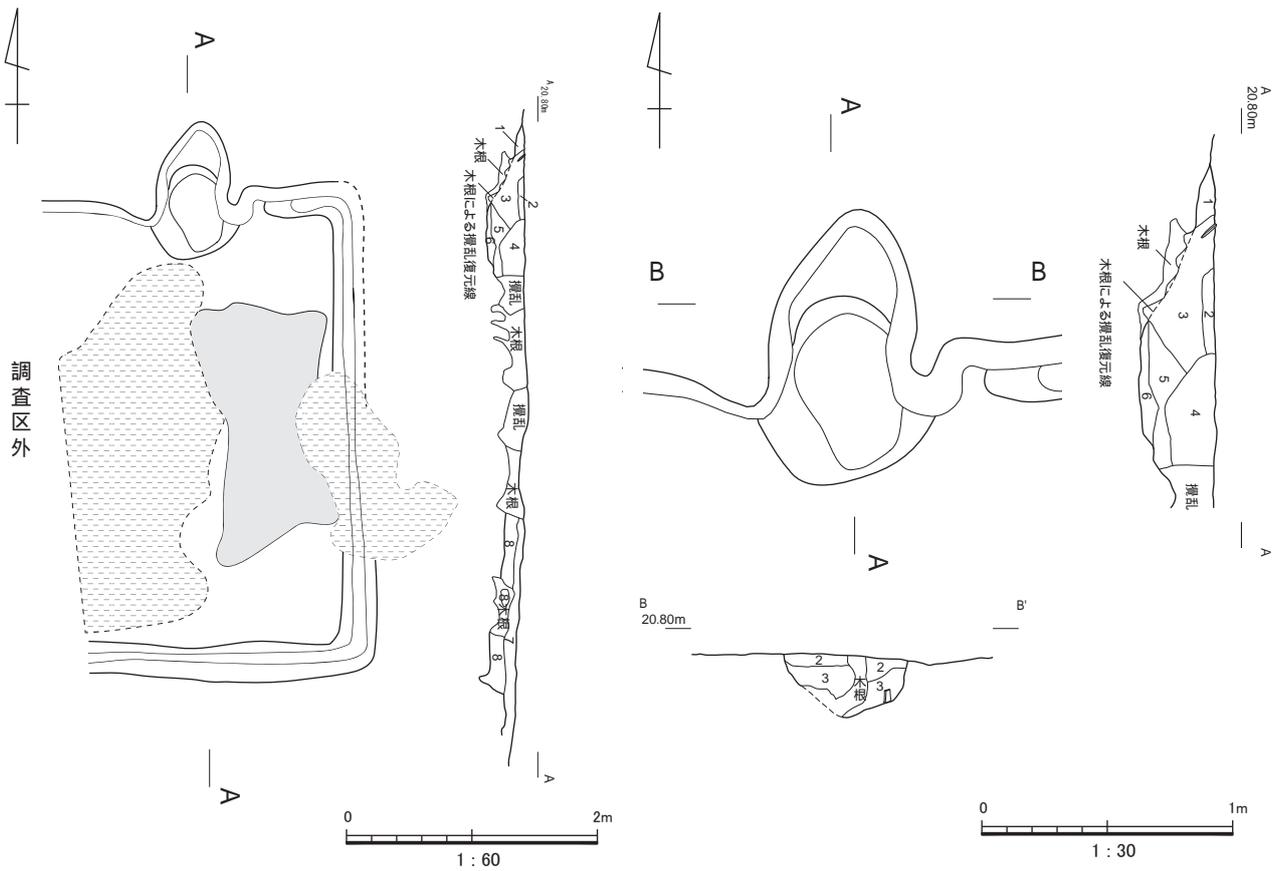
3) 遺構と遺物

遺構は、平安時代の住居跡3軒が確認され、遺物は土師器片・須恵器片(墨書土器含む)・土製紡錘車などが出土した。後世の掘削や木根などのカクランの影響により、遺構の遺存状態は極め



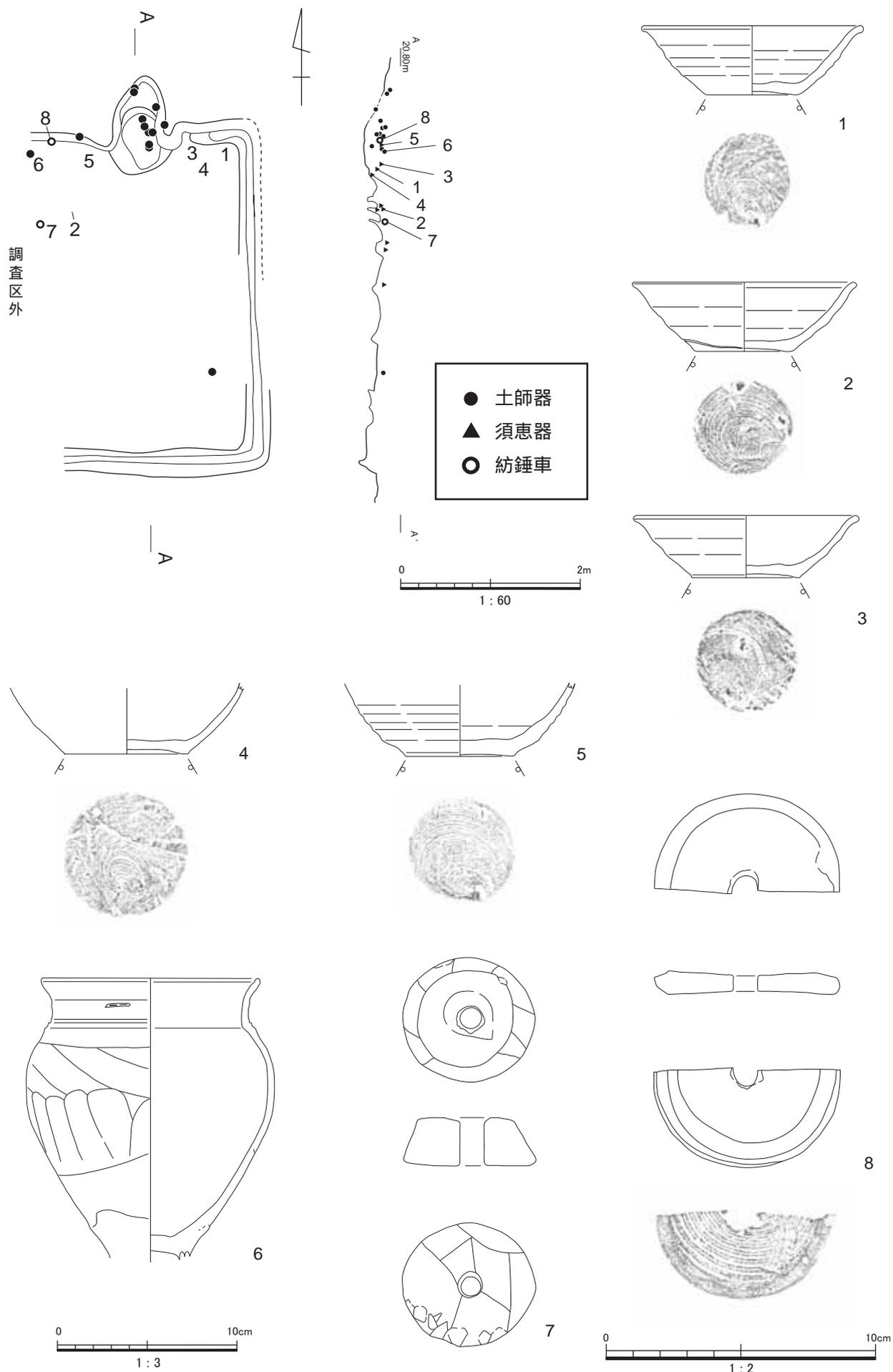


第9図 調査区全体図(1/200)・遺構配置図(1/60)

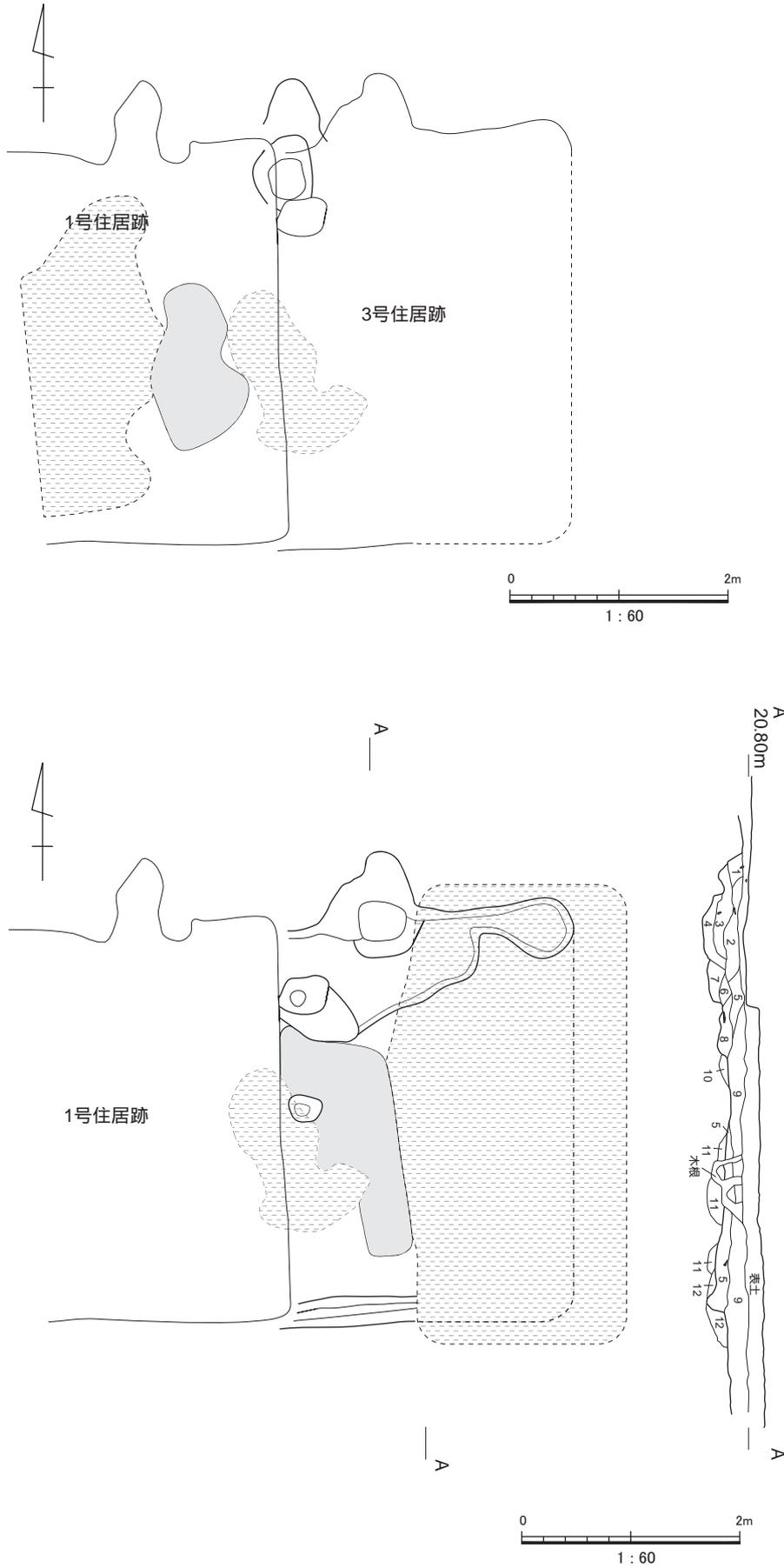


1. 黒褐色土 しまり有 粘性無 焼土粒子・ロームブロックを少量に含む
2. 黒褐色土 しまり有 粘性無 焼土粒子を多量に含む
3. 褐灰色土 しまり有 粘性無 焼土粒子・炭化物粒子を多量に含む
4. 黒色土 しまり有 粘性無 大粒の焼土粒子を多量に含む
5. 黒褐色土 しまり弱 粘性無 焼土粒子・炭化物粒子・白色灰を少量に含む
6. 黒褐色土 しまり弱 粘性無 焼土粒子を微量に含む
7. 黄褐色土 しまり弱 粘性無 転圧された表土
8. 黒褐色土 しまり有 粘性無 ローム粒子を多量に含む

第10図 1号住居跡平面図及び土層断面図(1/60)・カマド平面図及び土層断面図(1/30)



第 11 図 1 号住居跡遺物出土状況図 (1/60) 及び出土遺物 (1/3・1/2)



SPA-A'・A-A''・B-B'・C-C' 共通

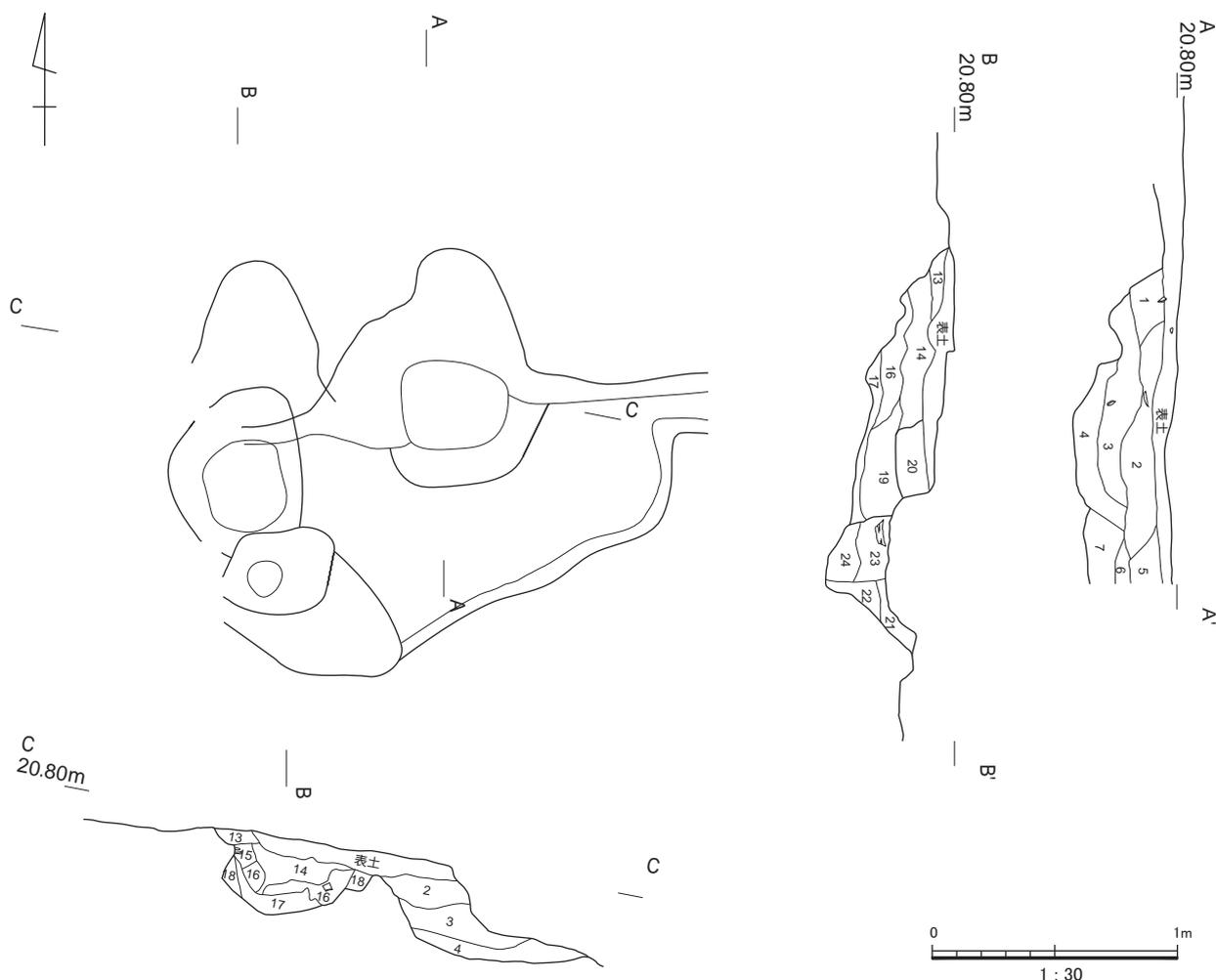
3号住居跡

1. 灰黄褐色土 しまりやや弱 粘性無 焼土粒子・炭化物粒子・白色粘土粒子を少量含む
2. 黒褐色土 しまり有 粘性無 ローム粒子・ロームブロックを多量に、焼土粒子を少量に含む
3. 褐灰色土 しまり有 粘性無 焼土粒子・焼土ブロックを多量に、焼土粒子を微量に含む
4. 褐灰色土 しまり有 粘性無 焼土粒子・炭化物粒子・白色粘土粒子を多量に含む
5. 黒色土 しまり有 粘性無 ローム粒子を多量に、焼土粒子を少量に含む
6. 褐灰色土 しまり有 粘性無 焼土粒子・炭化物粒子・白色粘土粒子を非常に多量に含む
7. 灰黄褐色土 しまり有 粘性無 ロームブロック多量に含む
8. 褐灰色土 しまり有 粘性無 ローム粒子を非常に多量に、焼土粒子・炭化物粒子を微量に含む
9. 黄灰色土 しまり弱 粘性無 転圧された表土
10. 灰黄褐色土 しまり有 粘性無 ロームブロックを少量に、焼土粒子・炭化物粒子・白色粘土粒子を微量に含む 掘り方
11. 黄褐色土 しまり有 粘性無 ローム粒子を多量に、焼土粒子・炭化物粒子を少量に、白色粘土粒子を微量に含む 掘り方
12. 黄褐色土 しまり有 粘性無 ローム粒子を多量に含む 掘り方

2号住居跡

13. 褐灰色土 しまり有 粘性無 焼土粒子・白色粘土粒子を多量に含む
 14. 黒褐色土 しまり有 粘性無 焼土粒子を多量に、ローム粒子・白色粘土粒子を微量に含む
 15. 黄灰色土 しまり有 粘性無 白色粘土粒子を多量に含む
 16. 暗赤褐色土 しまり強 粘性無 焼土粒子を多量に、ローム粒子を微量に含む
 17. 黒褐色土 しまり弱 粘性無 ローム粒子を少量に含む
 18. 黒褐色土 しまり有 粘性無 焼土粒子を少量に含む 壁面崩落土
 19. 褐灰色土 しまり有 粘性無 焼土粒子・炭化物粒子・白色粘土粒子を非常に多量に含む
- 3号住居跡
20. 黒色土 しまり有 粘性無 焼土粒子・炭化物粒子を多量に含む
 21. 褐灰色土 しまり有 粘性無 焼土粒子・炭化物粒子・ローム粒子を微量に含む
 22. 黒褐色土 しまり有 粘性無 ロームブロックを多量に含む
 23. 黒褐色土 しまり有 粘性無 ローム粒子を多量に、焼土粒子を微量に含む
 24. 黒色土 しまり弱 粘性無 ローム粒子を非常に多量に含む

第 12 図 2号住居跡平面図(1/60)・3号住居跡平面図及び土層断面図(1/60)



第13図 2号住居跡・3号住居カマド平面図及び土層断面図(1/30)

て悪く調査は困難を極めたが、調査中の所見などから、2号住居跡が一番古く、3号住居跡 1号住居跡の順に構築されたと推察される。いずれにせよ3軒の住居跡は主軸を同一とし、1号住居跡及び3号住居跡は長軸の規模もほぼ同規模であることから、時期差についてはそれほど認められないのではないかと考えられる。

【遺構】

1号住居跡(第10図・第11図)

2号住居跡及び3号住居跡より新しい。西壁は調査区外に及ぶため未検出であるが、長軸4.45m×短軸2.55m(確認された最大値)、主軸方向をほぼ真北とする。壁高は確認面より約10cm。床面は大部分がカクランの影響を受けていたが、一部ではロームブロックを主体とする貼床が確認された。柱穴は確認されなかった。壁溝は東側及び南側で確認され、この壁溝を元に1号住居跡の平面プランの復元及び3号住居跡との切り合い関係を判断した。カマドは北壁に構築されていたが、天井部は失われていた。袖は左右とも白色粘土を補強材としている状況が確認された。出土遺物は、土師器片147点・須恵器片38点・緑釉陶器2点・灰釉陶器1点・土製紡錘車2点などである。

2号住居跡(第12図・第13図)

1号住居跡及び3号住居跡に切られ、カマド及び貼床の一部のみが確認された。カマドの天井部は失われ、袖も確認することができなかった。出土遺物は土師器片93点・須恵器片12点であり、いずれも小破片であり、図化し得なかった。

3号住居跡(第12図・第13図)

1号住居跡より古く、2号住居跡より新しい。西壁は1号住居跡に切られ、東壁はカクランによってプランが不明瞭であった。長軸4.30m×短軸2.60m(確認された最大値)主軸方向をほぼ真北とする。壁高は確認面より約10cm。床面は大部分がカクランの影響を受けていたが、一部でロームブロックを主体とする貼床が確認された。柱穴は2箇所、壁溝は南側で確認された。カマドは北壁に構築されていたが、天井部は失われ、袖も確認することができなかった。出土遺物は土師器片218点・須恵器片51点・緑釉陶器片6点・灰釉陶器片2点などであり、そのうち須恵器坏の1点(第14図1 覆土中からの一括資料)に「因」の墨書が確認された。

【遺物】

1号住居跡出土遺物(第11図)

1. 須恵器坏 残存率50%で、口径12.3cm・底径5.2cm・内底径4.8cm・器高3.9cm。底部より緩やかな角度で立ち上がり、口縁部はやや外反する。調整はロク口で体部に弱い稜をもつ。底部は回転系切り後無調整。胎土は緻密で、1～2mm大の小石を多量に、5mm大の小石を若干含む。焼成は良好。色調は灰色。

2. 須恵器坏 残存率80%で、口径12.5cm・底径5.4cm・内底径5.4cm・器高3.9cm。底部よりやや膨らみをもって立ち上がり、口縁部はやや外反する。調整はロク口で体部に弱い稜をもつ。底部は回転系切り後無調整。胎土は緻密で、1mm大の小石を若干含む。焼成は良好。色調は灰色。

3. 須恵器坏 残存率60%で、口径12.6cm(復元径)・底径5.4cm・内底径4.6cm・器高3.5cm。底部より緩やかな角度で立ち上がり、口縁部はやや外反する。調整はロク口で体部に弱い稜をもつ。底部は回転系切り後無調整。胎土は緻密で、砂粒・白色粒子を多量に含む。焼成は良好。色調は灰色。

4. 須恵器碗 残存率30%で、底径7.0cm・内底径6.4cm・器高4.0cm(残存高)。底部よりやや膨らみをもって立ち上がる。調整はロク口。底部は回転系切り後無調整。胎土は緻密。焼成は良好。色調は灰色。

5. 須恵器碗 残存率40%で、底径6.0cm・内底径5.8cm・器高4.1cm(残存高)。底部よりやや膨らみをもって立ち上がる。調整はロク口で体部に弱い稜をもつ。底部は回転系切り後無調整。胎土は緻密で、1～2mm大の小石・赤色粒子・白色粒子を多量に含む。焼成は酸化炎焼成となり、焼きは甘い。色調は褐色で一部灰褐色。

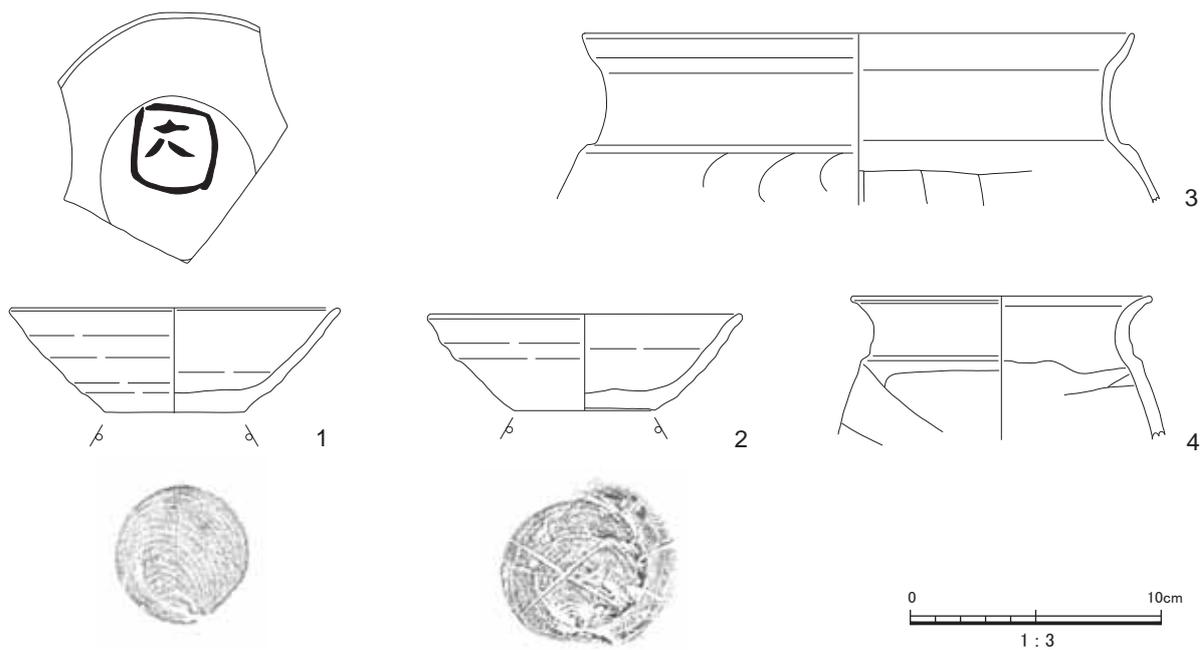
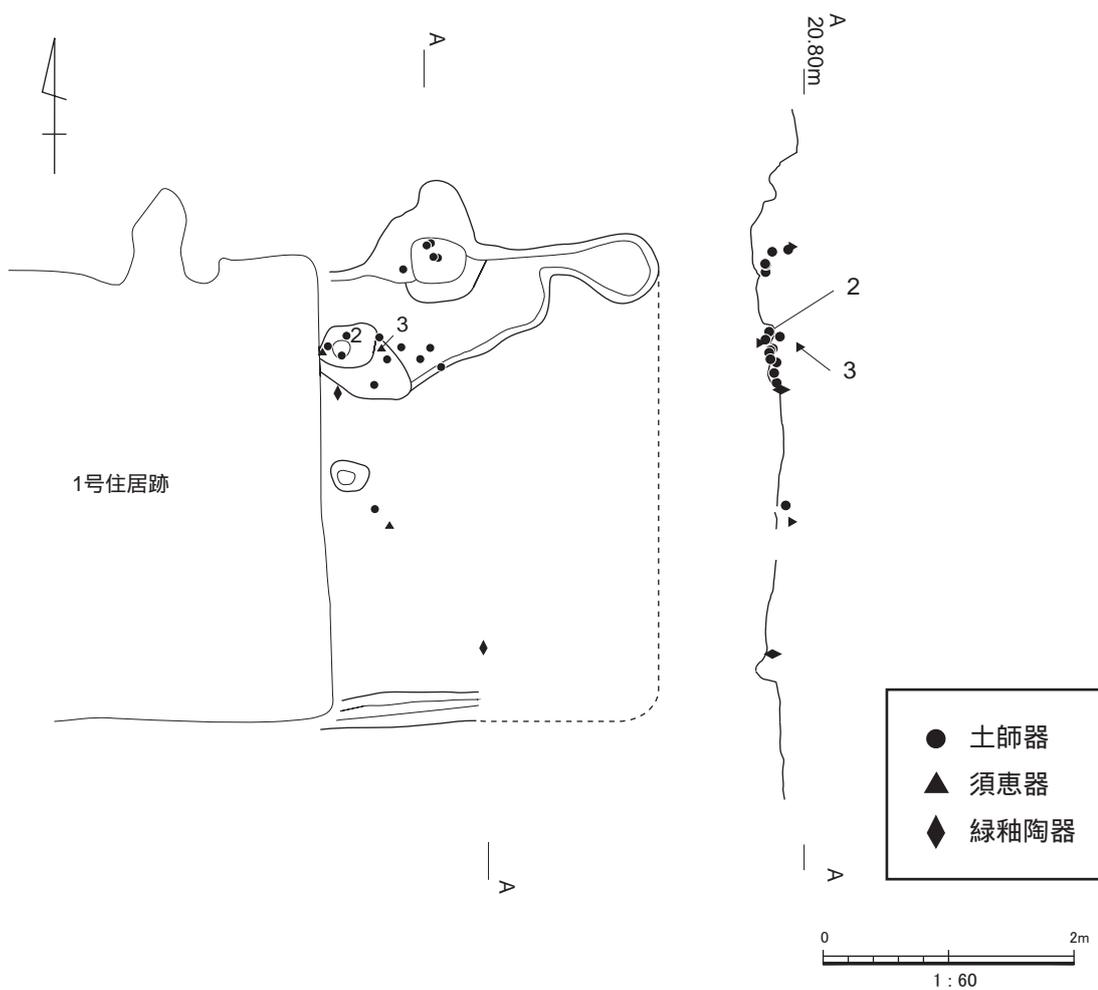
6. 土師器台付甕 台部と口縁部の一部を欠損するものの残存率80%で、口径12.2cm・胴径13.8cm・器高15.6cm(残存高)。口縁部はコの字状を呈する。調整は口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上部ヘラケズリ・同下部ヨコナデ。胎土は緻密で、砂粒を多量に、雲母粒子を少量に含む。焼成は良好。色調は茶褐色で、全体的に煤けて黒っぽい。

7. 土製紡錘車 残存率は100%で、(図上の)上面径3.5～3.7cm・下面径4.5～4.8cm・高さ1.8cm。ほぼ中央に直径0.8cmの孔が貫通しており、上面には穿孔時にできたと思われる剥離痕が残る。調整は下面は数方向のケズリ及び一部ヨコナデ、側面はケズリによる面取りを施す。胎土は緻密で、1～2mm大の小石を若干含む。焼成は良好。色調は灰白色。

8. 土製紡錘車 残存率50%で、直径6.8cm・高さ0.8～0.9cm。須恵器坏の底部(回転系切り後周辺ヘラケズリ)を転用し、ほぼ中央に直径0.9cmの孔が貫通している。(図上の)上面の体部立ち上がり欠損部は著しく磨滅し、滑らかな手触りとなっている。胎土は緻密。焼成は良好。色調は暗褐色。

3号住居跡出土遺物(第14図)

1. 須恵器坏 残存率30%で、口径13.2cm(復元径)・底径6.0cm・内底径5.6cm・器高4.2cm。底



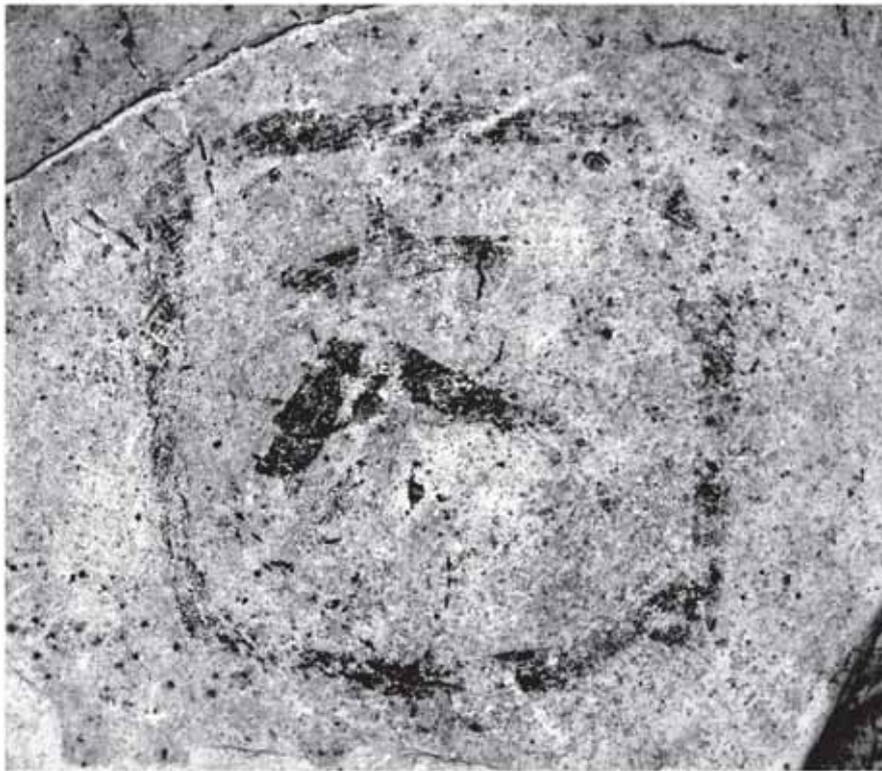
第 14 図 3 号住居跡遺物出土状況図 (1 / 60) 及び出土遺物 (1 / 3)

部より腰をもって直線的に立ち上がり、口縁部も直線的である。調整は口ク口で体部に弱い稜をもつ。底部は回転糸切り後無調整。胎土は緻密で、赤色粒子を多量に、雲母粒子を若干含む。焼成は酸化炎焼成となるが、良好。色調は黄褐色。内底面(見込み部分)に「因」の墨書を有する。3号住居跡覆土一括資料。

2. 須恵器坏 残存率70%で、口径12.6cm・底径5.6cm・内底径4.6cm・器高3.9cm。底部より緩やかな角度で立ち上がり、口縁部はやや外反する。調整は口ク口で体部に弱い稜をもつ。底部は回転糸切り後無調整。胎土は緻密で、2mm大の小石を若干含む。焼成は良好。色調は灰色。

3. 土師器甕 口縁部のみの破片で(残存率10%)、口径22.0cm(復元径)・胴径24.0cm(残存部)・器高6.8cm(残存高)。口縁部は崩れたコの字状を呈する。調整は口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヘラケズリ、体部内面ヘラナデ。胎土は緻密で、砂粒・雲母粒子を多量に含む。焼成は良好。色調は赤褐色。

4. 土師器甕(台付甕か) 口縁部のみの破片で(残存率20%)、口径12.0cm・胴径13.0cm(残存部)・器高5.6cm(残存高)。口縁部は崩れたコの字状を呈する調整は口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヘラケズリ、体部内面ヘラナデ。胎土は緻密で、砂粒・雲母粒子を多量に、小石を若干含む。焼成は良好。色調は赤褐色。3号住居跡覆土一括資料。



3号住居跡出土遺物 No.1 墨書部分拡大写真

． 自然科学分析

1 ． 中東遺跡第 6 地点(2 次)における火山灰分析

株式会社 火山灰考古学研究所

1)はじめに

関東地方西部に位置する埼玉県三芳町域とその周辺には、富士・赤城・浅間・榛名など関東地方とその周辺に分布する火山のほか、中部地方や中国地方さらには九州地方など遠方に位置する火山から噴出したテフラ（火山砕屑物、いわゆる火山灰）が数多く降灰している。とくに後期更新世以降に降灰したそれらの多くについては、層相や年代さらに岩石記載的な特徴がテフラ・カタログ（町田・新井 1992・2003・2011）に収録されており、考古遺跡などで調査分析を行ってテフラを検出することで、地形や地層の形成年代さらには考古学的に遺物や遺構の年代などに関する研究を実施できるようになっている。

三芳町中東遺跡第 6 地点（2 次）の発掘調査でも、詳細な層位や年代が不明な旧石器時代遺物やテフラ層などが検出されたことから、地質調査を実施して土層やテフラ層の記載を行うとともに、高純度で分析試料を採取し、実験室内でテフラ分析（火山ガラス比分析および火山ガラスの屈折率測定）を実施して、すでに年代が明らかにされている指標テフラの検出同定を実施することになった。調査分析の対象は、ピット 8 およびピット 2 の 2 地点である。

2)調査分析地点の土層層序

ピット 8

ピット 8 の西壁では、下位より灰白色粘土層（層厚 10cm 以上 15 層）、黄色粘質土（層厚 21cm 14 層）、やや黄色がかった褐色粘質土（層厚 11cm 13 層）、暗灰褐色粘質土（層厚 21cm 12 層）、暗灰褐色粘質土（層厚 2 cm）、灰色粗粒火山灰層（パッチ状 最大層厚 6 cm）、暗灰褐色土（層厚 6 cm 以上 11 層）、やや色調が暗い灰褐色土（層厚 3 cm）、風化した黄白色細粒軽石層（層厚 6 cm 軽石の最大径 3 mm）、やや色調が暗い灰褐色土（層厚 10cm 以上 10 層）、灰褐色土（層厚 22cm 9 層）、灰色がかった褐色土（層厚 17cm 8 層）、暗灰色や赤褐色の細粒スコリアを含む灰褐色土（層厚 20cm スコリアの最大径 3 mm 7 層）、灰褐色土（層厚 12cm 6 層）、赤褐色細粒スコリア混じり褐色土（層厚 7 cm 5 層）、粗粒の赤褐色スコリア混じり黄褐色土（層厚 6 cm）、黒灰褐色土（層厚 7 cm 以上 4 層）、黒色土（層厚 19cm）、黒褐色土（層厚 13cm 以上 3 層）、暗褐色土（層厚 27cm 2 層）、黒褐色作土（層厚 43cm 1 層）が認められる（第 15 図）。本遺跡における発掘調査では、7 層と 6 層の境界付近から旧石器時代の石器が検出されている。

ピット 2

ピット 2 の下部では、下位より灰色粘土層（層厚 10cm 以上）、やや灰色がかった褐色粘質土（層厚 12cm）、灰褐色粘質土（層厚 8 cm）、黒褐色マンガン層（層厚 3 cm）、暗灰褐色粘質土（層厚 8 cm）、褐色粘質土（層厚 15cm）、灰色粘質土（層厚 4 cm）、黄白色細粒火山灰層（レンズ状 最大層厚 3 cm）、細粒の黄白色軽石に富みやや黄色がかった灰色土（層厚 5 cm 以上 軽石の最大径 2 mm）が認められる（第 16 図）。

3)火山ガラス比分析

分析試料と分析方法

ピット 8 の西壁において、テフラ層ごとの 2 試料、また層界を避けて基本的に厚さ 5 cm ごとに設定

採取されたうち石器検出層準付近とその下位の 13 試料を対象に、火山ガラスの形態色調別含有率、また軽鉱物や重鉱物の含有率を求める火山ガラス比分析を実施して、ガラス質テフラの降灰層準を求めた。火山ガラス比分析の手順は次のとおりである。

- . 試料 8 g を秤量。
- . 超音波洗浄装置により泥分を除去。
- . 恒温乾燥器により 80 ℃ で恒温乾燥。
- . 分析篩により 1/4 ~ 1/8mm と 1/8 ~ 1/16mm の粒子を篩別。
- . 偏光顕微鏡下で 1/4 ~ 1/8mm の 250 粒子を観察し、火山ガラスの形態色調別含有率、また軽鉱物や重鉱物の含有率を求める。

分析結果

火山ガラス比分析の結果をダイヤグラムにして第 17 図に、その内訳を第 3 表に示す。ピット 8 の西壁では、試料 26 に無色透明のバブル型の火山ガラスの出現ピーク(39.6%)が認められる。それより上位では、重鉱物のしめる割合が大きくなる。重鉱物は試料 22 で急増し(72.4%)、試料 18 で割合が最大(74.0%)となる。これらの層準では、カンラン石のほかに斜方輝石や単斜輝石も多く認められる。

試料 14 より上位では、分厚い中間型や繊維束状に発泡した軽石型ガラスの含有率が増大する。試料 14 でのこれらの含有率はそれぞれ 11.6%と 3.2%で、これらの含有率は試料 10 で最大となる(各 16.0%および 4.8%)。また、試料 10 や同じように中間型や繊維束状軽石型ガラスの含有率が高い試料 9 では、重鉱物として斜方輝石や単斜輝石が多く含まれる傾向にある。

4) 屈折率測定(火山ガラス)

測定試料と測定方法

ピット 8 西壁における火山ガラ比分析によって特徴的な火山ガラスと鉱物が検出された各 2 試料の合計 4 試料を対象に屈折率測定を実施した。なお、鉱物としては斜方輝石の屈折率()の測定を行った。測定は温度変化型屈折率測定法(壇原 1993)で、測定対象は分析篩による篩別で得られた 1/8 ~ 1/16mm 粒子の中の火山ガラスと、実体顕微鏡下でピックアップして得た >1/4mm の斜方輝石である。後者については、軽く粉碎した後に測定を行った。

測定結果

屈折率の測定結果を第 4 表に示す。この表には、関東地方西部の後期旧石器時代以降の代表的な指標テフラの火山ガラスと斜方輝石の屈折率特性も示した。

ピット 8 西壁の試料 22 に含まれる斜方輝石(30 粒子)の屈折率()の range は、1.702-1.712 である。この値は bimodal 組成で、実際には : 1.702-1.708(23 粒子)と : 1.710-1.712(7 粒子)からなる。試料 18 に含まれる斜方輝石(30 粒子)の屈折率()の range は、1.702-1.708 である。

試料 14 に含まれる火山ガラス(34 粒子)の屈折率(n)は、1.499-1.503 である。また、試料 10 に含まれる火山ガラス(33 粒子)の屈折率(n)は、1.502-1.503 である。

5) 考察

中東遺跡第 6 地点(2 次)ピット 8 における分析対象試料のうち、試料 22(9 層)および試料 18(8 層)付近の斜方輝石で特徴づけられるテフラは、約 1.9 ~ 2.4 万年前 *1 に浅間火山から噴出した浅間板鼻褐色軽石群(As-BP Group 新井 1962、町田・新井 1992・2003、早田 1996 など)と考えられる。ただし、北関東地方におけるテフラと土層の関係をみると、まだ明色の土層中に層位がある As-BP

Group はまだよく知られておらず、二次的な濃集層準の可能性もある。

また、肉眼でテフラ粒子の濃集が認められた、より下位の 2 層準のうち、上位の試料 26 採取層準(10 層)に関しては、層相から As-BP Group の最下部の室田軽石(MP 森山 1971、早田 1990 など)の可能性が高い。この MP の直下には約 2.4 ~ 2.5 万年前 *1 の始良 Tn 火山灰(AT 町田・新井 1976・1992・2003)の降灰層準があることが知られており(早田 1990)、今回の分析で試料 26 から多くの AT 起源と思われる無色透明のバブル型ガラスが検出されたこととも、層位的に矛盾しない。なお、ピット 2 において認められた黄白色細粒火山灰層には、とくに多くの無色透明のバブル型ガラスが含まれており、AT と考えられる。したがって、その直上の土層に多く含まれる細粒の黄白色軽石も MP と考えられる。ただし、ピット 8 西壁において MP の下位にある試料 28 採取層準の粗粒火山灰の詳細に関しては、現在のところ不明である。

その上位の試料 14(7 層)および試料 10(5 層)の 2 層準に降灰層準があると推定されるテフラ層は、火山ガラスの形態、色調、屈折率特性、そして斜方輝石や単斜輝石を多く含むことから、浅間系テフラと考えられる。層位を考慮すると、下位のテフラは約 1.6 万年前 *1 に浅間火山から噴出した浅間大窪沢第 2 軽石(As-Ok2 中沢ほか 1984、町田・新井 1992・2003、早田 1996)、上位のテフラは約 1.3 ~ 1.4 万年前 *1 に浅間火山から噴出した浅間板鼻黄色軽石(As-YP 新井 1962、町田・新井 1992・2003)の上部の可能性が高い。したがって、ピット 8 で検出された石器の層位(7 層と 6 層の層界付近)は、As-Ok2 と As-YP の間にある可能性が高い。

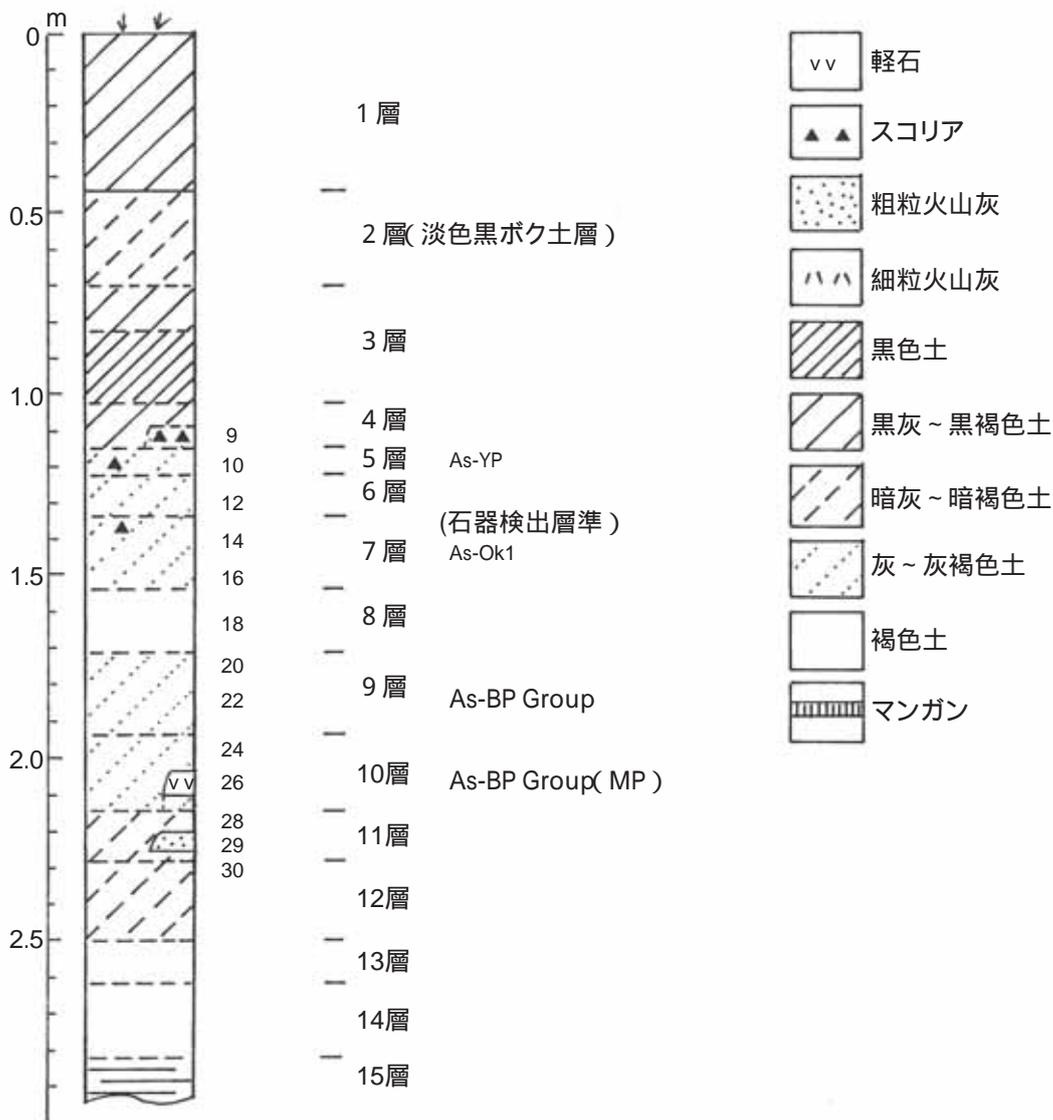
6)まとめ

三芳町中東遺跡第 6 地点(2 次)において、地質調査、火山ガラス比分析、火山ガラスおよび鉱物(斜方輝石)の屈折率測定を実施した。その結果、下位より始良 Tn 火山灰(AT 約 2.4 ~ 2.5 万年前 *1)、浅間板鼻褐色軽石群(As-BP Group 約 1.9 ~ 2.4 万年前 *1)のうちの少なくとも 2 層、浅間大窪沢第 2 軽石(As-Ok2 約 1.6 万年前 *1)、浅間板鼻黄色軽石(約 1.3 ~ 1.4 万年前 *1)などの後期旧石器時代指標テフラの降灰層準を検出することができた。発掘調査で検出した旧石器時代の遺物の層位は、As-Ok2 と As-YP の間と推定される。

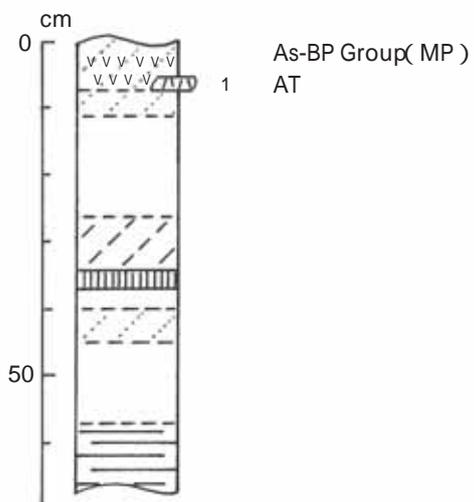
*1 放射性炭素(^{14}C)年代 AT および As-YP の暦年較正年代は、約 2.8 ~ 3.0 年前と約 1.5 ~ 1.65 万年前と考えられている(町田・新井 2003・2011)。なお、群馬県域における後期旧石器時代の指標テフラの年代推定に関する諸問題については、関口ほか(2011)に詳しい。

文献

- 新井房夫(1962)「関東盆地北西部地域の第四紀編年」『群馬大学紀要』自然科学編 10 p.1-79.
 新井房夫(1972)「斜方輝石・角閃石の屈折率によるテフラの同定 - テフロクロノロジーの基礎的研究」『第四紀研究』11 p.254-269.
 新井房夫(1979)「関東地方北西部の縄文時代以降の示標テフラ層」『考古学ジャーナル』no.53 p.41-52.
 新井房夫(1993)「温度一定型屈折率測定法」日本第四紀学会編『第四紀試料分析法』東京大学出版会 p.136-149.
 荒牧重雄(1968)「浅間火山の地質」『地団研専報』no.14 p.1-45.
 壇原 徹(1993)「温度変化型屈折率測定法」日本第四紀学会編『第四紀試料分析法』東京大学出版会 p.149-158.
 町田 洋・新井房夫(1976)「広域に分布する火山灰 - 始良 Tn 火山灰の発見とその意義 - 」『科学』46 p.339-347.
 町田 洋・新井房夫(1992)『火山灰アトラス』東京大学出版会 276p.



第 15 図 中東遺跡第 6 地点(2 次) ピット 8 の土層柱状図

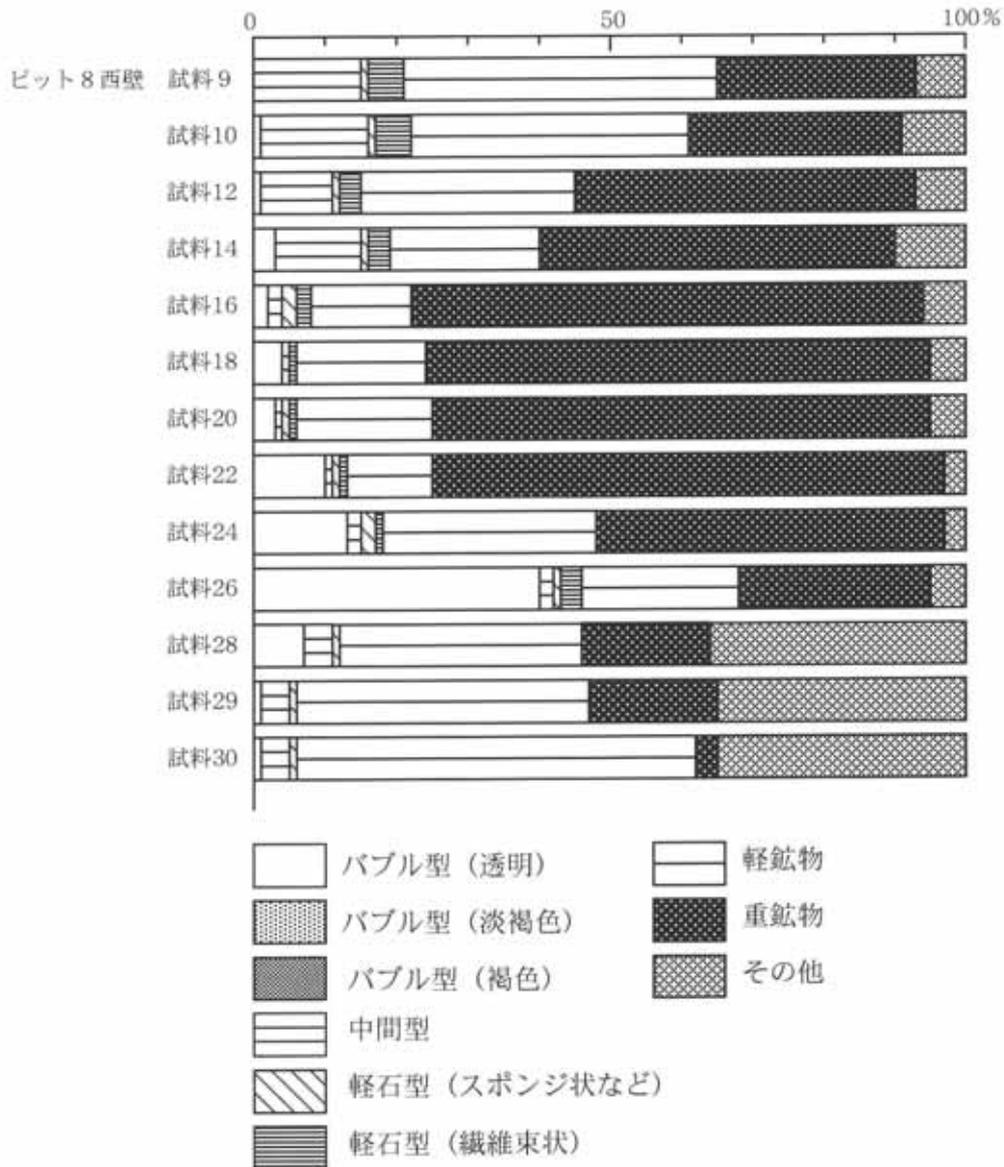


第 16 図 中東遺跡第 6 地点(2 次) ピット 2 の土層柱状図

地点	試料	bw(cl)	bw(pb)	bw(br)	md	pm(sp)	pm(fb)	軽鉱物	重鉱物	その他	合計
ピット8西壁	9	0	0	0	37	1	12	113	69	18	250
	10	1	0	0	40	3	12	95	76	23	250
	12	2	0	0	25	1	7	78	120	17	250
	14	7	0	0	29	2	8	53	126	25	250
	16	6	0	0	5	4	5	36	179	15	250
	18	10	0	0	2	0	2	42	185	9	250
	20	7	0	0	1	1	2	47	178	14	250
	22	25	0	0	2	3	1	30	181	8	250
	24	32	0	0	4	4	2	74	126	8	250
	26	99	0	0	4	3	8	55	68	13	250
	28	18	0	0	9	3	0	86	46	88	250
	29	1	0	0	11	2	0	103	44	89	250
	30	1	0	0	10	3	0	140	8	88	250

bw:バブル型, md:中間型, pm:軽石型, cl:無色透明, pb:淡褐色, br:褐色, sp:スポンジ状, fb:繊維束状. 数字は粒子数.

第3表 ピット8の火山ガラス比分析結果



第17図 ピット8の火山ガラス比ダイヤグラム

町田 洋・新井房夫(2003)『新編火山灰アトラス』東京大学出版会 336p.

町田 洋・新井房夫(2011)『新編火山灰アトラス(第2刷)』東京大学出版会 336p.

町田 洋・新井房夫・小田静夫・遠藤 恭雄・杉原重夫(1984)「テフラと日本考古学 - 考古学研究に關係するテフラのカタログ - 」古文化財編集委員会編『考古学に関する保存科学と人文・自然科学』 p.865-928.

森山昭雄(1971)「榛名火山東・南山麓の地形 - とくに軽石流の地形について」『地理学報告』no.36・37 p.107-116.

中沢英俊・新井房夫・遠藤邦彦(1984)「浅間火山 黒班～前掛期のテフラ層序」『日本第四紀学会講演要旨集』no.14 p.69-70.

関口博幸・早田 勉・下岡順直(2011)「群馬の旧石器編年のための基礎的研究 - 関東地方北西部における石器群の出土層位、テフラ層序、数値年代の整理と検討 - 」『群馬県埋蔵文化財調査事業団研究紀要』29 p.1-20.

早田 勉(1990)「群馬県の自然と風土」群馬県史編さん委員会編『群馬県史通史編 1 原始古代 1』 p.35-129.

早田 勉(1996)「関東地方～東北地方南部の示標テフラの諸特徴 - とくに御岳第1テフラより上位のテフラについて - 」『名古屋大学加速器質量分析計業績報告書』7 p.256-267.

早田 勉(2014)「有馬寺畑遺跡の土層とテフラ」『渋川市教育委員会編『有馬寺畑遺跡』 p.197-211.

地点・試料・テフラ	試料	火山ガラス		斜方輝石		文献
		屈折率(n)	測定点数	屈折率(γ)	測定点数	
中東遺跡第6地点・ピット8西壁	10	1.502-1.503	33			本報告
	14	1.499-1.503	34			本報告
	18			1.702-1.708	30	本報告
	22			1.702-1.712 (1.702-1.708) (1.710-1.712)	30 (23) (7)	本報告

<関東地方西部周辺の指標テフラ-AT降灰以降>

浅間A(As-A, 1783年)	1.507-1.512	1.707-1.712	1)
浅間B(As-B, 1108年)	1.524-1.532	1.708-1.710	1)
榛名二ツ岳伊香保(Hr-FP, 6世紀中葉)	1.501-1.504	1.707-1.711	1)
榛名二ツ岳渋川(Hr-FA, 6世紀初頭)	1.500-1.502 1.499-1.504	1.707-1.711	1) 3)
榛名有馬(Hr-AA, 5世紀)	1.500-1.502		4)
浅間C(As-C, 3世紀後半)	1.514-1.520	1.706-1.711	2)
浅間D軽石(As-D, 約4,500年前 ^{*1})	1.513-1.516	1.706-1.708	2)
鬼界アカホヤ(K-Ah, 約7,300年前)	1.506-1.513		1)
浅間藤岡軽石(As-Fo, 約8,200年前 ^{*1})		1.706-1.710	2)
浅間総社(As-Sj, 約1.0～1.1万年前 ^{*1})	1.501-1.518	1.706-1.711	2)
浅間草津(As-K)	1.501-1.503	1.707-1.712	1)
浅間板鼻黄色(As-YP, 約1.5～1.65万年前)	1.501-1.505	1.707-1.712	1)
浅間大窪沢2(As-Ok2, 約1.6万年前 ^{*1})	1.502-1.504	1.704-1.709	1)
浅間大窪沢1(As-Ok1, 約1.7万年前 ^{*1})	1.500-1.502	1.704-1.709	1)
浅間白糸(As-Sr)	1.506-1.510	1.702-1.708	1)
浅間萩生(As-Hg, 約1.9万年前 ^{*1})	1.500-1.502	1.703-1.709	2)
浅間板鼻褐色(群)(As-BP Group) 上部	1.515-1.520	1.704-1.714	1)
中部	1.508-1.511	1.700-1.709	1)
下部	1.505-1.515	1.710-1.725	1)
始良Tn(AT, 約2.8～3万年前)	1.499-1.500		1)
榛名箱田(Hr-HA)		1.709-1.712	2)

1)町田・新井(1992, 2003, 2011), 2)早田(1996), 3)早田(2014), 4)町田ほか(1984).

本報告および3):温度変化型屈折率測定法(壇原, 1993). 1)・2)・4):温度一定型屈折率測定法(新井, 1972, 1993)

*1:放射性炭素(¹⁴C)年代.

第4表 ピット8のテフラ検出分析結果

1)はじめに

植物珪酸体は、植物の細胞内に珪酸(SiO_2)が蓄積したもので、植物が枯れたあともガラス質の微化石(プラント・オパール)となって土壤中に半永久的に残っている。植物珪酸体分析は、この微化石を遺跡土壌などから検出して同定・定量する方法で、イネをはじめとするイネ科栽培植物の同定および古植生・古環境の推定などに応用されている(杉山 2000)。

2)試料

分析試料は、第6地点(2次)の5層~8層から採取された試料6~試料9の計4点である。試料採取層位を分析結果の柱状図に示す。

3)分析方法

植物珪酸体の抽出と定量は、ガラスビーズ法(藤原 1976)を用いて次の手順で行った。

- ・ 試料を 105℃ で 24 時間乾燥(絶乾)。
- ・ 試料約 1g に対し直径約 40 μm のガラスビーズを約 0.02g 添加(0.1mg の精度で秤量)。
- ・ 電気炉灰化法(550℃・6時間)による脱有機物処理。
- ・ 超音波水中照射(300W・42KHz・10分間)による分散。
- ・ 沈底法による 20 μm 以下の微粒子除去。
- ・ 封入剤(オイキット)中に分散してプレパラート作成。
- ・ 検鏡・計数。

同定は、400倍の偏光顕微鏡下で、おもにイネ科植物の機動細胞に由来する植物珪酸体を対象として行った。計数は、ガラスビーズ個数が400以上になるまで行った。これはほぼプレパラート1枚分の精査に相当する。試料1gあたりのガラスビーズ個数に、計数された植物珪酸体とガラスビーズ個数の比率をかけて、試料1g中の植物珪酸体個数を求めた。

また、おもな分類群についてはこの値に試料の仮比重(1.0と仮定)と各植物の換算係数(機動細胞珪酸体1個あたりの植物体乾重)をかけて、単位面積で層厚1cmあたりの植物体生産量を算出した。これにより、各植物の繁茂状況や植物間の占有割合などを具体的にとらえることができる(杉山 2000)。タケ亜科については、植物体生産量の推定値から各分類群の比率およびメダケ率(メダケ属とササ属の比率)を求めた。

4)分析結果

分類群

検出された植物珪酸体の分類群は以下のとおりである。これらの分類群について定量を行い、その結果を第5表及び第18図に示した。主要な分類群について顕微鏡写真を示す。

〔イネ科〕

キビ族型、ウシクサ族A(チガヤ属など)、Bタイプ

〔イネ科 - タケ亜科〕

ネザサ節型(おもにメダケ属ネザサ節)、チマキザサ節型(ササ属チマキザサ節・チシマザサ節など)、ミヤコザサ節型(ササ属ミヤコザサ節など)、未分類等

〔イネ科 - その他〕

表皮毛起源、棒状珪酸体(おもに結合組織細胞由来)、茎部起源、未分類等

〔シダ類〕

〔樹木〕

その他

植物珪酸体の検出状況

下位の8層(試料9)では、キビ族型、ウシクサ族A、イネ科Bタイプ、ネザサ節型、チマキザサ節型、ミヤコザサ節型、および樹木(その他)などが検出されたが、いずれも少量である。イネ科Bタイプはヌマガヤ属に類似しており、氷期の湿地性堆積物などで検出される事例が多い。8層(試料8)から5層(試料6)にかけても、おおむね同様の結果であるが、7層(試料8)から6層(試料7)にかけてはミヤコザサ節型がやや増加している。メダケ率は、8層では12%、7～5層では7～8%と低い値である。

5)植物珪酸体分析から推定される土層形成時の植生と環境

下位の8層の堆積当時は、キビ族、ウシクサ族、イネ科Bタイプの給源植物、メダケ属(ネザサ節)、ササ属(チマキザサ節やミヤコザサ節)などが生育するイネ科植生であったと考えられ、遺跡周辺には何らかの樹木(落葉樹)が分布していたと推定される。8層から5層にかけても、おおむね同様の状況であったと考えられるが、7層から6層にかけてはササ属(ミヤコザサ節)がやや増加したと推定される。

タケ亜科のうち、メダケ属は温暖、ササ属は寒冷な気候の指標とされており、メダケ率(両者の推定生産量の比率)の変遷は、地球規模の氷期-間氷期サイクルの変動と一致することが知られている(杉山・早田 1996、杉山 2001・2010)。8層から5層にかけては、メダケ率が10%前後と低いことから、当時は寒冷～冷涼な気候条件で推移したと推定される。

文献

- 杉山真二・藤原宏志(1986)「機動細胞珪酸体の形態によるタケ亜科植物の同定 - 古環境推定の基礎資料として - 」『考古学と自然科学』19 p.69-84 .
- 杉山真二(2000)「植物珪酸体(プラント・オパール)」辻 誠一郎編『考古学と植物学』 同成社 p.189-213 .
- 杉山真二(2001)「テフラと植物珪酸体分析」『月刊地球』23 p.645-650 .
- 杉山真二(2010)「更新世の植生と環境」稲田孝司・佐藤宏之編『講座日本の考古学 第1巻 旧石器時代』 青木書店 p.156-177.
- 杉山真二・早田勉(1996)「植物珪酸体分析による遺跡周辺の古環境推定(第3報) - 宮城県高森遺跡周辺における約50万年間の気候変動 - 」『日本文化財科学会第13回大会研究発表要旨集』 p.68-69 .
- 藤原宏志(1976)「プラント・オパール分析法の基礎的研究(1) - 数種イネ科植物の珪酸体標本と定量分析法 - 」『考古学と自然科学』9 p.15-29 .

検出密度 (単位: ×100個/g)

分類群	学名	地点・試料			
		第6地点 (2次)			
		6	7	8	9
イネ科	Gramineae				
キビ族型	Paniceae type		6		7
ウシクサ族A	Andropogoneae A type	13	6		7
Bタイプ	B type	27	13	6	33
タケ亜科	Bambusoideae				
ネザサ節型	<i>Pleioblastus</i> sect. <i>Nezasa</i>	7	6	6	7
チマキザサ節型	<i>Sasa</i> sect. <i>Sasa</i> etc.	46	19	19	20
ミヤコザサ節型	<i>Sasa</i> sect. <i>Crassinodi</i>	33	64	76	26
未分類等	Others	66	51	95	33
その他のイネ科	Others				
表皮毛起源	Husk hair origin	20	19	19	7
棒状珪酸体	Rod-shaped	60	6	13	13
茎部起源	Stem origin				7
未分類等	Others	119	64	102	93
シダ類	Fern	7			
樹木起源	Arboreal				
その他	Others	7	13	19	7
植物珪酸体総数	Total	404	268	356	258

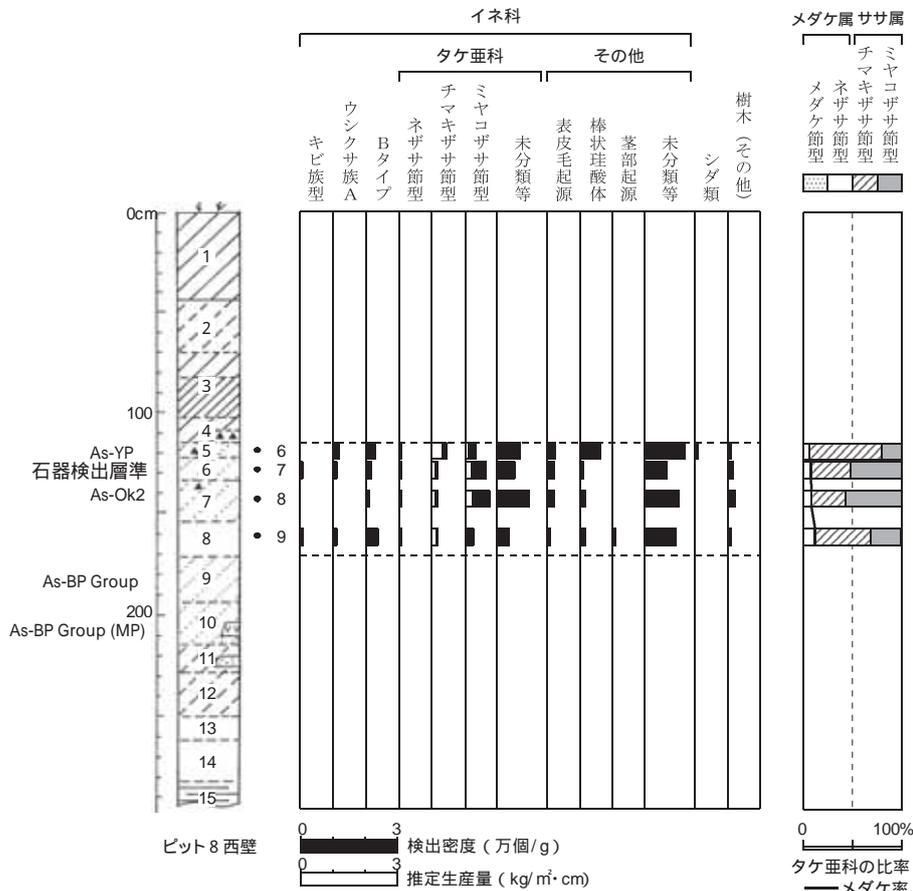
おもな分類群の推定生産量 (単位: kg/m²・cm) : 試料の仮比重を1.0と仮定して算出

ネザサ節型	<i>Pleioblastus</i> sect. <i>Nezasa</i>	0.03	0.03	0.03	0.03
チマキザサ節型	<i>Sasa</i> sect. <i>Sasa</i> etc.	0.35	0.14	0.14	0.15
ミヤコザサ節型	<i>Sasa</i> sect. <i>Crassinodi</i>	0.10	0.19	0.23	0.08

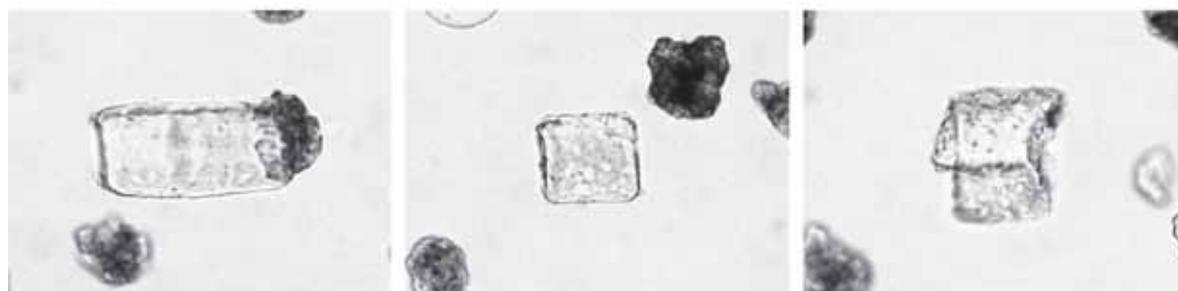
タケ亜科の比率 (%)

ネザサ節型	<i>Pleioblastus</i> sect. <i>Nezasa</i>	7	8	8	12
チマキザサ節型	<i>Sasa</i> sect. <i>Sasa</i> etc.	73	39	36	57
ミヤコザサ節型	<i>Sasa</i> sect. <i>Crassinodi</i>	21	52	57	31
メダケ率	Medake ratio	7	8	8	12

第5表 ピット8の植物珪酸体分析結果



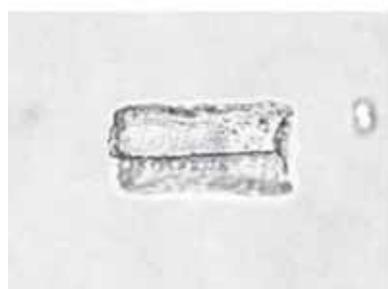
第18図 ピット8の植物珪酸体分析結果



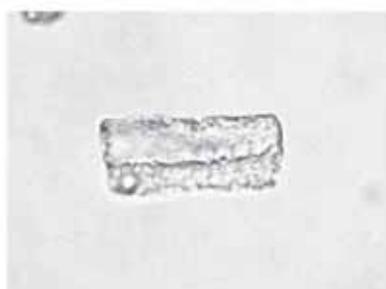
キビ族型

ウシクサ族A

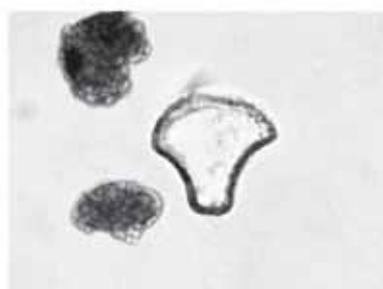
イネ科Bタイプ



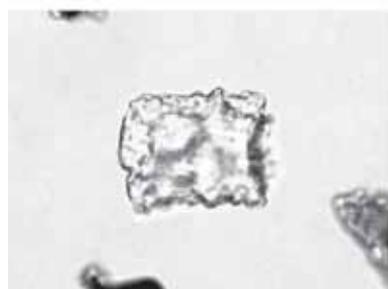
イネ科Bタイプ



イネ科Bタイプ



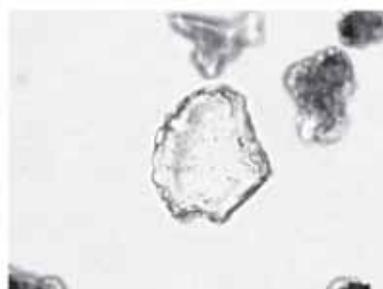
イネ科 (未分類等)



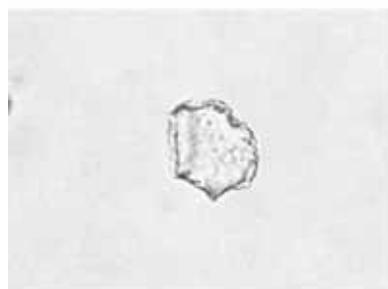
ネザサ節型



チマキザサ節型



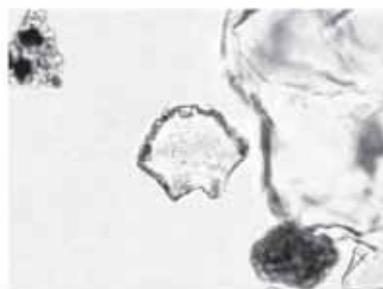
チマキザサ節型



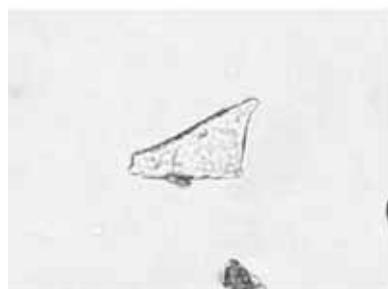
ミヤコザサ節型



ミヤコザサ節型



ミヤコザサ節型



表皮毛起源



棒状珪酸体



樹木 (その他)

50 μm

．附編

1．古井戸山遺跡 次の調査

1)遺跡の立地と概要

古井戸山遺跡は、武蔵野台地を開析する柳瀬川の左岸崖線上に位置する。遺跡が立地する柳瀬川に面する崖線には中小の谷戸が発達し、崖下には湧水源が点在している。これまでに7地点の調査が行われ、旧石器時代の石器集中4箇所、縄文時代前期の住居跡2軒、縄文時代の集石6基、縄文土器片を含む包含層、弥生時代の住居跡7軒などが確認されている。

2)調査の経緯

今回の次調査地点は、埼玉県入間郡三芳町竹間沢933-1の一部に位置する。三芳町教育委員会では、無線基地局の建設に先立つ遺跡の範囲及び性格・内容の把握のため、当該箇所150㎡について平成26年9月2日～9月22日に試掘調査を実施した。調査の結果、時期不明の住居跡を確認したため開発者と協議を行ったところ、開発は避けられないとの結論に達し、当該箇所150㎡について記録保存のための発掘調査を実施することとなった。

三芳町教育委員会では、文化財保護法に基づき平成26年9月22日付け三芳教文発第200号で発掘調査通知を埼玉県教育委員会へ提出し、同年9月22日に東武建設株式会社と発掘調査受託契約を締結、同年9月24日～10月3日に発掘調査を実施した。今回の調査地点は、周知の埋蔵文化財包蔵地(県遺跡番号32-002)の中央部に位置する(第19図)。

3)遺構と遺物

遺構は、時期不明の住居跡1軒・焼土遺構1基が確認され、遺物は旧石器時代第Ⅰ層からナイフ形石器の先端が、第Ⅱ層から石核が出土した。

【遺構】

1号住居跡(第21図)

調査区の北西隅に位置し、西側1/2は調査区外のため未検出である。全面的に耕作のトラクタなどのカクランの影響を受け、遺存状態は悪い。長軸2.60m×短軸1.20m以上、主軸方向をほぼ真北とする。壁高は確認面より約15cm。床面はロームブロックを含む黒褐色土で、し

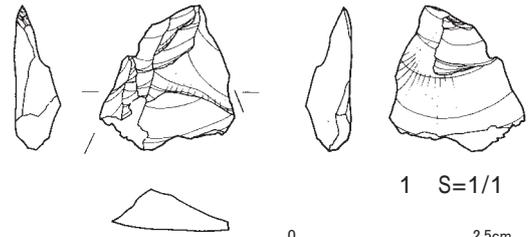


第19図 調査位置図(1/2,500)

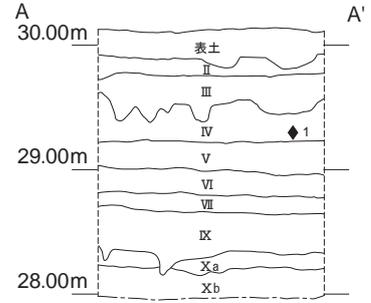
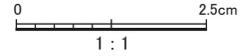
まりは弱い。柱穴及び壁溝は確認されなかった。調査区境の北壁際で焼土を多量に含む範囲が確認されたが、現場での所見や土層断面の解釈などから、調査区外に伸びるカマドの焚口部分と考えられる。出土遺物はほとんど無かった。

1号焼土遺構(第22図)

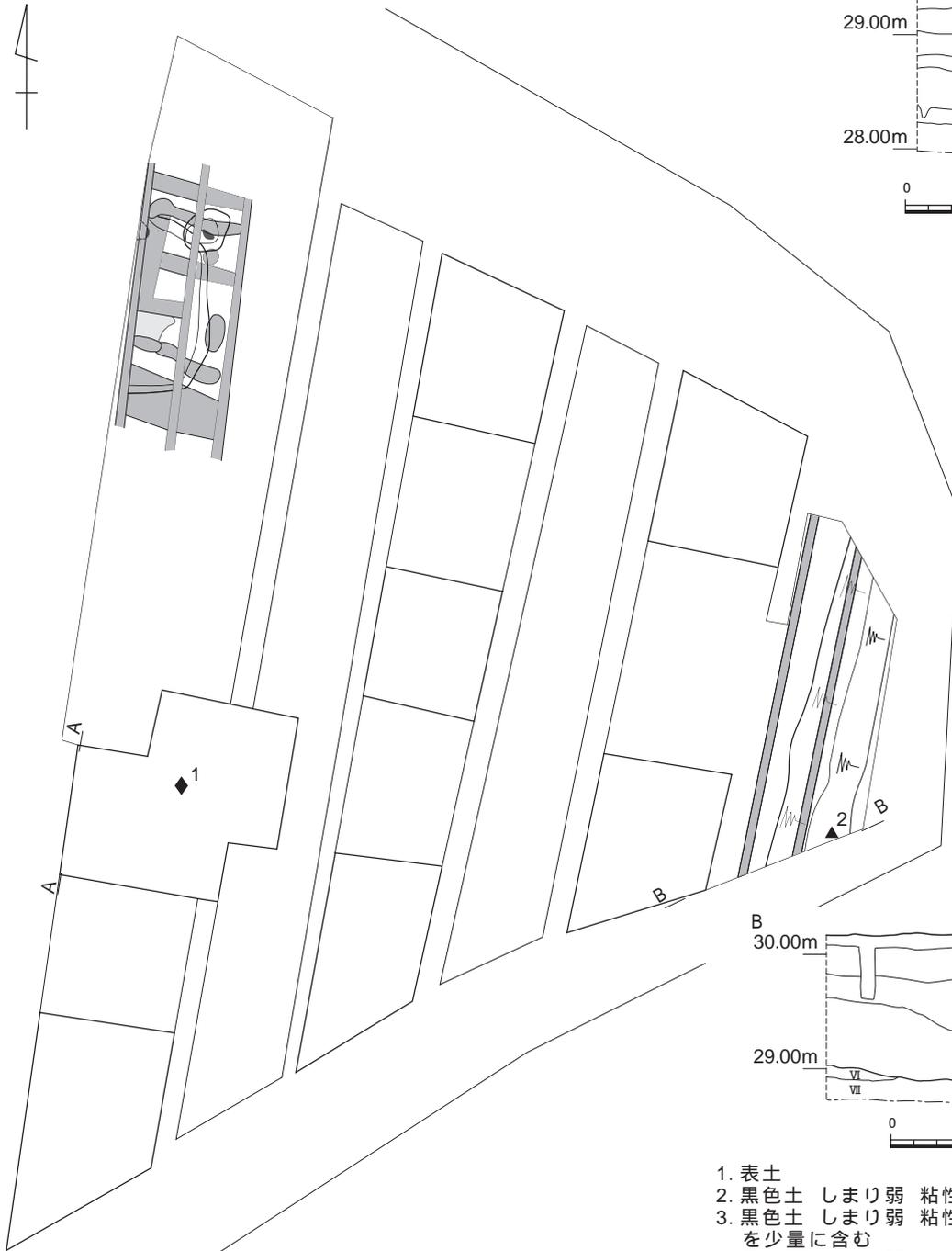
1号住居跡を切る。直径60cmの楕円形を呈し、北西～北東辺はなだらかな掘り込みで、南辺は約18cmの垂直の掘り込みを有する。底面に焼土の集中が確認された。出土遺物は無かった。



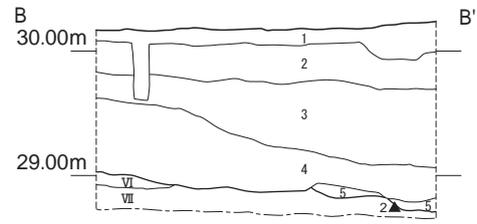
1 S=1/1



0 2m
1:60



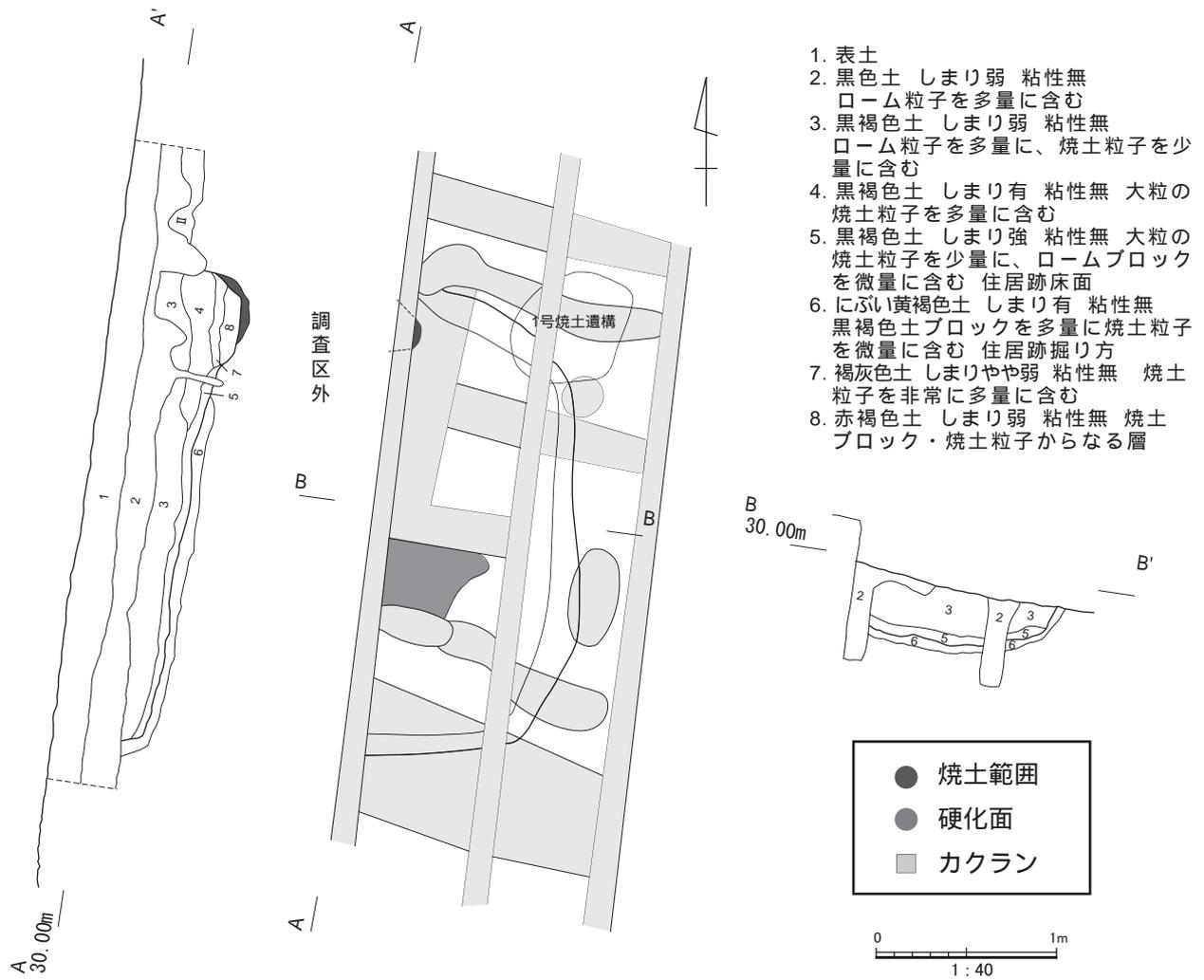
0 5m
1:100



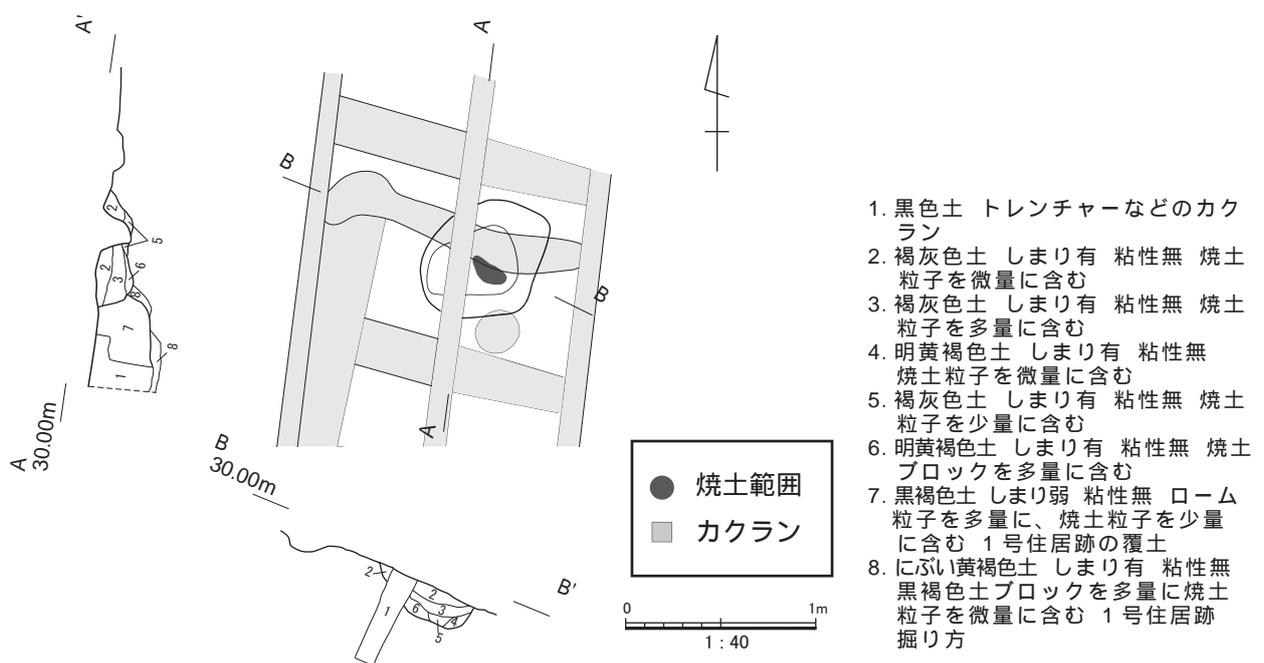
0 2m
1:60

- 1. 表土
- 2. 黒色土 しまり弱 粘性無
- 3. 黒色土 しまり弱 粘性無 ロームブロックを少量に含む
- 4. 黒色土 しまり弱 粘性無 ロームブロックを多量に含む
- 5. 黒色土 しまり弱 粘性無 ローム粒子・ブロックを非常に多量に含む

第20図 遺構配置図(1/100)・第層石器出土状況図(1/60)及び出土石器(1/1)・第層石器出土状況図(1/60)



第 21 図 1 号住居跡平面図及び土層断面図(1/40)

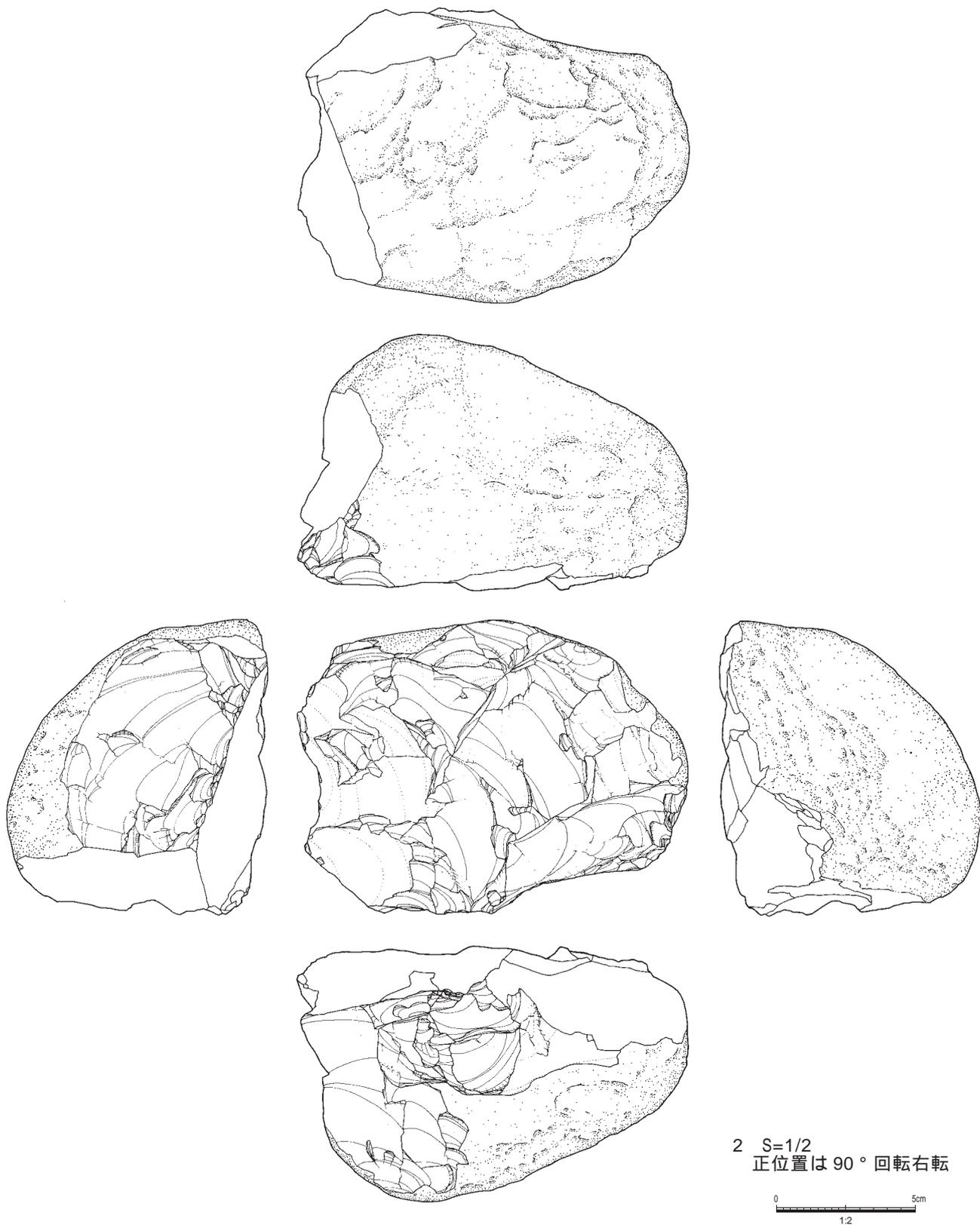


第 22 図 1 号焼土遺構平面図及び土層断面図(1/40)

【遺物】(第20図・第23図)

1. ナイフ形石器 先端に細かな剥離を施し、左側縁には上方からの剥離を施す。先端部のみの残存。黒曜石製。

2. 石核 正面での剥片剥離を行った後、正面を打面として上面及び左面で剥片剥離を行っている。右面・背面・下面は原礫のまま残される。チャート製。重量 1,594 g。



第23図 第層出土石器(1/2)

2. 中東遺跡第9地点の調査

1) 遺跡の立地と概要

中東遺跡は、武蔵野台地北東部に位置し、埼玉県入間郡三芳町大字上富字中東 223-1 付近を谷頭にもつ埋没谷上流域一帯に広がる。これまでに 8 地点にわたる試掘調査・発掘調査を行い、うち 4 地点で立川ローム層第 1 層から第 2 層にかけて石器集中 44 箇所及び礫群 2 箇所が確認され、3,800 点を超える石器や礫が出土している。この成果からも明らかなように、本遺跡は旧石器時代を中心とした遺跡と捉えられている。

2) 調査の経緯

今回の調査地点である第 9 地点は、埼玉県入間郡三芳町上富 195-2 ほかに位置する。三芳町教育委員会では、資材置場及び駐車場造成に先立つ遺跡の範囲及び性格・内容の把握のため、当該箇所 5,192 m²について平成 26 年 11 月 4 日～12 月 22 日に試掘調査を実施した。調査の結果、旧石器時代の石器集中が確認されたため開発者と協議を行ったところ、遺構が確認された 1,742 m²について、記録保存のための発掘調査を実施することとなった。

三芳町教育委員会では、文化財保護法に基づき平成 27 年 1 月 6 日付け三芳教文発第 285 号で発掘調査通知を埼玉県教育委員会へ提出し、同年 1 月 8 日にリコ・スタイル株式会社と発掘調査受託契約を締結、同年 1 月 8 日～3 月 27 日に発掘調査を実施した。今回の調査地点は、周知の埋蔵文化財包蔵地(県遺跡番号 32-020)の南部に位置する(第 24 図)。

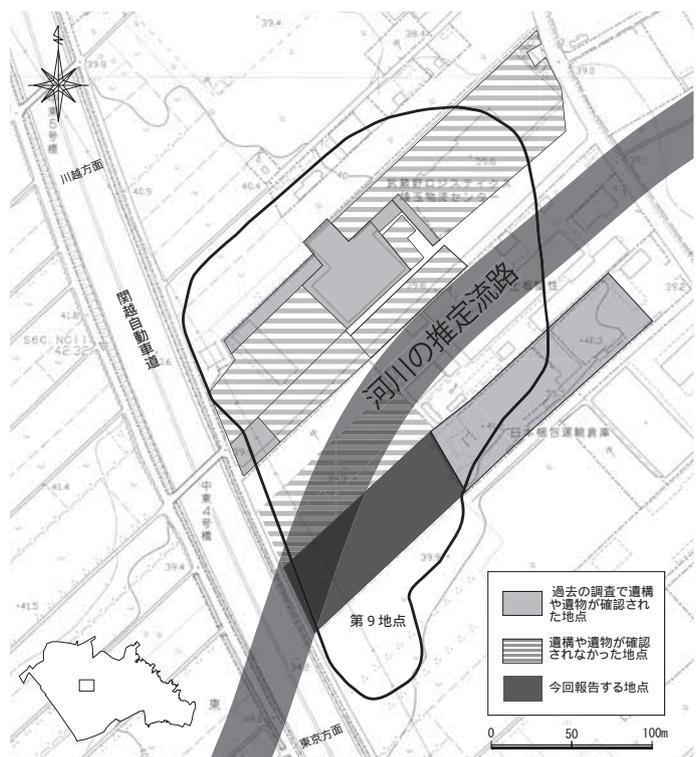
3) 遺構と遺物

第 9 地点の調査では、旧石器時代の遺構として、立川ローム層第 1 層下部～第 2 層で石器集中 2 箇所、第 2 層で石器集中 1 箇所が確認された(第 25 図・第 26 図)。出土した旧石器時代の遺物は石器 472 点であり、そのうち接合資料が 20 個体確認された。

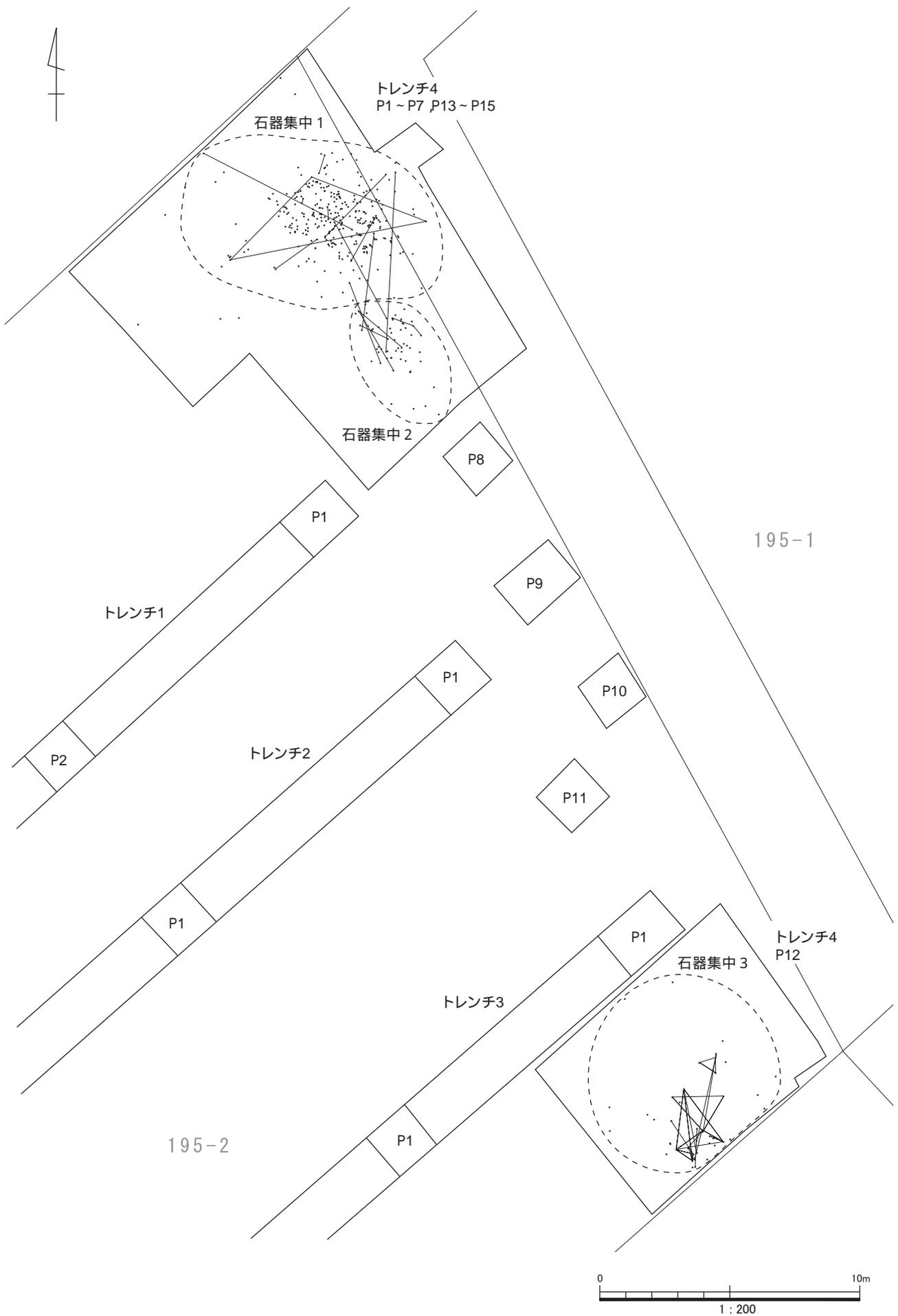
【遺構】

石器集中 1(第 27 図・第 28 図)

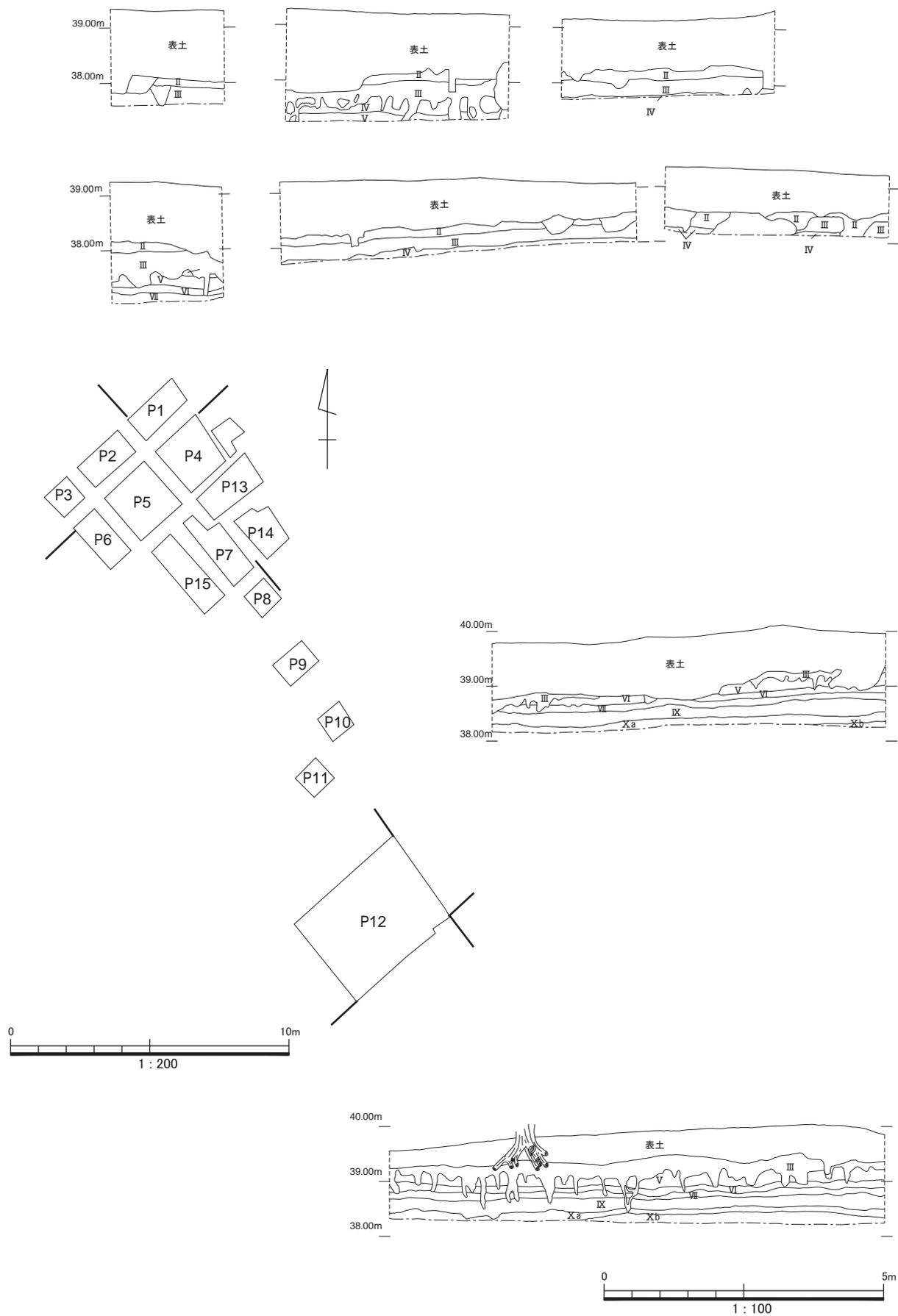
調査区の北東端に位置し、立川ローム層第 1 層下部～第 2 層に分布する石器群である。東西 8.6 m × 南北 6.1 m の広い範囲に、一部密集部を持つがその周囲は散漫な分布を示す 311 点の石器で構成される。器種構成の内訳は、ナイフ形石器 16 点(うち 2 点は折れ面接合)・搔器 2 点・削器 1 点・細石刃及び細石刃石核 3 点・剥片類 288 点(二次加工のある剥片・不規則剥離のある剥片・作業面調整剥片・碎片を含む)である。接合関係は、石器集中 2 との石器集中間接合も含め 13 個体確認された。石材はすべて黒曜石で構成され、母岩は 10 種(黒曜石 1～黒曜石 10)が確認された。この母岩のうち、黒曜石 1・黒曜石 2・黒曜石 4・黒曜石 5・黒曜石 9 については、石器集中 2 でも確認されている。



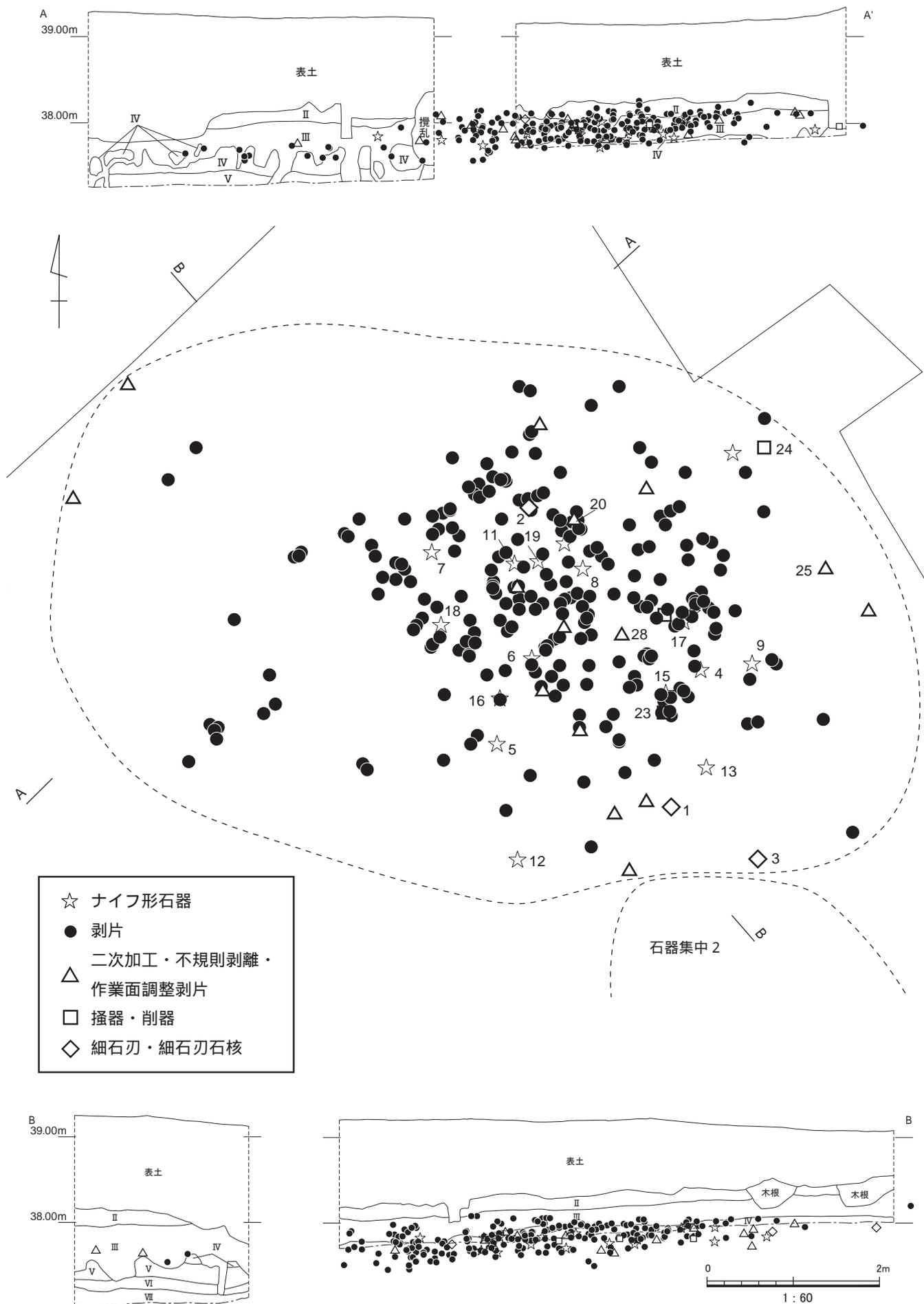
第 24 図 調査位置図(1/5,000)



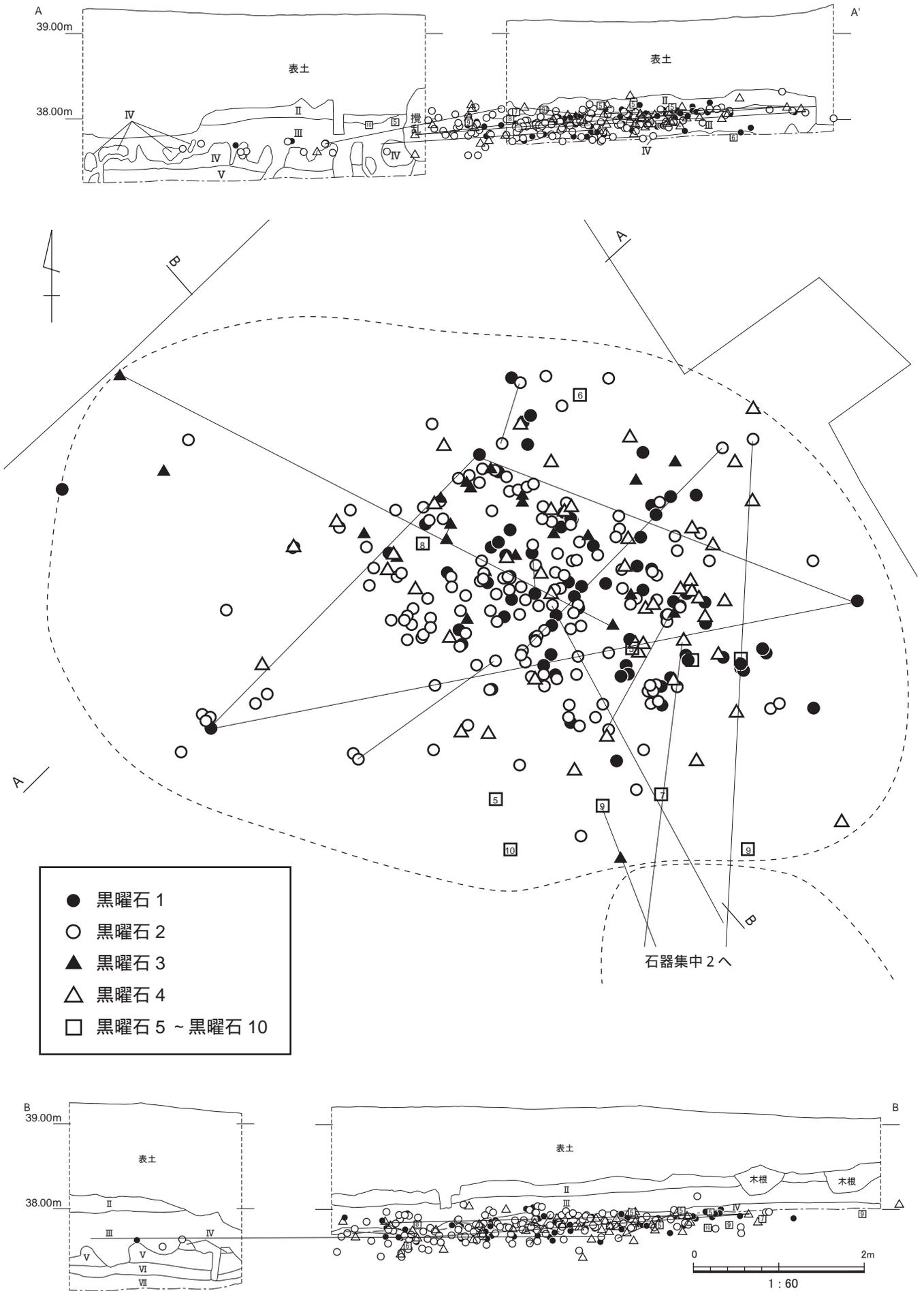
第 25 図 遺構配置図 (1/200)



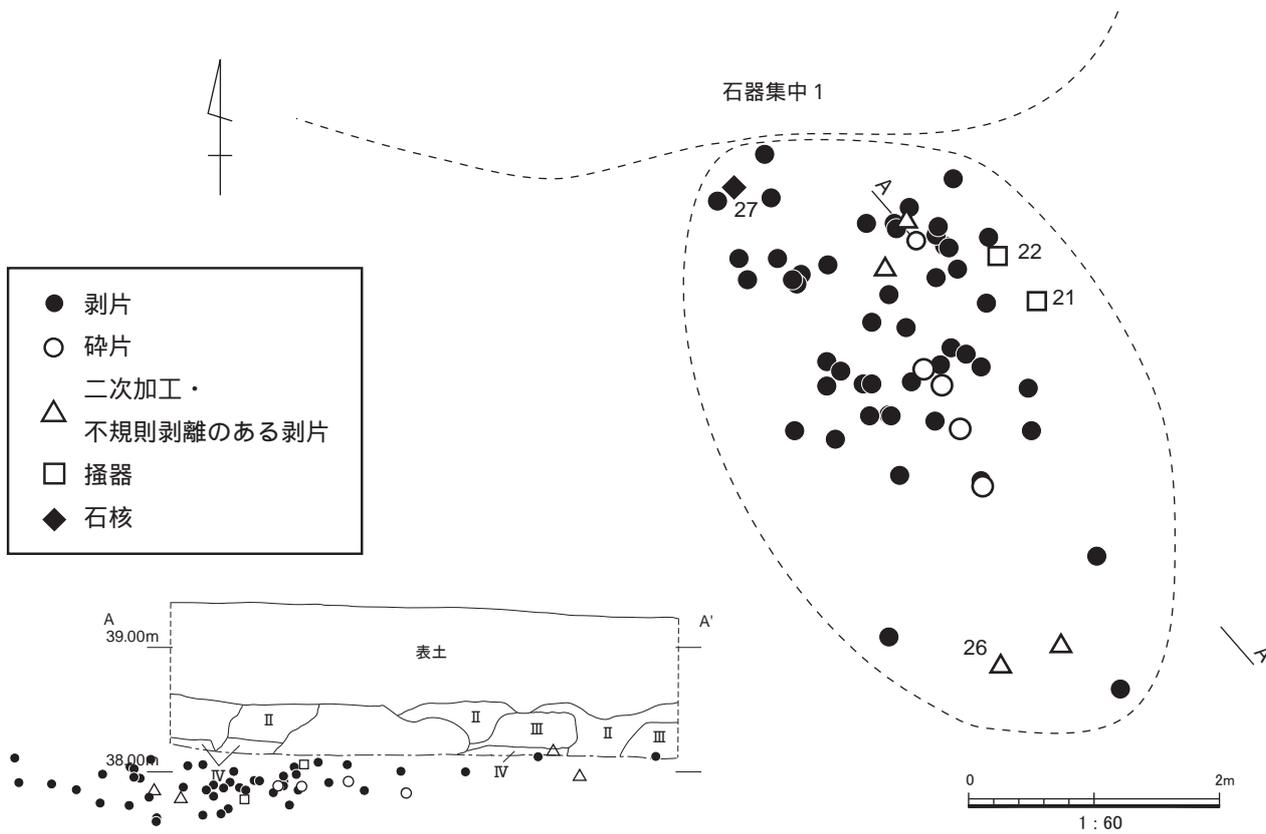
第 26 図 トレンチ 4 土層断面図 (1/100)



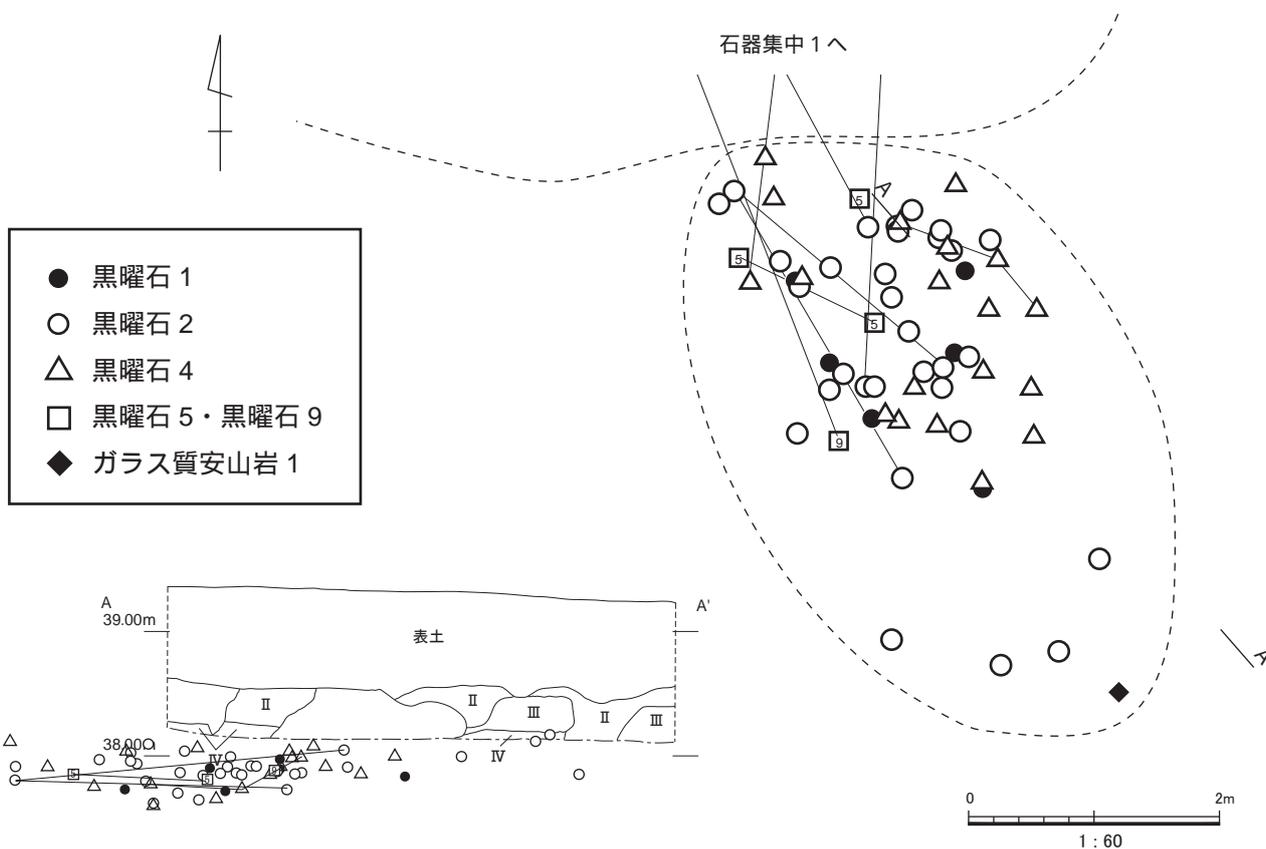
第 27 図 石器集中 1 器種別分布図 (1/60)



第 28 図 石器集中 1 石材別分布図 (1/60)



第 29 図 石器集中2 器種別分布図 (1/60)



第 30 図 石器集中2 石材別分布図 (1/60)

石器集中2(第29図・第30図)

調査区の北東端、石器集中1の南東に位置し、立川ローム層第 層下部～第 層に分布する石器群である。東西3.1 m×南北5.2 mの範囲に、北側に密集部を持つが南側は散漫な分布を示す60点の石器で構成される。器種構成の内訳は、搔器2点(同一の接合資料)・石核1点・剥片類57点(二次加工のある剥片・不規則剥離のある剥片・碎片を含む)である。接合関係は、石器集中1との石器集中間接合も含め7個体確認された。石材は黒曜石が主体を占める(点数比98%)。母岩は黒曜石5種(黒曜石1・黒曜石2・黒曜石4・黒曜石5・黒曜石9)・ガラス質安山岩1種が確認された。

石器集中3(第31図・第32図)

調査区の南東端に位置し、立川ローム層第 層を主体として分布する石器群である。東西6.9 m×南北6.4 mの範囲に、南側に密集部を持つ46点の石器で構成される。器種構成の内訳は、石核5点(すべて同一の接合資料)・剥片類41点(二次加工のある剥片・不規則剥離のある剥片・碎片を含む)である。接合関係は石器集中内で4個体確認された。石材はチャートが点数比58%・頁岩が点数比34%となる。母岩はチャート1種・頁岩3種(頁岩1・頁岩2・頁岩単)・珪質頁岩1種・ガラス質安山岩1種が確認された。

【遺物】

第 層下部～第 層出土石器(第33図～第35図)

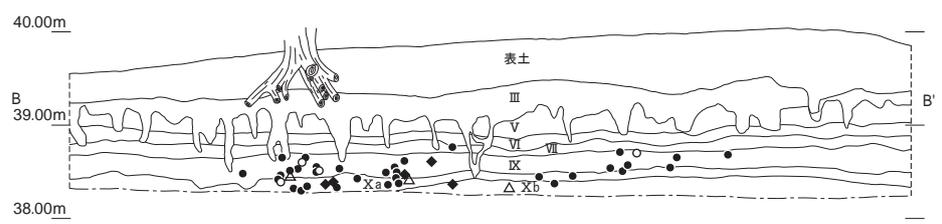
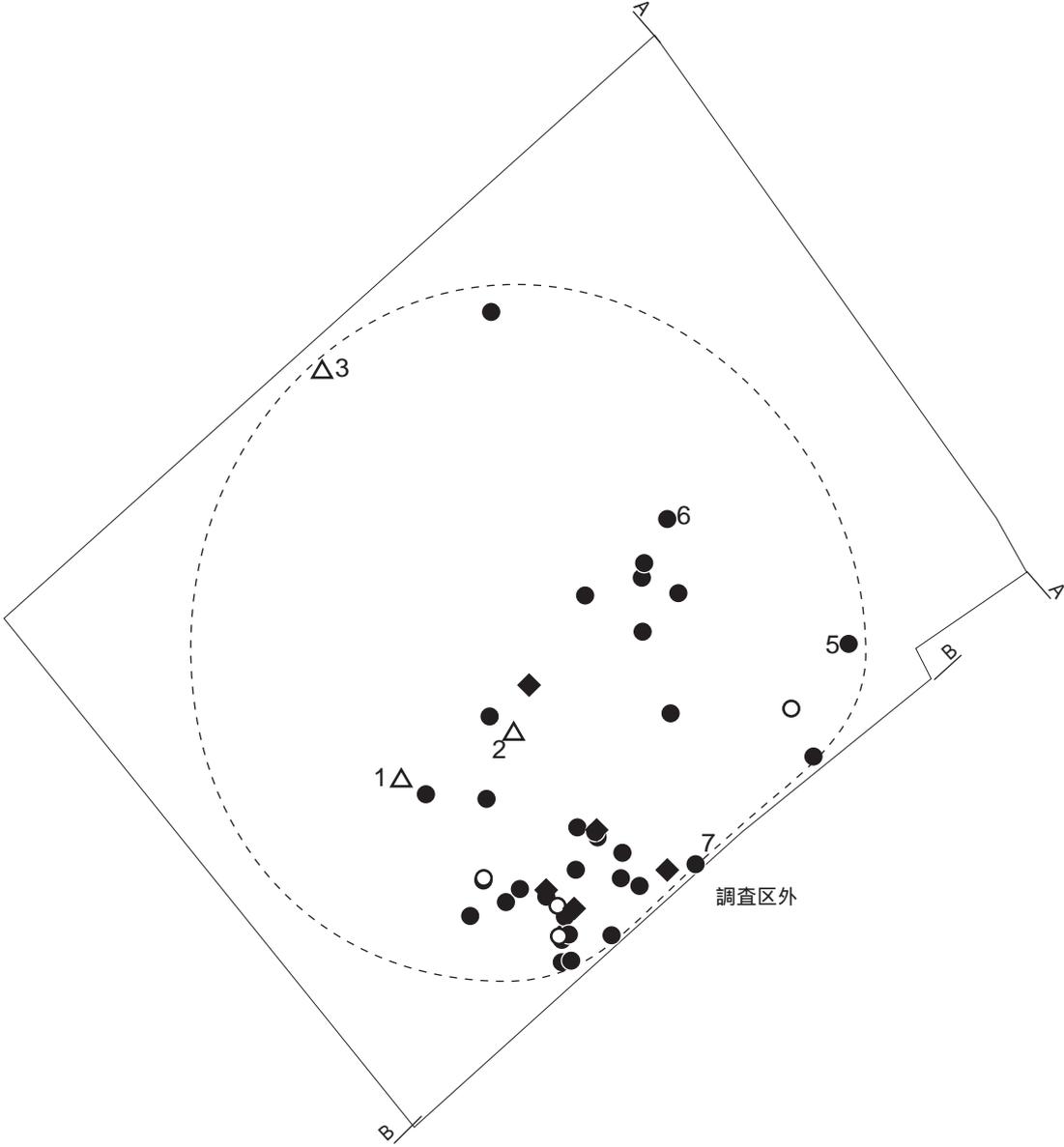
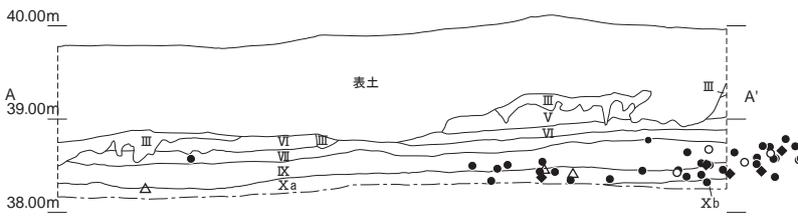
第 層下部～第 層より出土した石器は、一括資料も含め総計418点であり、その内訳は細石刃石核1点、細石刃2点、ナイフ形石器19点(うち2点は折れ面接合)、搔器5点、削器1点、二次加工のある剥片11点、不規則剥離のある剥片11点、石核1点、作業面調整剥片2点(2点接合)、削片1点、剥片318点、碎片46点である。これらの中から29点を掲載・図化している。

1は細石刃石核である。上面にある平坦な剥離面を打面として、右面から正面方向に連続的に剥片剥離が行われている。打角は 62.0° ～ 72.0° 。黒曜石製(黒曜石7)。石器集中1出土。

2・3は細石刃である。2は平坦な剥離面を打面に有し、バルブとバルブスカーが認められる。末端は欠損のため形状不明である。剥離角は 92.0° 。黒曜石製(黒曜石3)。石器集中1出土。3は平坦な剥離面を打面に有し、バルブとバルブスカーが認められる。末端は欠損しているため形状不明である。剥離角は 94.6° 。黒曜石製(黒曜石9)。石器集中1出土。

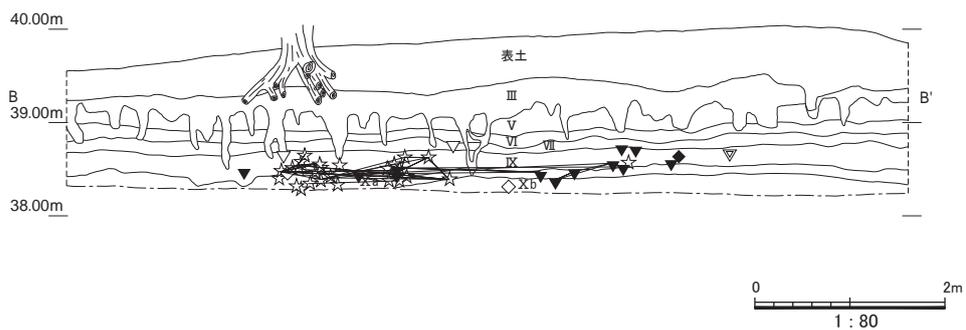
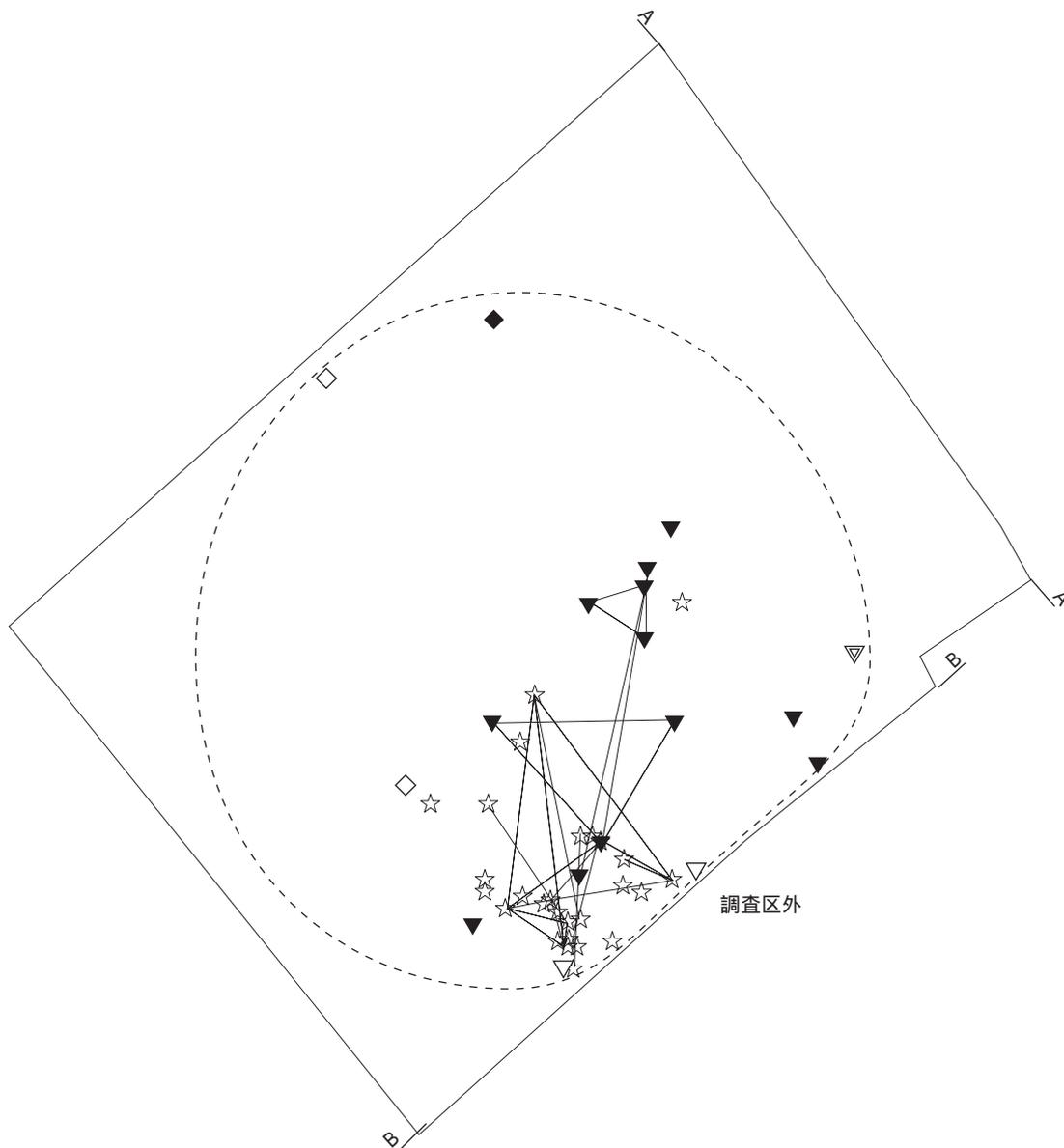
4～20はナイフ形石器である。4は縦長剥片を素材として、正面(背面)右側縁に急角度剥離を基部(62.0° ～ 64.0°)から先端部(70.0°)まで施す(器体中央 78.0°)。左側縁基部(63.0°)にも同様の急角度剥離が認められる。所謂二側縁加工のナイフ形石器である。刃部と考えられる左側縁は右側縁よりは浅い角度(50.0° ～ 68.0°)の剥離が認められ、不規則剥離も伴っている。器体軸と左側縁の交差角は 12.6° 。黒曜石製(黒曜石5)。石器集中1出土。5は縦長剥片を素材として、正面(背面)右側縁に急角度剥離を基部(70.0° ～ 76.0°)から先端部付近(66.0°)まで施す(器体中央 70.0° ～ 72.0°)。左側縁にも基部(70.0°)から器体中央(66.0°)まで同様の急角度剥離が認められる。所謂二側縁加工のナイフ形石器である。刃部と考えられる左側縁のフェザーエッジ角は 48.0° ～ 50.0° 。器体軸とフェザーエッジの交差角は 17.2° 。先端部を欠損している。黒曜石製(黒曜石4)。石器集中1出土。6は縦長剥片を素材として、正面(背面)左側縁に急角度剥離を基部から先端部(62.0°)まで施す(器体中央 68.0° ～ 74.0°)。右側縁基部にも同様の急角度剥離が認められるが、基部の大部分を欠損しているため両側縁ともに基部側の剥離角は不明である。所謂二側縁加工のナイフ形石器である。刃部と考えら

- 剥片
- 碎片
- △ 二次加工・
不規則剥離のある剥片
- ◆ 石核



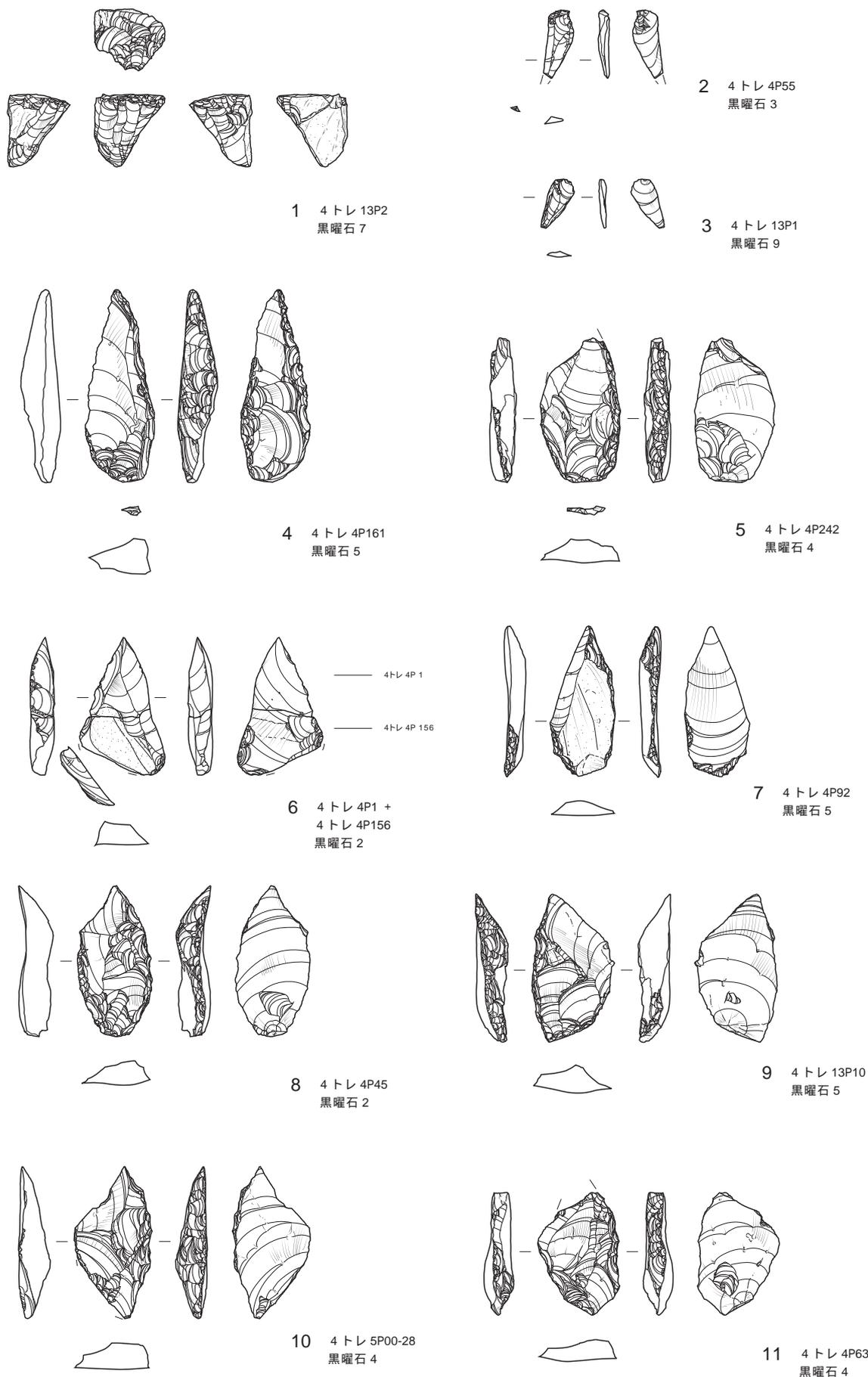
第 31 図 石器集中 3 器種別分布図 (1/80)

- ☆ チャート 1
- ▼ 頁岩 1
- ▽ 頁岩 2
- ▽ 頁岩単
- ◆ ガラス質安山岩 1
- ◇ 珪質頁岩 1



第 32 図 石器集中 3 石材別分布図 (1/80)

れる左側縁のフェザーエッジ角は $40.0^{\circ} \sim 48.0^{\circ}$ 。基部の裏面(主要剥離面)には平坦な剥離による調整剥離が認められる。器体軸とフェザーエッジの交差角は 19.6° 。中央付近で折れている。黒曜石製(黒曜石 2)。石器集中 1 出土。7 は縦長剥片を素材として、正面(背面)右側縁に急角度剥離を基部($75.0^{\circ} \sim 82.0^{\circ}$)から先端部付近(64.0°)まで施す(器体中央 $66.0^{\circ} \sim 69.0^{\circ}$)。左側縁基部($60.0^{\circ} \sim 80.0^{\circ}$)にも同様の急角度剥離が認められる。所謂二側縁加工のナイフ形石器である。刃部と考えられる左側縁のフェザーエッジ角は $45.0^{\circ} \sim 60.0^{\circ}$ 。裏面(主要剥離面)基部付近には平坦な剥離による調整剥離、左側縁には不規則剥離が認められる。器体軸とフェザーエッジの交差角は 20.3° 。黒曜石製(黒曜石 8)。石器集中 1 出土。8 は縦長剥片を素材として、正面(背面)右側縁に急角度剥離を基部(54.0°)から先端部(73.0°)まで施す(器体中央 $58.0^{\circ} \sim 70.0^{\circ}$)。左側縁にも基部($64.0^{\circ} \sim 70.0^{\circ}$)から器体中央(74.0°)まで同様の急角度剥離が認められる。所謂二側縁加工のナイフ形石器である。刃部と考えられる右側縁のフェザーエッジ($30.0^{\circ} \sim 36.0^{\circ}$)の表裏には不規則剥離が認められる。器体軸とフェザーエッジの交差角は 38.4° 。黒曜石製(黒曜石 2)。石器集中 1 出土。9 は縦長剥片を素材として、正面(背面)左側縁に急角度剥離を基部(90.0°)から先端部($82.0^{\circ} \sim 84.0^{\circ}$)まで施す(器体中央 $68.0^{\circ} \sim 78.0^{\circ}$)。右側縁基部にも同様の急角度剥離(85.0°)が認められる。所謂二側縁加工のナイフ形石器である。刃部と考えられる右側縁のフェザーエッジ($30.0^{\circ} \sim 36.0^{\circ}$)の表裏には不規則剥離が認められる。器体軸とフェザーエッジの交差角は 46.3° 。黒曜石製(黒曜石 5)。石器集中 1 出土。10 は縦長剥片を素材として、正面(背面)右側縁に急角度剥離を基部($68.0^{\circ} \sim 73.0^{\circ}$)から先端部($68.0^{\circ} \sim 74.0^{\circ}$)まで施す(器体中央 80.0°)。左側縁にも基部(90.0°)から器体中央(74.0°)まで同様の急角度剥離が認められる。所謂二側縁加工のナイフ形石器である。刃部と考えられる左側縁のフェザーエッジ($35.0^{\circ} \sim 40.0^{\circ}$)には不規則剥離が認められる。基部の裏面(主要剥離面)には平坦な剥離による調整剥離が認められる。器体軸とフェザーエッジの交差角は 38.7° 。黒曜石製(黒曜石 4)。トレンチ 4 ピット 5 一括。11 は縦長剥片を素材として、正面(背面)右側縁に急角度剥離を基部($68.0^{\circ} \sim 70.0^{\circ}$)から先端部付近(64.0°)まで施す(器体中央 70.0°)。左側縁基部($62.0^{\circ} \sim 68.0^{\circ}$)にも同様の急角度剥離が認められる。所謂二側縁加工のナイフ形石器である。刃部と考えられる左側縁のフェザーエッジ($32.0^{\circ} \sim 38.0^{\circ}$)の表裏には不規則剥離が認められる。先端部を欠損している。器体軸とフェザーエッジの交差角は 42.3° 。黒曜石製(黒曜石 4)。石器集中 1 出土。12 は縦長剥片を素材として、正面(背面)左側縁に急角度剥離を基部から先端部まで施していると思われるが、基部欠損のため、確認できるのは器体中央($74.0^{\circ} \sim 80.0^{\circ}$)から先端部($76.0^{\circ} \sim 78.0^{\circ}$)までの加工である。右側縁も器体中央のみ($66.0^{\circ} \sim 68.0^{\circ}$)加工が認められる。所謂二側縁加工のナイフ形石器である。刃部と考えられる右側縁のフェザーエッジ($28.0^{\circ} \sim 32.0^{\circ}$)には不規則剥離が認められる。器体軸とフェザーエッジの交差角は 42.4° 。基部側を欠損している。黒曜石製(黒曜石 10)。石器集中 1 出土。13 は縦長剥片を素材として、正面(背面)右側縁に急角度剥離を基部($52.0^{\circ} \sim 58.0^{\circ}$)から先端部付近(78.0°)まで施す(器体中央 84.0°)。左側縁基部(88.0°)にも同様の急角度剥離が認められる。所謂二側縁加工のナイフ形石器である。刃部と考えられる左側縁のフェザーエッジ角は $30.0^{\circ} \sim 36.0^{\circ}$ 。器体軸とフェザーエッジの交差角は 57.4° 。黒曜石製(黒曜石 4)。石器集中 1 出土。14 は横長剥片を素材として、正面(背面)左側縁に急角度剥離を基部(87.0°)から先端部まで施している(器体中央 90.0°)と思われるが、先端付近を欠損している。右側縁基部にも同様の急角度剥離(82.0°)が認められる。所謂二側縁加工のナイフ形石器である。刃部と考えられる右側縁のフェザーエッジ($48.0^{\circ} \sim 50.0^{\circ}$)の表裏には不規則剥離が認められる。器体軸とフェザーエッジの交差角は 70.5° 。黒曜石製(黒曜石 6)。トレンチ 1 ピット 1 一括。15 は縦長剥片を素材として、正面(背面)右側縁に急角度剥離を基部(68.0°)と先端部(73.0°)に施す(器体中



第 33 図 第 層下部 ~ 第 層出土石器 (2/3)

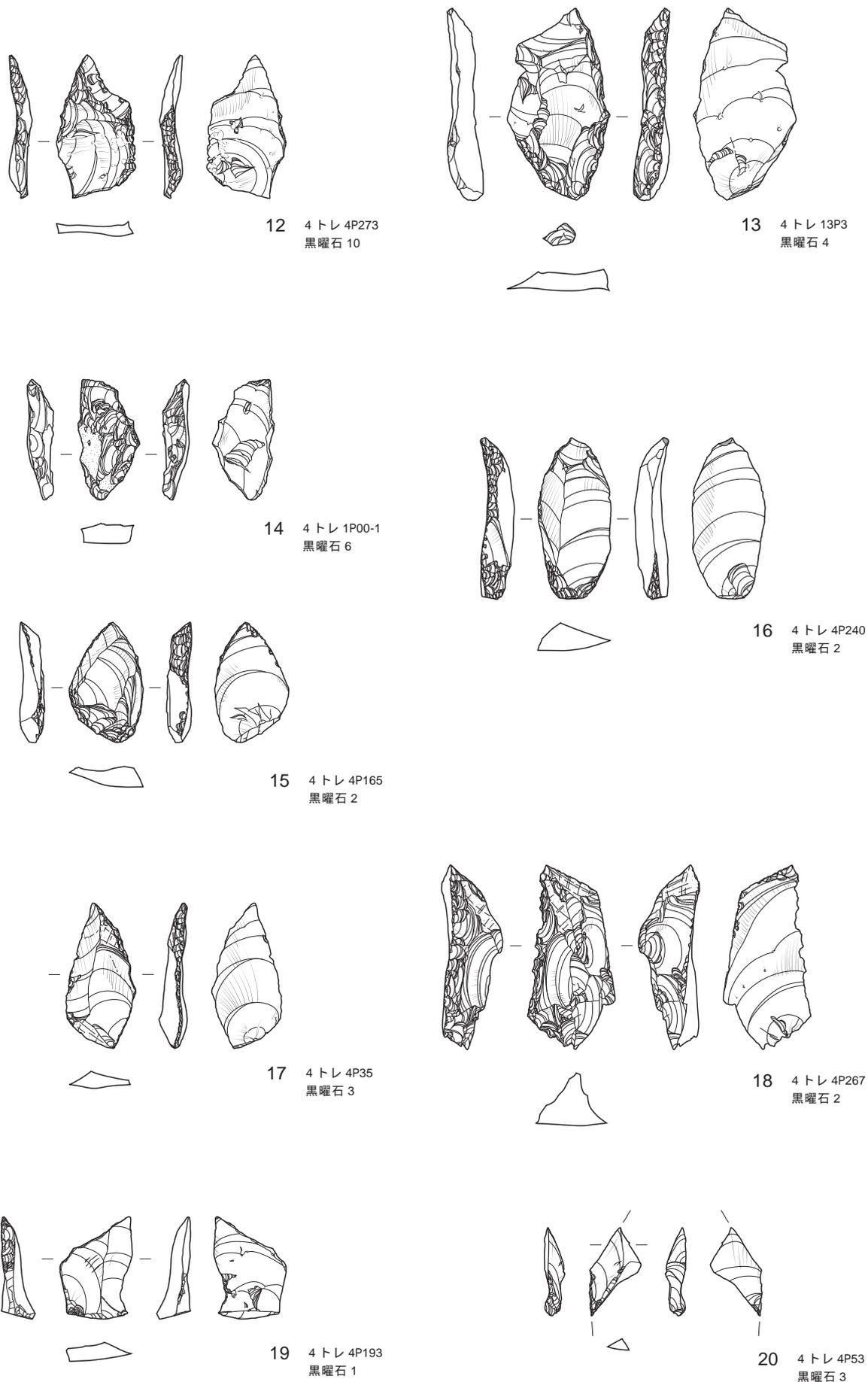
央 78.0°)が、一部無加工の縁辺も存在する。左側縁にも基部 (74.0°)から器体中央 (62.0°)まで同様の急角度剥離が認められる。所謂二側縁加工のナイフ形石器である。刃部と考えられる左側縁のフェザーエッジ ($45.0^\circ \sim 60.0^\circ$)には不規則剥離が認められる。器体軸とフェザーエッジの交差角は 33.5° 。黒曜石製 (黒曜石 2)。石器集中 1 出土。16 は縦長剥片を素材として、正面 (背面)左側縁に急角度剥離を基部 (66.0°)と先端部 ($80.0^\circ \sim 86.0^\circ$)に施す (器体中央 $78.0^\circ \sim 85.0^\circ$)が一部無加工の縁辺も存在する。右側縁基部 ($55.0 \sim 64.0^\circ$)にも同様の急角度剥離が認められる。所謂二側縁加工のナイフ形石器である。刃部と考えられる右側縁のフェザーエッジ角は $45.0^\circ \sim 60.0^\circ$ 。器体軸とフェザーエッジの交差角は $20.5 \sim 62.3^\circ$ 。黒曜石製 (黒曜石 2)。石器集中 1 出土。17 は縦長剥片を素材として、正面 (背面)右側縁に急角度剥離を基部 (65.0°)から先端部 (72.0°)まで施す (器体中央 74.0°)。所謂片側縁加工のナイフ形石器である。刃部と考えられる左側縁のフェザーエッジ ($42.0^\circ \sim 50.0^\circ$)の表裏には不規則剥離が認められる。基部の裏面 (主要剥離面)には平坦な剥離による調整剥離が認められる。器体軸とフェザーエッジの交差角は 14.7° 。黒曜石製 (黒曜石 3)。石器集中 1 出土。18 は縦長剥片を素材として、正面 (背面)左側縁に急角度剥離を基部 ($52.0^\circ \sim 54.0^\circ$)から先端部 (58.0°)まで施し (器体中央 $52.0^\circ \sim 56.0^\circ$) 鋸歯状に調整が行われている。所謂片側縁加工のナイフ形石器である。刃部と考えられる右側縁のフェザーエッジ ($54.0^\circ \sim 60.0^\circ$)の表裏には不規則剥離が認められる。器体軸とフェザーエッジの交差角は 63.6° 。黒曜石製 (黒曜石 2)。石器集中 1 出土。19 は縦長剥片を素材として、正面上辺 (背面末端)に急角度剥離 ($82.0^\circ \sim 85.0^\circ$)を施す。所謂斜断加工のナイフ形石器である。器体軸とフェザーエッジの交差角は 1.0° 。黒曜石製 (黒曜石 1)。石器集中 1 出土。20 はナイフ形石器断片と思われる。縦長剥片を素材として、正面 (背面)左側縁下部に急角度剥離 (62.0°)が認められる。黒曜石製 (黒曜石 3)。石器集中 1 出土。

21 ~ 23 は搔器である。21 は縦長剥片を素材として、背面末端側に不規則剥離を伴う急角度 ($63.0^\circ \sim 80.0^\circ$)で連続的な二次的剥離が認められる。素材剥片は原礫面を打面に有し、バルブとバルバスカーが認められる。剥離角は 96.0° 。黒曜石製 (黒曜石 4)。石器集中 2 出土。22 は縦長剥片を素材として、背面末端側に不規則剥離を伴う急角度 ($78.0^\circ \sim 82.0^\circ$)で連続的な二次的剥離が認められる。素材剥片は原礫面を打面に有し、バルブとバルバスカーが認められる。剥離角は 104.0° 。黒曜石製 (黒曜石 4)。石器集中 2 出土。23 は縦長剥片を素材として、背面末端側に不規則剥離を伴う急角度 (72.0°)で連続的な二次的剥離が認められる。素材剥片は平坦な剥離面を打面に有し、バルブとバルバスカーが認められる。剥離角は 96.0° 。黒曜石製 (黒曜石 2)。石器集中 1 出土。

24 は削器である。縦長剥片を素材として、背面末端側に不規則剥離を伴う連続的な二次的剥離が認められる。他に主要剥離面左側縁にも不連続な二次的剥離が認められる。素材剥片は原礫面を打面に有し、バルブが認められ、末端形状はフェザーエッジである。剥離角は 112.0° 。黒曜石製 (黒曜石 2)。石器集中 1 出土。

25・26 は不規則剥離のある剥片である。25 は縦長剥片を素材として、背面左側縁・主要剥離面右側縁に不規則剥離が認められる。素材剥片は平坦な剥離面を打面に有し、バルブが認められ、末端形状はフェザーエッジである。剥離角は 104.2° 。黒曜石製 (黒曜石 2)。石器集中 1 出土。26 は縦長剥片を素材として、背面左側縁・主要剥離面右側縁に不規則剥離が認められる。素材剥片は平坦な剥離面を打面に有し、バルブとバルバスカーが認められ、末端形状はフェザーエッジである。剥離角は 96.0° 。黒曜石製 (黒曜石 2)。石器集中 2 出土。

27 は石核である。左面にある原礫面を打面として、正面側で剥片剥離が行われた (打角: 76.6°)後、上面にある原礫面を打面として剥片剥離が行われている (打角: $82.0^\circ \sim 88.0^\circ$)。黒曜石製 (黒曜石 2)。



第 34 図 第 層下部 ~ 第 層出土石器 (2/3)

石器集中 2 出土。

28 は作業面調整剥片である。縦長剥片を素材として、平坦な剥離面を打面に有し、バルブやバルバスクーが認められず、末端形状はヒンジフラクチャーである。剥離角は 103.8° 。背面に残された剥離面の観察から、原礫面を打面として連続的に剥片剥離が行われた作業面が確認できる。中央付近で折れている。黒曜石製(黒曜石 3)。石器集中 1 出土。

29 は削片である。縦長剥片を素材として、複数剥離による調整剥離面を打面に有し、バルブとバルバスクーが認められる。末端形状はヒンジフラクチャーである。剥離角は 96.0° 。素材主要剥離面と削片の交差角は $108.0^\circ \sim 116.0^\circ$ 。背面の剥離面の観察から、本削片の剥離に先行する削片の剥離が行われたと思われる。珪質頁岩製(珪質頁岩単)。トレンチ 4 ピット 4 一括。

第 層下部～第 層出土接合資料(写真図版 20)

接合資料 1 ナイフ形石器 1 点(掲載 No.19)と剥片 1 点(非掲載:4トレ 4P 83)の接合資料である。黒曜石製(黒曜石 1)。19 剥片の順に、上面の平坦な剥離面を打面として、正面側で連続的に剥片剥離が行われている。19 の背面に残された剥離面を見ると、同じ方向からの剥片剥離が行われている。

接合資料 2 削器 1 点(掲載 No.24)と剥片 1 点(非掲載:4トレ 7P 7)の接合資料である。黒曜石製(黒曜石 2)。剥片は縦長剥片を素材とするが、器体上半と末端を欠損しているので詳細は不明である。24 の素材剥片が剥離されるより前の剥離時に生じたものである。

接合資料 3 搔器 2 点(掲載 No.21、22)と不規則剥離のある剥片 1 点(非掲載:4トレ 7P 45)の接合資料である。黒曜石製(黒曜石 4)。21 22 不規則剥離のある剥片の順に、上面の原礫面を打面として、正面側で連続的に剥片剥離が行われている。21 の背面に残された剥離面の観察から、同じ方向からの剥片剥離が行われていることがわかる。不規則剥離のある剥片は縦長剥片を素材として、主要剥離面右側縁に不規則剥離が認められる。素材となる剥片は原礫面を打面に有し、バルブが認められ、末端形状はフェザーエッジである。剥離角は 109.0° 。

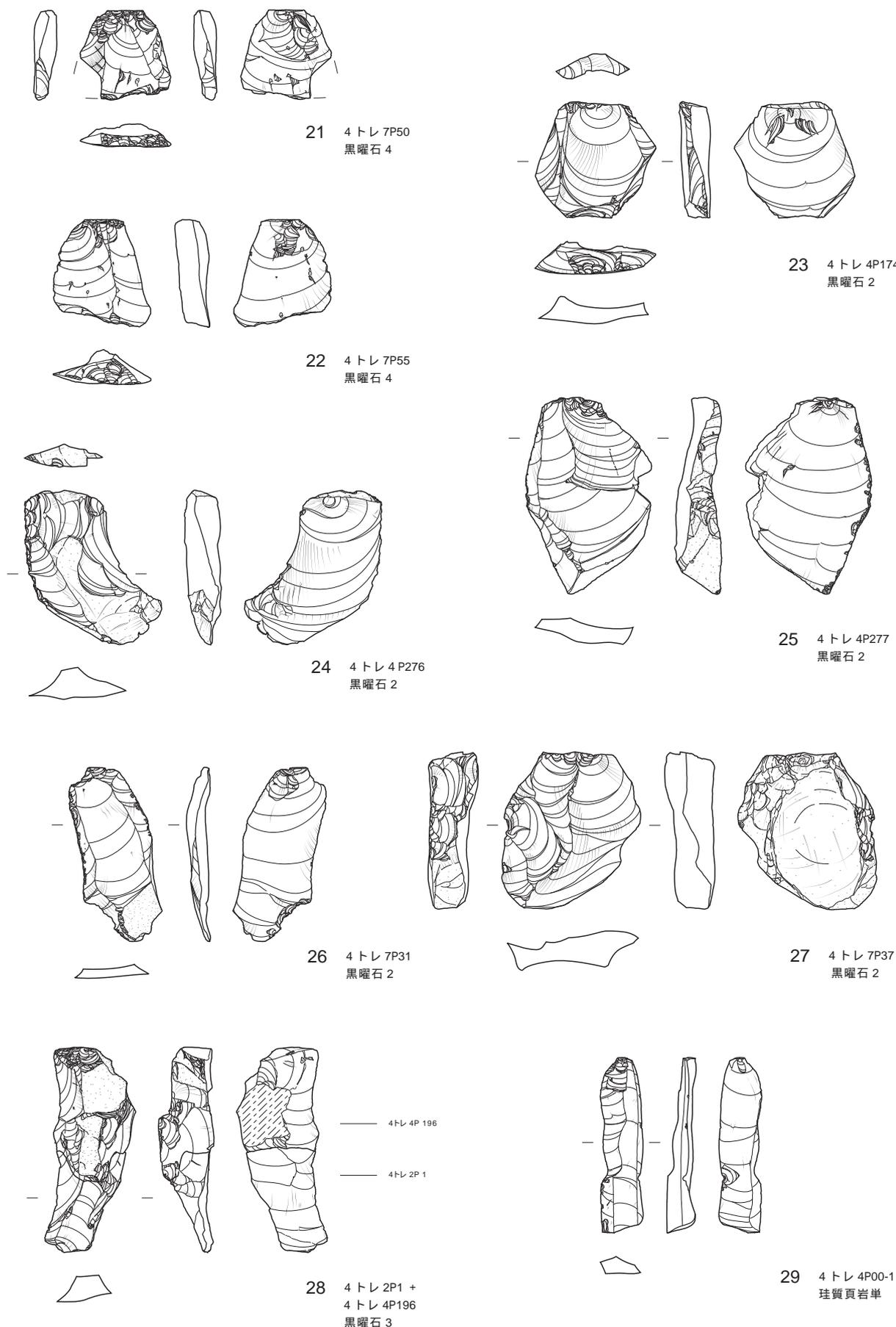
接合資料 4 石核 1 点(掲載 No.27)と剥片 2 点(非掲載:4トレ 7P 25、4トレ 7P 54)の接合資料である。黒曜石製(黒曜石 2)。27 の上面にある原礫面を打面として、剥片剥離されたものが上記の剥片 2 点である。2 点は同一剥片の打点側の断片、末端側の断片である。原礫面を打面に有し、バルバスクーが認められ、末端形状はフェザーエッジである。剥離角は 102.0° 。

第 層出土石器(第 36 図・第 37 図)

第 層より、石器は一括資料を含め総計 55 点出土しており、石器集中 1 及び石器集中 2 から南に約 30 m 離れた地点で確認されている。内訳は、二次加工のある剥片 2 点、不規則剥離のある剥片 1 点、石核 7 点、剥片 41 点、碎片 4 点である。これらの中から 8 点を掲載・図化している。

1・2 は二次加工のある剥片である。1 は縦長剥片を素材として、背面右側縁に不規則剥離を伴う連続的な二次的剥離が認められる。素材剥片は原礫面を打面に有し、バルバスクーが認められ、末端形状はフェザーエッジである。剥離角は 102.0° 。珪質頁岩製(珪質頁岩 1)。石器集中 3 出土。2 は縦長剥片を素材として、背面左側縁に連続的な二次的剥離が認められる。末端側を欠損している。素材剥片は平坦な剥離面を打面に有し、バルブとバルバスクーが認められる。末端が欠損しているため形状不明である。剥離角は 115.8° 。チャート製(チャート 1)。石器集中 3 出土。

3 は不規則剥離のある剥片である。縦長剥片を素材として、背面左側縁・主要剥離面右側縁に不規則剥離が認められる。素材剥片は原礫面を打面に有し、バルブとバルバスクーが認められる。末端形状は



第 35 図 第 層下部 ~ 第 層出土石器 (2/3)

ヒンジフラクチャーである。剥離角は 105.8° 。珪質頁岩製(珪質頁岩 1)。石器集中 3 出土。

4 は石核である。下面にある原礫面を打面として、正面側で剥片剥離が行われた(打角: 86.0°)後、上面にある平坦な剥離面を打面として剥片剥離が行われている(打角: 83.8°)。ガラス質安山岩製(ガラス質安山岩 1)。トレンチ 4 ピット 12 一括。

5 ~ 8 は剥片である。5 は縦長剥片で、原礫面を打面に有し、バルブとバルバスカーが認められる。末端は欠損しているため形状不明である。剥離角は 96.0° 。頁岩製(頁岩単)。石器集中 3 出土。6 は縦長剥片で、平坦な剥離面を打面に有し、バルブが認められ、末端形状はヒンジフラクチャーである。剥離角は 107.0° 。頁岩製(頁岩 1)。石器集中 3 出土。7 は縦長剥片で、平坦な剥離面を打面に有し、バルブやバルバスカーは認められない。末端は欠損しているため形状不明である。剥離角は 110.0° 。頁岩製(頁岩 2)。石器集中 3 出土。8 は縦長剥片で、平坦な剥離面を打面に有し、バルブが認められ、末端形状はフェザーエッジである。剥離角は 114.0° 。頁岩製(頁岩 2)。トレンチ 4 ピット 12 一括。

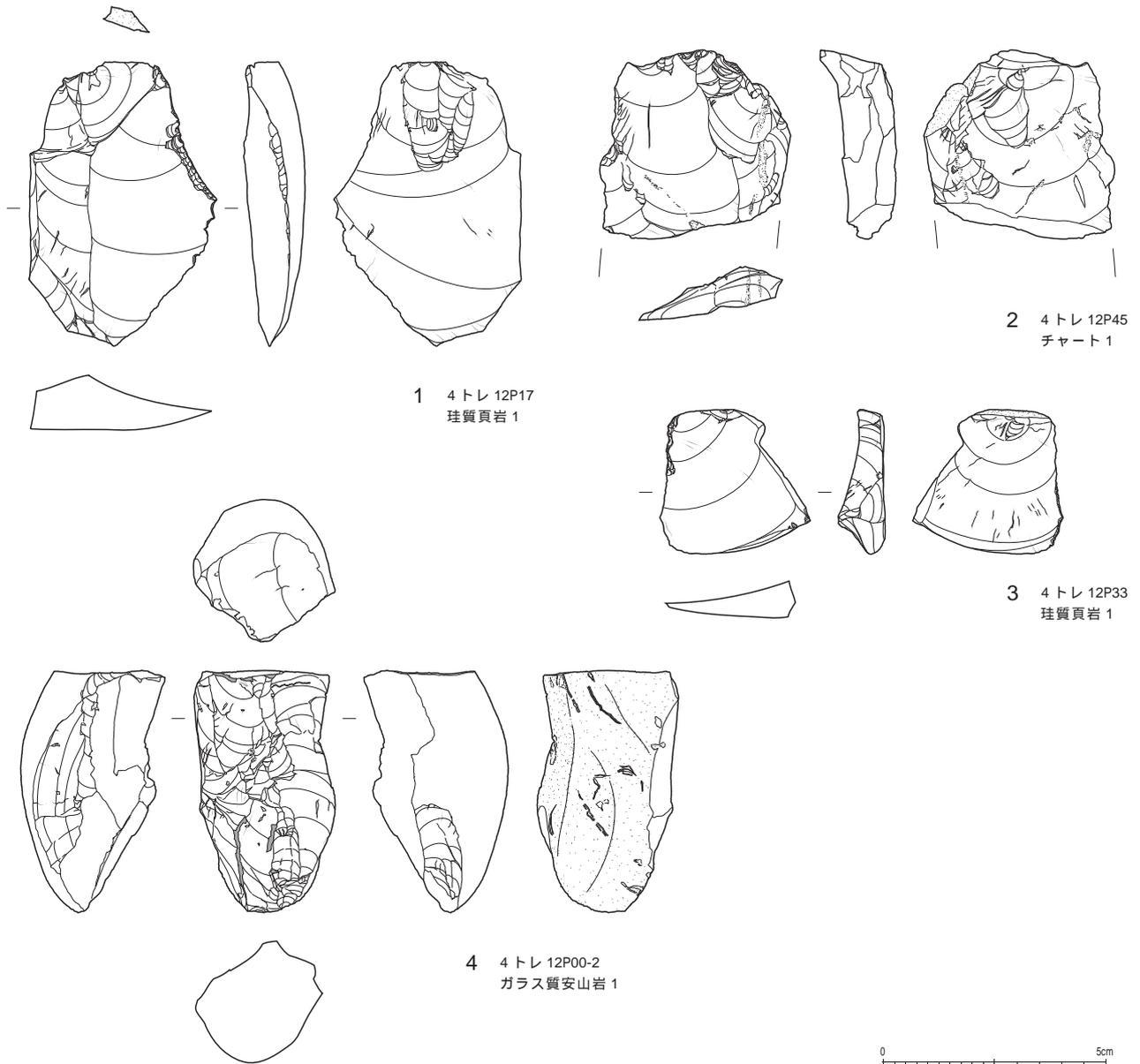
第 層出土接合資料(写真図版 21・写真図版 22)

接合資料 1 剥片 6 点(非掲載: 4トレ 12P 28 + 30 + 31、32、23 + 27、36、00-7、25)の接合資料である。頁岩製(頁岩 1)。原石は少なくとも 2 つ(A、B)以上の個体に分割されている。個体 A では、最初に下面にある原礫面を打面として、正面側で剥片(12P 28 + 30 + 31)が剥離され、その後上面にある原礫面を打面として、剥片(12P 32)・剥片(12P 23 + 27)が連続的に剥離されている。最後に剥片(12P 25)が剥離されている。個体 B では、上面にある原礫面を打面として、裏面側で剥片(12P 00-7)が、左側にある節理面を打面として、剥片(12P 36)が剥離されている。

剥片(12P 28 + 30 + 31)は縦長剥片で、原礫面を打面に有すると思われるが、節理面に沿って大部分が欠損しているため詳細は不明である。剥片(12P 32)は横長剥片で、原礫面を打面に有し、バルブやバルバスカーは認められない。末端形状はフェザーエッジである。剥離角は 92.0° 。剥片(12P 23 + 27)は横長剥片で、原礫面を打面に有し、バルブやバルバスカーは認められない。末端形状はヒンジフラクチャーである。剥離角は 72.0° 。剥片(12P 25)は横長剥片で、節理面を打面に有し、バルブが認められる。末端は節理面に沿って割れているため形状不明である。剥離角は 97.0° 。剥片(12P 00-7)は縦長剥片で、原礫面を打面に有し、バルブやバルバスカーが認められる。末端形状はフェザーエッジである。剥離角は 100.0° 。剥片(12P 36)は横長剥片で、平坦な剥離面を打面に有し、バルブやバルバスカーは認められない。末端形状はフェザーエッジである。剥離角は 104.0° 。

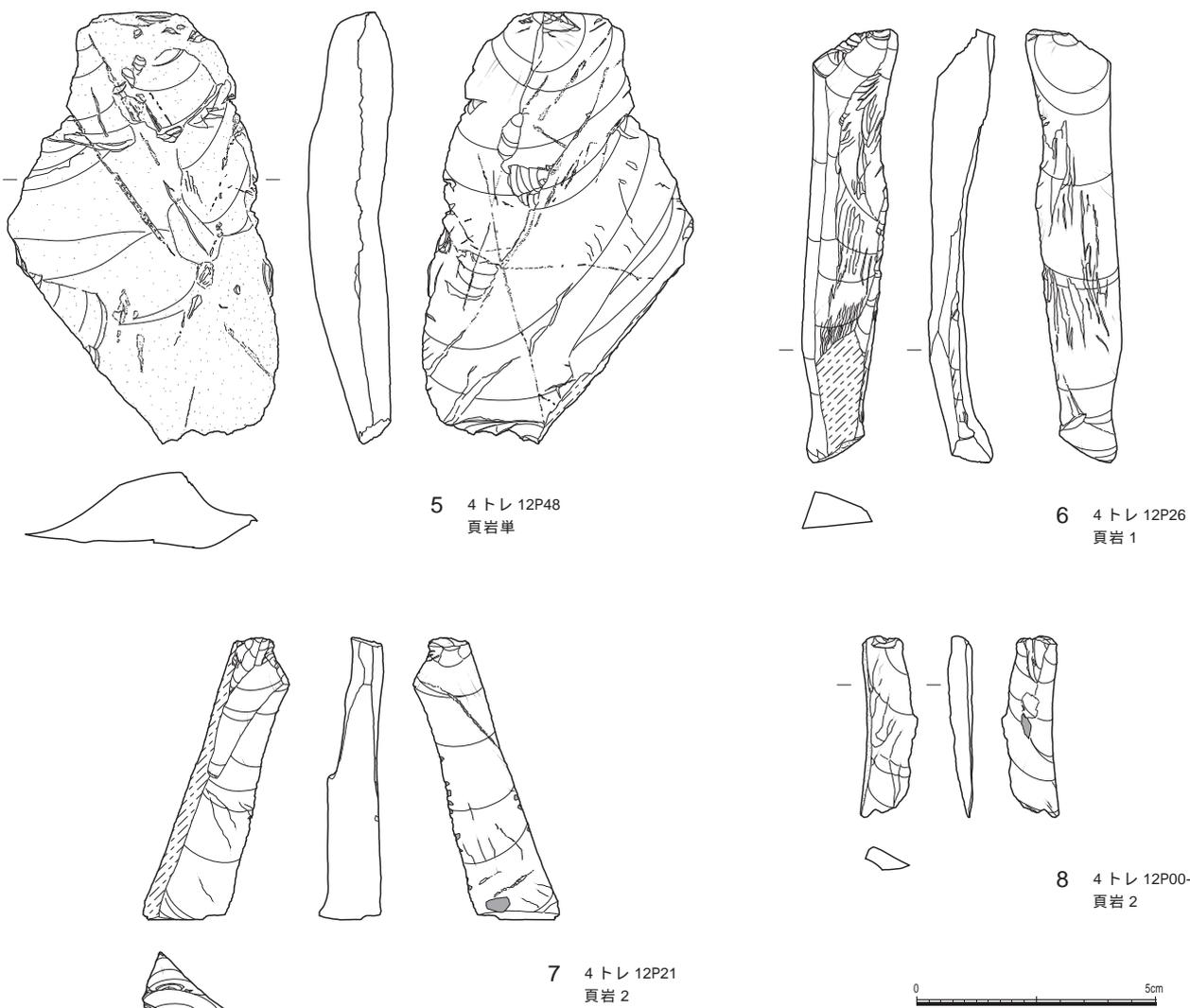
接合資料 2 石核 2 点(非掲載: 4トレ 12P 15 + 20 + 42、24 + 35)、剥片 7 点(非掲載: 4トレ 12P 4、5、7、10、14 + 00-3、19、22)の接合資料である。チャート製(チャート 1)。接合資料 2 は大きく 4 つの個体(A、B、C、D)に分かれる。個体 A が石核(12P 15 + 20 + 42)で、個体 B が剥片(12P 22)である。個体 C は剥片 3 点(12P 4、5、19)と石核(12P 24 + 35)、個体 D は剥片 3 点(12P 00-3 + 14、7、10)で構成される。

石核(12P 15 + 20 + 42)からは、上面にある平坦な剥離面を打面として、連続的に剥片剥離が行われている(打角: $75.0 \sim 88.0^\circ$)。剥片(12P 22)は縦長剥片で、末端形状はフェザーエッジである。打点側を欠損しており、その他詳細は不明である。剥片(12P 4)は縦長剥片で、バルブやバルバスカーは認められない。末端形状はフェザーエッジである。打点は砕けている。剥片(12P 5)は横長剥片で、平坦な剥離面を打面に有し、バルブやバルバスカーは認められない。末端形状はフェザーエッジである。剥離角は 114.0° 。剥片(12P 19)は縦長剥片で、平坦な剥離面を打面に有し、バルブが認められる。末端は欠損しているため形状不明である。剥離角は 98.0° 。石核(12P 24 + 35)からは、上面に



第 36 図 第 層出土石器 (2/3)

ある平坦な剥離面を打面として、剥片(12P 19)が剥離されている(打角: 69.0°)。同じ面を打面として別に剥片剥離が行われており(打角: 70.0°)。その後打面転移して剥片(12P 4)・剥片(12P 5)が剥離されている。剥片(12P 14 + 00-3)は横長剥片で、平坦な剥離面を打面に有し、バルブが認められる。末端形状はフェザーエッジである。剥離角は 94.0° 。剥片(12P 7)はやや横長の剥片で、平坦な剥離面を打面に有し、バルブが認められる。末端形状はフェザーエッジである。剥離角は 92.0° 。剥片(12P 10)は縦長剥片で、平坦な剥離面を打面に有し、バルブやバルバスカーが認められる。末端形状はフェザーエッジである。剥離角は 112.0° 。



第37図 第層出土石器 (2/3)

第IV層下部～第V層

	黒曜石	珪質頁岩	頁岩	チャート	ガラス質 安山岩	計
細石刃核	1					1
細石刃	2					2
ナイフ形石器 (含む一括)	19					19
搔器	5					5
削器	1					1
二次加工のある剥片	11					11
不規則剥離のある剥片	11					11
石核	1					1
作業面調整剥片	2					2
削片 (一括)		1				1
剥片	315		1	1	1	318
砕片	46					46
計	414	1	1	1	1	418

第IX層

	珪質頁岩	頁岩	チャート	ガラス質 安山岩	計
二次加工のある剥片	1		1		2
不規則剥離のある剥片	1				1
石核 (含む一括)		1	5	1	7
剥片		21	19	1	41
砕片		1	3		4
計	2	23	28	2	55

第6表 第9地点石器組成表

出土位置	遺物No.	遺構名(層位)	種別	石材(母岩)	重量(g)	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	X座標	Y座標	Z座標	接合	図版No.
1H 一括	00-1		ナイフ形石器	黒曜石6	3.38	16.27	32.62	6.91					第34図14
1H 一括	00-3		(磨製)石斧	砂岩	105.94	99.98	44.11	14.59					
2H 3P-一括	00-1		剥片	黒曜石2	0.29	11.43	11.84	2.84					
3H 一括	00-1	外(IX)	剥片	頁岩2	23.35	44.69	40.57	12.50					
3H 一括	00-2		剥片	黒曜石2	0.62	14.57	17.41	5.22					
4H 1P	0001	外(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.01	3.81	4.71	1.04	-18226.169	-29470.395	37.86		
4H 1P	0002	外(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.87	12.98	16.96	4.98	-18226.797	-29469.835	37.778		
4H 2P	0001	石器集中1(IV~V)	作業面調整剥片	黒曜石3	3.70	30.17	19.22	10.68	-18229.083	-29473.345	37.674	セ20	第35図28
4H 2P	0002	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.04	6.95	6.23	1.35	-18229.809	-29472.559	37.658		
4H 2P	0003	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石3	0.89	20.17	15.37	4.52	-18230.179	-29472.881	37.596		
4H 2P	0004	石器集中1(IV~V)	二次加工のある剥片	黒曜石1	2.82	34.04	21.79	7.12	-18230.399	-29474.055	37.644		
4H 2P	0005	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.11	11.24	6.52	2.86	-18231.455	-29474.821	37.574		
4H 2P-一括	00-5		搔器	黒曜石2	6.26	30.20	24.67	8.91					
4H 2P-一括	00-6		剥片	黒曜石2	2.66	31.17	19.74	6.50					
4H 2P-一括	00-7		剥片	黒曜石2	0.01	4.27	4.38	1.16					
4H 4P	0001	石器集中1(IV~V)	ナイフ形石器	黒曜石2	1.64	20.78	15.79	6.42	-18229.899	-29466.365	37.868	セ6	第33図6
4H 4P	0002	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.33	17.32	6.67	5.11	-18230.091	-29466.225	37.906		
4H 4P	0003	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	1.59	13.30	14.31	10.09	-18230.555	-29466.019	37.908		
4H 4P	0004	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.02	6.56	6.47	1.25	-18231.225	-29466.515	37.928		
4H 4P	0005	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.07	14.01	4.71	2.50	-18231.063	-29466.485	37.862		
4H 4P	0006	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.05	5.63	8.26	1.69	-18230.903	-29466.621	37.912		
4H 4P	0007	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.21	11.01	13.65	1.97	-18230.861	-29466.717	37.806		
4H 4P	0008	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.02	7.85	4.44	1.42	-18231.105	-29466.885	37.902		
4H 4P	0009	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.03	10.18	4.04	1.20	-18230.937	-29466.911	37.936		
4H 4P	0010	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.55	17.87	10.27	1.83	-18230.595	-29467.207	38.006		
4H 4P	0011	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.12	9.02	8.90	2.16	-18230.541	-29467.095	37.948		
4H 4P	0012	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.10	8.91	14.01	1.23	-18230.489	-29466.985	37.866		
4H 4P	0013	石器集中1(IV~V)	不規則剥離のある剥片	黒曜石3	8.05	37.17	29.37	11.69	-18230.321	-29467.377	37.824		
4H 4P	0014	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.16	11.33	4.75	3.30	-18229.807	-29467.443	38.046		
4H 4P	0015	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.05	8.84	7.08	1.02	-18229.095	-29467.683	37.918		
4H 4P	0016	石器集中1(IV~V)	砕片	黒曜石2	0.01以下	4.01	1.96	0.70	-18229.067	-29468.415	37.854		
4H 4P	0017	石器集中1(IV~V)	砕片	黒曜石2	0.01	5.63	2.82	1.08	-18229.411	-29468.225	37.93		
4H 4P	0018	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.05	6.35	7.05	1.48	-18229.099	-29468.839	37.894		
4H 4P	0019	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.07	5.72	6.74	2.19	-18229.655	-29468.717	37.85		
4H 4P	0020	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.06	6.42	12.22	1.49	-18230.701	-29467.565	37.808		
4H 4P	0021	石器集中1(IV~V)	砕片	黒曜石2	0.01以下	7.49	2.71	0.87	-18230.855	-29467.555	37.786		
4H 4P	0022	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.06	8.87	6.79	1.36	-18230.987	-29467.469	37.774		
4H 4P	0023	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.21	7.98	12.74	4.78	-18230.959	-29467.337	37.89		
4H 4P	0024	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.02	5.43	8.76	0.84	-18233.049	-29467.833	37.842		
4H 4P	0025	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.01	10.02	3.15	0.86	-18231.337	-29467.209	37.812		
4H 4P	0026	石器集中1(IV~V)	砕片	黒曜石2	0.01以下	5.26	4.16	0.96	-18231.395	-29467.125	37.876		
4H 4P	0027	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.07	7.14	8.81	2.17	-18231.481	-29466.741	37.806		
4H 4P	0028	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.18	16.78	11.39	1.75	-18231.557	-29466.843	37.908		
4H 4P	0029	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.23	21.75	9.07	2.28	-18231.589	-29466.803	37.918		
4H 4P	0030	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.17	13.54	9.26	1.68	-18231.663	-29466.647	37.948		
4H 4P	0031	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.14	7.78	8.67	2.15	-18231.697	-29466.345	37.82		
4H 4P	0032	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.67	16.49	13.48	5.40	-18231.969	-29466.587	37.864		
4H 4P	0033	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	20.47	30.55	51.09	24.85	-18232.167	-29466.819	37.85	セ13	
4H 4P	0034	石器集中1(IV~V)	ナイフ形石器	黒曜石2	6.22	53.20	20.16	15.65	-18231.745	-29466.857	37.79		
4H 4P	0035	石器集中1(IV~V)	ナイフ形石器	黒曜石3	3.15	39.12	18.61	6.14	-18231.851	-29466.941	37.818		第34図17
4H 4P	0036	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	7.57	48.96	26.53	8.92	-18231.879	-29467.041	37.872		
4H 4P	0037	石器集中1(IV~V)	搔器	黒曜石4	2.95	21.04	22.02	9.93	-18231.759	-29467.177	37.81		
4H 4P	0038	石器集中1(IV~V)	砕片	黒曜石2	0.01以下	3.50	6.23	0.94	-18233.157	-29468.021	37.848		
4H 4P	0039	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.06	7.18	7.34	1.39	-18231.681	-29467.123	37.78		
4H 4P	0041	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石3	0.20	5.48	14.11	3.15	-18231.655	-29467.439	37.932		
4H 4P	0042	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.10	12.59	6.13	1.35	-18231.581	-29467.311	37.888		
4H 4P	0043	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.10	5.04	11.12	2.09	-18231.547	-29467.521	37.91		
4H 4P	0044	石器集中1(IV~V)	砕片	黒曜石2	0.03	3.45	6.36	2.01	-18231.331	-29467.525	37.854		
4H 4P	0045	石器集中1(IV~V)	ナイフ形石器	黒曜石2	5.47	40.01	19.45	8.87	-18231.227	-29468.101	37.766		第33図8
4H 4P	0046	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.12	8.75	8.48	2.13	-18231.065	-29467.883	37.986		
4H 4P	0047	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.40	20.88	9.56	2.44	-18231.009	-29468.025	37.852		
4H 4P	0048	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.17	9.69	9.45	2.23	-18230.757	-29468.131	37.846		
4H 4P	0049	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.59	22.67	12.02	3.47	-18230.647	-29468.165	37.772		
4H 4P	0050	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.26	9.36	15.83	2.33	-18230.673	-29468.229	37.778		
4H 4P	0051	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.04	7.50	8.74	1.67	-18230.771	-29468.341	37.782		
4H 4P	0052	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.03	3.60	10.41	1.59	-18230.841	-29468.253	37.836		
4H 4P	0053	石器集中1(IV~V)	ナイフ形石器	黒曜石3	0.77	24.76	11.61	5.42	-18230.949	-29468.335	37.856		第34図20
4H 4P	0054	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.10	5.53	10.76	2.24	-18230.589	-29468.447	38.042		
4H 4P	0055	石器集中1(IV~V)	細石刃	黒曜石3	0.30	18.26	6.92	2.93	-18230.515	-29468.699	37.762		第33図2
4H 4P	0056	石器集中1(IV~V)	砕片	黒曜石2	0.03	3.74	6.07	1.59	-18230.249	-29468.869	37.894		
4H 4P	0057	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.04	5.05	9.78	1.36	-18230.197	-29468.989	37.946		
4H 4P	0058	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.60	20.57	15.10	3.11	-18229.997	-29469.205	37.858	セ18	
4H 4P	0059	石器集中1(IV~V)	砕片	黒曜石2	0.01	3.81	5.54	0.70	-18229.625	-29469.727	37.95		
4H 4P	0060	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.02	5.63	5.31	0.84	-18230.231	-29469.301	37.806		
4H 4P	0061	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石3	1.35	27.30	23.82	2.78	-18230.349	-29469.351	37.908		
4H 4P	0062	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.17	13.45	5.70	3.61	-18231.077	-29469.069	37.786		
4H 4P	0063	石器集中1(IV~V)	ナイフ形石器	黒曜石4	4.41	29.74	24.89	7.92	-18231.187	-29468.875	37.834		第33図11
4H 4P	0064	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石3	0.28	9.42	18.30	2.89	-18231.199	-29468.787	37.792		
4H 4P	0065	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.06	6.17	10.94	1.55	-18231.543	-29468.243	38.014		
4H 4P	0066	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.03	7.61	6.19	1.10	-18231.569	-29468.315	37.94		
4H 4P	0067	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.69	19.72	14.42	3.59	-18231.621	-29468.365	37.856		
4H 4P	0068	石器集中1(IV~V)											

出土位置	遺物No.	遺構名(層位)	種別	石材(母岩)	重量(g)	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	X座標	Y座標	Z座標	接合	図版No.
4F	0075	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.10	10.44	10.73	2.17	-18232.461	-29467.505	37.798		
4F	0076	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.12	11.03	5.43	2.56	-18232.563	-29467.483	37.876		
4F	0077	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.28	7.56	15.28	4.34	-18232.589	-29467.569	37.854		
4F	0078	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.06	7.41	7.06	1.32	-18232.555	-29468.057	37.8		
4F	0079	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.47	16.03	15.07	2.51	-18232.335	-29468.373	37.804		
4F	0080	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.09	9.02	5.68	2.05	-18232.127	-29468.539	37.814		
4F	0081	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.02	4.02	8.90	1.41	-18232.033	-29468.425	37.824		
4F	0082	石器集中1(IV~V)	二次加工のある剥片	黒曜石1	5.01	35.80	18.08	9.41	-18231.883	-29468.319	37.822		
4F	0083	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	1.64	18.64	20.18	4.71	-18231.621	-29468.563	37.852	717	
4F	0084	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.07	10.35	4.44	2.59	-18231.683	-29468.653	37.856		
4F	0085	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.11	7.38	11.53	2.09	-18231.561	-29468.839	37.786		
4F	0086	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.02	8.00	5.19	1.80	-18231.425	-29468.897	37.948		
4F	0087	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.03	6.52	6.22	1.52	-18231.467	-29469.177	37.796		
4F	0088	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.02	4.47	8.10	1.81	-18231.367	-29469.131	37.812		
4F	0089	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.05	6.03	8.48	1.53	-18230.753	-29469.771	37.874		
4F	0090	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.06	5.29	9.27	1.54	-18230.567	-29469.715	37.818		
4F	0091	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.08	6.96	8.94	1.66	-18230.601	-29469.835	37.958		
4F	0092	石器集中1(IV~V)	ナイフ形石器	黒曜石8	3.06	40.00	17.01	4.78	-18231.051	-29469.843	37.84		第33図7
4F	0093	石器集中1(IV~V)	碎片	黒曜石1	0.01以下	5.00	4.22	0.74	-18231.379	-29469.575	37.8		
4F	0094	石器集中1(IV~V)	碎片	黒曜石2	0.01以下	2.08	5.58	1.34	-18231.417	-29469.509	37.75		
4F	0095	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.04	6.87	9.37	1.30	-18231.941	-29468.977	37.814		
4F	0096	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.02	4.93	7.03	1.06	-18232.411	-29468.645	37.922		
4F	0097	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.09	5.32	11.35	2.16	-18232.579	-29468.577	37.862		
4F	0098	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.02	4.71	5.09	1.38	-18232.691	-29468.423	37.936		
4F	0099	石器集中1(IV~V)	碎片	黒曜石2	0.03	4.00	7.48	2.44	-18232.605	-29468.283	37.84		
4F	0100	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.17	6.86	12.97	2.28	-18232.911	-29468.139	37.764		
4F	0101	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.05	7.79	11.28	1.05	-18233.051	-29468.147	37.854		
4F	0102	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.25	12.34	9.81	2.26	-18231.625	-29466.805	37.822		
4F	0103	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.08	11.79	7.23	2.19	-18231.721	-29466.593	37.788		
4F	0104	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.07	5.74	6.31	1.70	-18230.701	-29467.153	37.892		
4F	0105	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.06	14.92	3.95	1.48	-18230.167	-29469.001	37.922		
4F	0106	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.01	5.47	6.06	1.18	-18230.149	-29469.147	37.822		
4F	0107	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.03	4.66	6.03	1.66	-18230.409	-29468.837	37.776		
4F	0108	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.26	9.21	11.90	3.11	-18232.231	-29467.323	37.974		
4F	0109	石器集中1(IV~V)	不規則形のある剥片	黒曜石1	4.39	27.03	29.86	7.59	-18231.175	-29468.905	37.778	718	
4F	0110	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.52	9.56	17.28	3.73	-18231.293	-29467.507	37.844		
4F	0111	石器集中1(IV~V)	二次加工のある剥片	黒曜石1	0.80	25.20	8.34	7.61	-18231.417	-29468.849	37.862		
4F	0112	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.05	4.17	8.47	1.49	-18232.103	-29468.511	37.804		
4F	0113	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.01以下	4.22	5.30	0.54	-18232.901	-29467.751	37.76		
4F	0114	石器集中1(IV~V)	碎片	黒曜石2	0.01以下	2.58	2.13	0.29	-18231.931	-29467.005	37.794		
4F	0115	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.65	18.09	11.67	4.54	-18231.849	-29466.997	37.792		
4F	0116	石器集中1(IV~V)	碎片	黒曜石2	0.01以下	1.84	4.34	0.95	-18231.559	-29466.741	37.808		
4F	0117	石器集中1(IV~V)	碎片	黒曜石2	0.01以下	6.69	2.33	0.97	-18230.803	-29468.121	37.836		
4F	0118	石器集中1(IV~V)	碎片	黒曜石2	0.02	4.49	4.22	1.35	-18231.433	-29468.827	37.814		
4F	0119	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.09	4.33	10.54	2.62	-18231.901	-29466.573	37.772		
4F	0120	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.05	9.20	9.74	0.91	-18232.255	-29467.339	37.874		
4F	0121	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.24	7.36	20.39	4.37	-18231.661	-29467.365	37.762		
4F	0122	石器集中1(IV~V)	碎片	黒曜石2	0.01以下	3.50	3.22	0.42	-18231.733	-29467.433	37.768		
4F	0123	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.04	5.05	9.20	1.22	-18231.505	-29467.743	37.772		
4F	0124	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.01	4.68	5.17	1.15	-18231.155	-29467.811	37.772		
4F	0125	石器集中1(IV~V)	碎片	黒曜石2	0.01以下	5.18	0.21	0.62	-18231.215	-29468.053	37.768		
4F	0126	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石3	8.36	33.53	29.46	8.17	-18230.963	-29467.933	37.76		
4F	0127	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.02	5.35	6.00	0.81	-18230.745	-29468.149	37.78		
4F	0128	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.18	9.77	11.01	1.98	-18230.875	-29468.855	37.754		
4F	0129	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.21	7.04	17.19	2.51	-18231.419	-29469.141	37.776		
4F	0130	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.04	7.60	7.49	2.15	-18232.001	-29468.371	37.806		
4F	0131	石器集中1(IV~V)	碎片	黒曜石2	0.01	3.08	5.08	1.06	-18232.553	-29468.437	37.792		
4F	0132	石器集中1(IV~V)	不規則形のある剥片	黒曜石1	2.20	29.92	20.73	5.05	-18233.131	-29468.151	37.78		
4F	0133	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.14	14.64	4.13	4.35	-18230.095	-29468.361	37.764		
4F	0134	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.10	5.43	6.90	3.31	-18231.785	-29467.253	37.762		
4F	0135	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.23	10.87	7.71	3.16	-18231.395	-29468.473	37.786		
4F	0136	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.04	3.65	9.33	1.79	-18230.399	-29468.739	37.732		
4F	0137	石器集中1(IV~V)	碎片	黒曜石2	0.01	5.15	4.55	0.95	-18230.737	-29468.453	37.722		
4F	0138	石器集中1(IV~V)	二次加工のある剥片	黒曜石4	1.08	7.71	17.51	7.65	-18230.649	-29468.181	37.746		
4F	0139	石器集中1(IV~V)	碎片	黒曜石1	0.01以下	4.59	5.41	0.87	-18230.947	-29467.599	37.756		
4F	0140	石器集中1(IV~V)	碎片	黒曜石1	0.03	5.21	4.49	1.26	-18231.303	-29467.383	37.728		
4F	0141	石器集中1(IV~V)	碎片	黒曜石2	0.01以下	4.48	3.04	0.51	-18231.351	-29467.181	37.726		
4F	0142	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.35	13.46	14.72	2.77	-18231.593	-29466.713	37.73	715	
4F	0143	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.05	5.09	9.89	1.35	-18231.773	-29466.849	37.75		
4F	0144	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.10	11.64	9.20	1.82	-18231.717	-29466.951	37.74		
4F	0145	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.03	7.21	6.26	1.24	-18231.363	-29468.299	37.752		
4F	0146	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.03	4.14	7.07	1.64	-18231.273	-29468.525	37.766		
4F	0147	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.06	9.25	6.04	1.49	-18231.415	-29468.847	37.708		
4F	0148	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.05	6.99	8.18	1.40	-18231.495	-29469.113	37.73		
4F	0149	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.05	8.85	6.99	1.65	-18231.611	-29468.989	37.78		
4F	0150	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.03	6.94	9.13	0.70	-18231.809	-29469.057	37.77		
4F	0151	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.04	4.30	7.93	1.22	-18231.891	-29468.919	37.746		
4F	0152	石器集中1(IV~V)	碎片	黒曜石2	0.01以下	5.08	3.27	1.01	-18231.853	-29468.721	37.768		
4F	0153	石器集中1(IV~V)	碎片	黒曜石2	0.01	4.22	6.20	1.17	-18231.745	-29468.493	37.73		
4F	0154	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	1.58	20.46	12.75	6.02	-18231.741	-29468.335	37.698	711	
4F	0155	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.04	3.52	9.09	1.62	-18232.159	-29468.533	37.786		
4F	0156	石器集中1(IV~V)	ナイフ形石器	黒曜石2	2.42	23.70	17.38	5.68	-18232.275	-29468.687	37.732	716	第33図6
4F	0157	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	1.36	18.02	14.40	7.42	-18232.463	-29468.463	37.752		
4F	0158	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	1.16	18.28	18.43	6.52	-18232.163	-29468.529	37.774		
4F	0159	石器集中1(IV~V)	碎片	黒曜石1	0.06	7.59	4.74	2.31	-18232.371	-29466.383	37.854		
4F	0160	石器集中1(IV~V)	碎片	黒曜石4	0.04	6.43	6.87	1.34	-18232.343	-29466.431	37.86		
4F	0161	石器集中1(IV~V)	ナイフ形石器	黒曜石5	7.09	51.64	18.29	9.77	-18232.405	-29466.721	38.002		第33図4
4F	0162	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.08	8.03	8.82	1.71	-18232.343	-29466.813	37.696		

第8表 第9地点石器属性表

出土位置	遺物No.	遺構名(層位)	種別	石材(母岩)	重量(g)	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	X座標	Y座標	Z座標	接合	図版No.
4F	4P	0163	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.09	6.48	12.25	2.05	-18232.601	-29466.983	37.926	
4F	4P	0164	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.03	6.72	6.78	0.97	-18232.695	-29466.889	37.886	
4F	4P	0165	石器集中1(IV~V)	ナイフ形石器	黒曜石2	3.75	29.14	20.05	6.60	-18232.675	-29467.131	37.964	第34図15
4F	4P	0166	石器集中1(IV~V)	碎片	黒曜石2	0.01以下	3.13	5.79	0.78	-18232.755	-29467.227	37.92	
4F	4P	0167	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.06	6.86	7.35	2.39	-18232.923	-29467.085	37.884	
4F	4P	0168	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	5.57	45.22	20.54	10.54	-18233.225	-29467.689	37.968	セ15
4F	4P	0169	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.16	16.15	6.42	2.40	-18233.579	-29467.613	37.938	
4F	4P	0170	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.08	8.69	10.19	1.27	-18232.747	-29467.167	37.932	
4F	4P	0171	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.20	16.24	6.68	3.66	-18233.199	-29467.687	37.772	
4F	4P	0172	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.26	7.56	15.67	3.56	-18232.709	-29467.097	37.89	
4F	4P	0173	石器集中1(IV~V)	碎片	黒曜石1	0.03	4.07	7.24	1.12	-18232.403	-29466.791	37.884	
4F	4P	0174	石器集中1(IV~V)	搔器	黒曜石2	8.14	31.57	33.11	7.05	-18232.893	-29467.193	37.812	第35図23
4F	4P	0175	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	1.06	19.66	13.52	4.57	-18232.635	-29466.939	37.758	
4F	4P	0176	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.10	14.76	8.92	1.27	-18230.637	-29470.155	37.632	
4F	4P	0177	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	1.28	16.01	22.84	6.64	-18230.813	-29469.837	37.648	
4F	4P	0178	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.15	8.05	9.31	2.30	-18230.535	-29469.637	37.738	
4F	4P	0179	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石3	0.21	11.50	13.07	2.69	-18230.521	-29469.637	37.736	
4F	4P	0180	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石3	2.63	29.68	23.55	6.00	-18230.827	-29469.527	37.662	セ19
4F	4P	0181	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.04	7.25	5.47	1.49	-18231.231	-29469.159	37.672	
4F	4P	0182	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.43	13.54	12.86	3.42	-18231.439	-29469.141	37.67	
4F	4P	0183	石器集中1(IV~V)	碎片	黒曜石2	0.01以下	6.55	2.75	0.82	-18231.631	-29469.337	37.7	
4F	4P	0184	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.06	5.96	6.89	1.60	-18231.689	-29468.831	37.664	
4F	4P	0185	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.24	6.02	13.75	4.81	-18232.325	-29468.693	37.632	
4F	4P	0186	石器集中1(IV~V)	二次加工のある剥片	黒曜石4	1.75	22.84	14.07	6.70	-18232.631	-29468.541	37.656	
4F	4P	0188	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.26	13.33	7.40	5.28	-18232.337	-29468.033	37.658	
4F	4P	0189	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.32	11.04	13.29	2.73	-18229.919	-29469.605	37.682	
4F	4P	0190	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.08	7.16	11.03	1.18	-18229.615	-29468.693	37.77	
4F	4P	0191	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.04	7.93	6.14	1.02	-18229.873	-29468.651	37.748	
4F	4P	0192	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.10	7.44	9.84	2.38	-18230.363	-29468.627	37.69	
4F	4P	0193	石器集中1(IV~V)	ナイフ形石器	黒曜石1	2.66	28.17	19.57	7.95	-18231.145	-29468.597	37.674	セ17 第34図19
4F	4P	0194	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.01	4.74	4.04	0.76	-18231.493	-29468.169	37.672	
4F	4P	0195	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.24	10.08	10.42	2.02	-18231.535	-29468.019	37.654	
4F	4P	0196	石器集中1(IV~V)	作業面調整剥片	黒曜石3	9.47	36.13	23.85	16.54	-18232.023	-29467.651	37.652	セ20 第35図28
4F	4P	0197	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.11	11.72	8.17	2.26	-18232.231	-29467.313	37.65	
4F	4P	0198	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.09	10.20	7.94	1.51	-18232.677	-29467.201	37.852	
4F	4P	0199	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.05	3.17	9.93	2.09	-18232.887	-29467.199	37.774	
4F	4P	0200	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.01以下	6.95	2.76	0.73	-18232.871	-29467.103	37.79	
4F	4P	0202	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石3	0.04	8.55	4.31	1.29	-18230.091	-29466.919	37.766	
4F	4P	0203	石器集中1(IV~V)	碎片	黒曜石1	0.28	8.36	10.36	4.54	-18230.469	-29466.693	37.702	
4F	4P	0204	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.01以下	3.55	6.50	1.23	-18231.135	-29468.271	37.634	
4F	4P	0205	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	4.87	24.62	27.29	12.57	-18229.143	-29468.709	37.774	セ10
4F	4P	0206	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.05	5.31	8.16	1.57	-18230.735	-29469.605	37.644	
4F	4P	0207	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.37	20.78	12.02	1.96	-18230.259	-29469.423	37.59	
4F	4P	0208	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石3	1.18	26.58	15.84	5.19	-18230.381	-29469.299	37.686	
4F	4P	0209	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.04	6.80	7.14	1.38	-18230.315	-29469.183	37.684	
4F	4P	0210	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石3	0.63	12.26	14.87	3.68	-18230.179	-29469.049	37.582	
4F	4P	0211	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.49	6.98	17.13	7.66	-18229.851	-29468.925	37.754	セ10
4F	4P	0212	石器集中1(IV~V)	不規則剥片のある剥片	黒曜石1	3.79	36.37	22.79	6.55	-18229.535	-29468.617	37.674	
4F	4P	0213	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.04	8.55	4.47	3.31	-18230.333	-29468.555	37.6	
4F	4P	0214	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石3	0.64	17.06	16.31	3.48	-18230.535	-29468.707	37.61	
4F	4P	0215	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.06	8.74	5.63	1.78	-18230.639	-29469.041	37.62	
4F	4P	0216	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石3	3.32	51.54	15.35	5.73	-18231.001	-29469.579	37.564	セ19
4F	4P	0217	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.06	5.97	7.75	2.13	-18231.021	-29468.991	37.64	
4F	4P	0218	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.08	5.05	9.02	1.70	-18231.037	-29468.561	37.568	
4F	4P	0219	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.02	6.48	4.52	1.05	-18230.647	-29468.357	37.642	
4F	4P	0220	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.15	7.57	12.10	1.90	-18230.553	-29468.175	37.63	
4F	4P	0221	石器集中1(IV~V)	碎片	黒曜石2	0.01以下	5.72	2.45	0.63	-18231.389	-29468.201	37.592	
4F	4P	0222	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.03	4.79	5.50	1.17	-18231.653	-29468.109	37.606	
4F	4P	0223	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.09	8.68	12.14	1.45	-18231.789	-29468.053	37.632	
4F	4P	0224	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.02	7.33	6.91	0.94	-18232.299	-29467.679	37.638	
4F	4P	0225	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.70	21.29	12.11	3.48	-18232.569	-29468.325	37.594	
4F	4P	0226	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.06	11.81	5.00	1.18	-18231.527	-29469.505	37.596	
4F	4P	0227	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.01	6.43	4.90	1.17	-18231.535	-29468.699	37.584	
4F	4P	0228	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.11	16.76	5.87	2.05	-18229.971	-29467.313	37.644	
4F	4P	0229	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.30	15.05	8.36	4.60	-18230.635	-29470.681	37.68	
4F	4P	0230	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.27	13.14	11.84	2.05	-18230.803	-29470.849	37.874	
4F	4P	0231	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石3	0.16	11.92	13.97	2.46	-18230.935	-29470.537	37.516	
4F	4P	0232	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.11	8.24	10.08	1.19	-18231.065	-29470.493	37.442	
4F	4P	0233	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石3	1.73	27.53	16.98	4.48	-18231.217	-29470.161	37.748	
4F	4P	0234	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.60	8.39	23.14	3.54	-18231.335	-29470.261	37.758	
4F	4P	0235	石器集中1(IV~V)	碎片	黒曜石2	0.01	7.01	2.43	1.56	-18231.411	-29470.137	37.732	
4F	4P	0236	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.11	10.44	9.47	1.37	-18232.157	-29469.535	38.006	
4F	4P	0237	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.01	9.16	4.55	1.12	-18232.677	-29469.703	37.974	
4F	4P	0238	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.96	18.64	19.78	4.91	-18232.445	-29469.215	38.008	
4F	4P	0239	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	7.44	24.09	23.33	17.52	-18232.393	-29468.997	37.916	セ8
4F	4P	0240	石器集中1(IV~V)	ナイフ形石器	黒曜石2	5.75	43.16	19.54	8.36	-18232.731	-29469.065	37.902	第34図16
4F	4P	0241	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.10	9.08	5.10	2.46	-18233.147	-29469.317	37.86	
4F	4P	0242	石器集中1(IV~V)	ナイフ形石器	黒曜石4	6.26	38.74	20.67	6.63	-18233.265	-29469.087	37.78	第33図5
4F	4P	0243	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	5.76	39.66	32.30	7.06	-18233.693	-29468.093	37.946	
4F	4P	0244	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.15	9.71	7.03	3.24	-18231.507	-29470.459	37.698	
4F	4P	0245	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.21	7.10	4.99	4.39	-18233.617	-29468.711	37.888	
4F	4P	0246	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.26	5.47	14.36	3.33	-18230.839	-29470.809	37.714	
4F	4P	0247	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.16	6.59	13.74	2.34	-18231.147	-29470.257	37.662	
4F	4P	0248	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.02	3.81	6.05	0.70	-18231.315	-29470.409	37.436	
4F	4P	0249	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.07	7.26	12.70	1.58	-18231.661	-29469.783	37.87	
4F	4P	0250	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.38	8.00	16.10	4.67	-18231.789	-29469.957	37.854	
4F	4P	0251	石器集中1(IV~V)	碎片	黒曜石2	0.01以下	4.20	5.60	0.72	-18231.965	-29469.971	37.77	
4F	4P	0252	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.02	7.54	4.18	1.21	-18231.809	-29469.403	37.974	

第9表 第9地点石器属性表

出土位置	遺物No.	遺構名(層位)	種別	石材(母岩)	重量(g)	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	X座標	Y座標	Z座標	接合	図版No.
4ㄥ	4P	0253	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.06	6.75	7.87	1.85	-18232.125	-29469.847	37.92	
4ㄥ	4P	0254	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石3	0.43	23.56	9.09	2.88	-18231.955	-29469.353	37.858	
4ㄥ	4P	0255	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.13	14.38	10.43	1.50	-18232.051	-29469.441	37.77	
4ㄥ	4P	0256	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.05	6.71	6.89	1.39	-18232.211	-29469.407	37.826	
4ㄥ	4P	0257	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	1.28	27.05	16.39	3.15	-18232.739	-29469.061	37.794	
4ㄥ	4P	0258	石器集中1(IV~V)	不規則剥離のある剥片	黒曜石9	2.84	29.74	27.03	4.97	-18234.081	-29467.759	37.828	ㄗ7
4ㄥ	4P	0259	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.06	4.87	9.88	1.73	-18234.443	-29468.007	37.76	
4ㄥ	4P	0260	石器集中1(IV~V)	碎片	黒曜石2	0.01	5.71	4.87	0.92	-18232.147	-29470.025	37.738	
4ㄥ	4P	0261	石器集中1(IV~V)	碎片	黒曜石2	0.01	6.60	3.32	0.99	-18231.915	-29470.211	37.686	
4ㄥ	4P	0262	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.02	5.78	6.94	0.72	-18231.865	-29470.023	37.784	
4ㄥ	4P	0263	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.04	8.01	4.36	1.56	-18232.221	-29469.409	37.808	
4ㄥ	4P	0264	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.13	9.39	8.40	2.01	-18231.161	-29470.191	37.582	
4ㄥ	4P	0265	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.04	11.29	4.00	1.16	-18231.367	-29470.093	37.53	
4ㄥ	4P	0266	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.18	6.18	11.59	3.72	-18231.571	-29469.931	37.548	
4ㄥ	4P	0267	石器集中1(IV~V)	ナイフ形石器	黒曜石2	10.57	46.46	28.70	15.69	-18231.895	-29469.747	37.696	第34図18
4ㄥ	4P	0268	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.05	9.21	5.92	1.26	-18232.075	-29469.345	37.696	
4ㄥ	4P	0269	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.03	7.98	5.14	1.05	-18232.091	-29469.837	37.822	
4ㄥ	4P	0270	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.08	4.62	11.78	1.74	-18231.921	-29470.055	37.672	
4ㄥ	4P	0271	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.12	6.81	9.10	2.28	-18232.007	-29469.753	37.67	
4ㄥ	4P	0272	石器集中1(IV~V)	二次加工のある剥片	黒曜石2	1.01	15.45	21.90	4.35	-18233.905	-29467.365	37.682	
4ㄥ	4P	0273	石器集中1(IV~V)	ナイフ形石器	黒曜石10	3.37	38.68	21.96	4.84	-18234.623	-29468.829	37.806	第34図12
4ㄥ	4P	0274	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石6	0.25	15.22	9.05	3.82	-18229.315	-29468.005	37.584	
4ㄥ	4P	0275	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	2.79	20.77	28.00	6.19	-18229.461	-29466.003	37.76	
4ㄥ	4P	0276	石器集中1(IV~V)	削器	黒曜石2	11.33	45.27	36.20	9.51	-18229.807	-29466.001	37.796	ㄗ5
4ㄥ	4P	0277	石器集中1(IV~V)	不規則剥離のある剥片	黒曜石2	14.60	54.26	34.95	11.14	-18231.227	-29465.313	37.898	第35図24 第35図25
4ㄥ	4P	0278	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	4.08	32.92	25.10	6.30	-18234.277	-29464.993	38.084	第35図29
4ㄥ	4P-一括	00-1		削片	珪質頁岩単	3.34	47.77	13.39	7.39				
4ㄥ	4P-一括	00-2		剥片	頁岩1	0.27	12.85	8.24	2.50				
4ㄥ	4P-一括	00-9		剥片	黒曜石1	0.03	10.96	3.96	1.42				
4ㄥ	4P-一括	00-12		二次加工のある剥片	黒曜石1	1.48	28.66	16.29	6.37				
4ㄥ	4P-一括	00-13		剥片	黒曜石4	0.07	12.44	3.53	2.15				
4ㄥ	4P-一括	00-14		剥片	黒曜石3	0.22	12.12	7.63	3.30				
4ㄥ	5P	0001	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.09	10.27	5.77	2.22	-18231.799	-29472.117	37.496	
4ㄥ	5P	0002	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.06	7.84	9.07	1.31	-18232.449	-29471.717	37.49	
4ㄥ	5P	0003	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.24	13.44	9.82	2.39	-18232.787	-29471.643	37.518	
4ㄥ	5P	0004	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.06	6.94	4.78	1.70	-18232.895	-29471.785	37.642	
4ㄥ	5P	0005	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.06	7.60	7.45	1.47	-18233.025	-29472.401	37.482	
4ㄥ	5P	0006	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.10	6.47	8.34	1.96	-18233.057	-29472.305	37.536	
4ㄥ	5P	0007	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.18	6.88	15.32	2.28	-18233.095	-29472.351	37.53	
4ㄥ	5P	0008	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.06	8.26	7.16	1.91	-18233.455	-29472.647	37.632	
4ㄥ	5P	0009	外(IV~V)	剥片	黒曜石2	1.71	31.54	21.59	3.63	-18235.465	-29472.697	37.59	
4ㄥ	5P	0010	外(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.04	8.00	5.24	1.35	-18235.431	-29471.987	37.628	
4ㄥ	5P	0011	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.18	9.81	12.36	1.79	-18233.481	-29470.641	37.612	
4ㄥ	5P	0012	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	2.36	19.26	21.85	8.44	-18233.549	-29470.587	37.61	ㄗ8
4ㄥ	5P	0013	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.01	4.07	5.88	0.52	-18233.435	-29469.709	37.5	
4ㄥ	5P	0014	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	1.71	19.18	24.64	5.31	-18233.249	-29469.397	37.442	ㄗ16
4ㄥ	5P	0015	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石5	0.63	15.54	7.44	5.60	-18234.023	-29468.993	37.832	
4ㄥ	5P	0016	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	3.64	34.19	19.31	10.17	-18233.193	-29472.323	37.606	ㄗ18
4ㄥ	5P-一括	00-2		剥片	黒曜石6	4.80	26.36	36.30	8.00				
4ㄥ	5P-一括	00-3		二次加工のある剥片	黒曜石2	4.87	38.79	19.39	4.64				
4ㄥ	5P-一括	00-4		剥片	黒曜石4	1.60	26.82	13.88	4.76				
4ㄥ	5P-一括	00-5		剥片	黒曜石3	0.13	11.20	6.48	2.76				
4ㄥ	5P-一括	00-8		剥片	黒曜石1	1.89	24.06	18.88	6.19				
4ㄥ	5P-一括	00-9		剥片	黒曜石4	0.52	21.03	12.13	2.42				
4ㄥ	5P-一括	00-10		剥片	黒曜石3	0.62	15.71	12.30	2.78				
4ㄥ	5P-一括	00-12		剥片	黒曜石2	0.20	15.43	7.37	2.52				
4ㄥ	5P-一括	00-17		二次加工のある剥片	黒曜石1	1.39	23.68	12.04	4.32				
4ㄥ	5P-一括	00-18		剥片	黒曜石2	0.51	17.15	10.34	4.90				
4ㄥ	5P-一括	00-19		二次加工のある剥片	黒曜石4	0.59	15.32	11.15	3.90				
4ㄥ	5P-一括	00-20		剥片	黒曜石1	0.23	10.46	14.79	1.75				
4ㄥ	5P-一括	00-21		剥片	黒曜石3	0.23	9.60	11.03	2.67				
4ㄥ	5P-一括	00-22		剥片	黒曜石2	0.06	8.72	8.01	1.18				
4ㄥ	5P-一括	00-23		剥片	黒曜石2	0.03	7.23	5.00	1.18				
4ㄥ	5P-一括	00-27		剥片	黒曜石4	0.47	20.08	12.75	2.53				ㄗ16
4ㄥ	5P-一括	00-28		ナイフ形石器	黒曜石4	4.71	27.48	22.71	7.42				第33図10
4ㄥ	5P-一括	00-29		剥片	黒曜石3	2.10	27.65	21.93	4.03				
4ㄥ	5P-一括	00-30		剥片	黒曜石1	1.26	29.08	12.49	5.06				
4ㄥ	5P-一括	00-31		剥片	黒曜石2	0.13	11.45	8.52	2.03				
4ㄥ	5P-一括	00-32		碎片	黒曜石2	0.01	5.40	2.72	0.78				
4ㄥ	5P-一括	00-33		剥片	黒曜石2	0.04	5.92	7.49	1.11				
4ㄥ	5P-一括	00-34		剥片	黒曜石1	0.19	8.11	16.18	1.89				
4ㄥ	5P-一括	00-35		剥片	黒曜石1	0.03	6.48	4.77	0.95				
4ㄥ	5P-一括	00-36		剥片	黒曜石2	0.04	5.39	6.56	1.51				
4ㄥ	5P-一括	00-37		剥片	黒曜石3	0.08	9.52	9.07	1.06				
4ㄥ	5P-一括	00-38		剥片	黒曜石3	0.16	13.90	9.15	1.89				
4ㄥ	6P	0001	外(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.03	9.12	2.90	0.93	-18235.687	-29475.849	37.638	
4ㄥ	6P-一括	00-1		削片	チャート1	3.23	29.06	13.35	5.66				
4ㄥ	7P	0001	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石5	0.15	11.77	9.01	1.59	-18235.727	-29467.349	37.882	ㄗ14
4ㄥ	7P	0002	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石4	3.81	27.53	25.32	5.01	-18235.905	-29467.279	37.774	ㄗ13
4ㄥ	7P	0004	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.12	10.72	10.56	1.38	-18236.551	-29466.647	37.922	
4ㄥ	7P	0005	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.09	6.08	8.05	1.58	-18236.753	-29466.647	38.032	
4ㄥ	7P	0006	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.02	7.09	3.78	0.89	-18236.631	-29466.541	37.954	
4ㄥ	7P	0007	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.55	15.87	9.93	3.37	-18236.731	-29466.359	37.96	ㄗ5
4ㄥ	7P	0008	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.06	8.76	5.32	1.34	-18236.725	-29466.299	37.96	
4ㄥ	7P	0009	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石5	8.33	38.35	33.28	9.72	-18236.239	-29466.291	37.836	ㄗ14
4ㄥ	7P	0010	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.18	15.53	7.00	1.96	-18236.283	-29466.025	37.902	
4ㄥ	7P	0011	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.13	5.13	6.63	5.39	-18236.709	-29465.981	37.95	
4ㄥ	7P	0012	石器集中2(IV~V)	碎片	黒曜石2	0.01	7.13	2.61	0.97	-18236.605	-29465.899	37.914	

第10表 第9地点石器属性表

出土位置	遺物No.	遺構名(層位)	種別	石材(母岩)	重量(g)	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	X座標	Y座標	Z座標	接合	図版No.
4F	7P	0013	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.01以下	3.90	3.26	0.82	-18236.737	-29465.761	37.904	
4F	7P	0014	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.01	6.56	3.32	1.68	-18236.437	-29465.671	37.922	
4F	7P	0015	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.16	7.01	13.34	3.00	-18236.491	-29465.551	37.892	
4F	7P	0016	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.36	15.41	7.51	3.37	-18236.591	-29465.435	38.104	
4F	7P	0017	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.33	15.79	11.17	2.99	-18236.759	-29465.063	37.886	
4F	7P	0018	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.28	6.47	16.94	3.27	-18237.103	-29465.033	38.036	
4F	7P	0019	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.01以下	4.95	3.40	0.36	-18237.089	-29465.615	37.952	
4F	7P	0020	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.10	8.12	7.82	2.08	-18237.027	-29465.799	37.948	
4F	7P	0021	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.11	5.82	7.10	2.54	-18236.975	-29466.167	38.066	
4F	7P	0022	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.05	8.33	4.77	2.30	-18236.987	-29466.311	38.002	
4F	7P	0023	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石9	0.18	7.87	14.66	2.04	-18237.169	-29466.579	37.916	セ7
4F	7P	0024	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.06	12.21	9.87	0.95	-18237.103	-29466.907	37.886	
4F	7P	0025	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石2	3.11	23.88	22.38	5.28	-18237.455	-29466.075	38.088	セ9
4F	7P	0026	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.19	14.20	6.42	2.83	-18237.501	-29465.427	37.866	
4F	7P	0027	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.10	5.49	9.58	1.97	-18237.539	-29465.441	37.858	
4F	7P	0028	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石2	4.97	26.79	31.94	7.94	-18238.103	-29464.515	38.158	
4F	7P	0029	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.63	9.90	16.12	6.12	-18238.835	-29464.843	37.894	
4F	7P	0030	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.73	22.12	12.87	3.40	-18239.161	-29464.331	38.16	
4F	7P	0031	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石2	3.92	48.99	21.49	3.59	-18238.943	-29465.297	38.098	第35図26
4F	7P	0032	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.14	8.49	7.16	3.53	-18236.979	-29466.147	38.008	
4F	7P	0033	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.03	4.90	7.67	1.79	-18238.743	-29466.155	38.036	
4F	7P	0034	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石3	1.36	14.39	21.29	5.45	-18234.755	-29467.615	37.944	
4F	7P	0035	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.42	11.25	7.72	6.43	-18234.905	-29467.149	38.138	
4F	7P	0036	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.54	11.91	15.58	3.69	-18235.247	-29467.089	37.936	
4F	7P	0037	石器集中2(IV~V)	石核	黒曜石2	20.27	49.00	38.60	10.77	-18235.169	-29467.405	37.838	セ9 第35図27
4F	7P	0038	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.11	14.44	13.25	2.36	-18235.269	-29467.521	37.944	
4F	7P	0039	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.04	4.69	7.78	1.64	-18235.733	-29467.045	38.008	
4F	7P	0040	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.24	9.81	8.74	3.75	-18235.859	-29466.853	38.068	
4F	7P	0041	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.28	12.71	13.02	2.63	-18235.781	-29466.643	37.972	
4F	7P	0042	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.58	19.57	9.28	3.34	-18235.453	-29466.341	38.056	セ11
4F	7P	0043	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.06	5.32	9.92	1.99	-18235.929	-29466.891	37.999	
4F	7P	0044	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.70	27.89	8.48	3.94	-18235.451	-29466.119	38.13	
4F	7P	0045	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石4	3.29	39.00	18.56	5.72	-18235.447	-29466.095	37.816	セ12
4F	7P	0046	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.07	7.58	6.96	1.98	-18235.321	-29465.999	37.834	
4F	7P	0047	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.08	5.29	6.76	3.18	-18235.633	-29465.719	38.088	
4F	7P	0048	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.06	8.21	4.55	2.24	-18235.561	-29465.375	37.902	
4F	7P	0049	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.11	11.61	5.65	2.57	-18236.093	-29465.391	37.864	
4F	7P	0050	石器集中2(IV~V)	搔器	黒曜石4	3.09	24.63	22.24	5.51	-18236.105	-29465.015	38.022	セ12 第35図21
4F	7P	0051	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.08	11.55	5.57	1.63	-18235.543	-29465.787	38.072	
4F	7P	0052	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.07	11.05	6.99	1.58	-18235.483	-29465.773	37.91	
4F	7P	0053	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.11	8.67	9.70	2.75	-18235.649	-29465.689	37.88	
4F	7P	0054	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石2	2.06	19.54	27.50	6.98	-18236.579	-29465.751	37.768	セ9
4F	7P	0055	石器集中2(IV~V)	搔器	黒曜石4	5.11	29.29	27.29	8.30	-18235.737	-29465.319	37.75	セ12 第35図22
4F	7P	0056	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.09	6.30	9.28	1.89	-18235.819	-29465.615	37.738	
4F	7P	0057	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.08	6.90	5.63	2.19	-18235.887	-29465.789	37.694	
4F	7P	0058	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.13	13.06	9.68	1.21	-18236.015	-29466.157	37.688	
4F	7P	0059	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石2	3.96	32.40	25.95	6.99	-18235.835	-29466.207	37.744	
4F	7P	0060	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.14	8.88	7.01	2.58	-18235.491	-29466.103	37.664	
4F	7P	0061	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石4	0.53	17.13	11.48	3.38	-18235.097	-29465.655	37.636	
4F	7P	0062	石器集中2(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.26	16.16	5.44	3.13	-18235.897	-29466.919	37.758	
4F	9P-一括	00-1		剥片	黒曜石4	0.60	6.39	21.32	6.19				
4F	12P	0001	石器集中3(IX)	剥片	頁岩2	9.19	49.57	15.88	13.75	-18261.067	-29455.385	38.548	
4F	12P	0003	石器集中3(IX)	剥片	頁岩2	0.09	10.46	5.95	1.52	-18268.215	-29454.609	38.61	
4F	12P	0004	石器集中3(IX)	剥片	チャート1	1.47	18.63	21.70	5.42	-18267.965	-29454.611	38.486	セ2
4F	12P	0005	石器集中3(IX)	剥片	チャート1	0.17	7.87	12.75	2.40	-18267.879	-29454.579	38.608	セ2
4F	12P	0006	石器集中3(IX)	剥片	チャート1	0.02	6.74	2.82	0.49	-18267.901	-29454.629	38.558	
4F	12P	0007	石器集中3(IX)	剥片	チャート1	2.16	17.57	18.56	10.05	-18267.709	-29454.575	38.502	セ2
4F	12P	0008	石器集中3(IX)	剥片	チャート1	0.07	7.84	6.38	1.28	-18267.591	-29454.669	38.47	
4F	12P	0009	石器集中3(IX)	剥片	チャート1	0.79	26.40	8.36	3.42	-18267.491	-29454.779	38.444	
4F	12P	0010	石器集中3(IX)	剥片	チャート1	10.58	35.94	36.04	10.10	-18267.545	-29455.227	38.42	セ2
4F	12P	0011	石器集中3(IX)	剥片	頁岩1	3.71	23.43	18.67	6.50	-18267.699	-29455.617	38.44	
4F	12P	0012	石器集中3(IX)	剥片	チャート1	0.17	9.89	4.51	4.61	-18267.309	-29455.469	38.372	
4F	12P	0013	石器集中3(IX)	剥片	チャート1	0.39	12.02	7.79	3.95	-18267.281	-29455.477	38.364	
4F	12P	0014	石器集中3(IX)	剥片	チャート1	1.04	16.67	13.36	4.92	-18266.415	-29455.433	38.286	セ2
4F	12P	0015	石器集中3(IX)	石核	チャート1	32.43	41.19	37.05	20.81	-18265.197	-29454.935	38.314	セ2
4F	12P	0016	石器集中3(IX)	剥片	チャート1	0.08	6.95	5.65	1.94	-18266.367	-29456.093	38.278	
4F	12P	0017	石器集中3(IX)	剥片	珪質頁岩1	32.54	64.52	42.69	13.09	-18266.189	-29456.343	38.402	第36図1
4F	12P	0019	石器集中3(IX)	剥片	チャート1	2.84	18.15	27.15	7.49	-18267.371	-29453.769	38.488	セ2
4F	12P	0020	石器集中3(IX)	石核	チャート1	9.53	32.78	30.77	13.38	-18267.237	-29453.425	38.55	セ2
4F	12P	0021	石器集中3(IX)	剥片	頁岩2	11.83	64.02	17.23	12.08	-18267.135	-29453.177	38.692	第37図7
4F	12P	0022	石器集中3(IX)	剥片	チャート1	5.92	34.28	18.16	9.76	-18267.007	-29453.953	38.556	セ2
4F	12P	0023	石器集中3(IX)	剥片	頁岩1	67.38	30.49	86.68	28.47	-18266.835	-29454.219	38.432	セ1
4F	12P	0024	石器集中3(IX)	石核	チャート1	25.03	37.83	28.15	27.11	-18266.799	-29454.195	38.416	セ2
4F	12P	0025	石器集中3(IX)	剥片	頁岩1	1.90	14.41	22.07	6.06	-18265.509	-29455.401	38.374	セ1
4F	12P	0026	石器集中3(IX)	剥片	頁岩1	15.77	91.61	18.12	11.48	-18263.341	-29453.459	38.444	第37図6
4F	12P	0027	石器集中3(IX)	剥片	頁岩1	3.32	28.10	22.62	6.28	-18265.473	-29453.425	38.368	セ1
4F	12P	0028	石器集中3(IX)	剥片	頁岩1	5.71	41.48	22.50	6.52	-18264.579	-29453.737	38.37	セ1
4F	12P	0029	石器集中3(IX)	剥片	チャート1	0.09	6.63	7.24	1.80	-18264.153	-29453.343	38.478	
4F	12P	0030	石器集中3(IX)	剥片	頁岩1	2.09	10.80	26.51	8.22	-18264.177	-29454.355	38.284	セ1
4F	12P	0031	石器集中3(IX)	剥片	頁岩1	13.88	40.86	31.21	13.77	-18263.985	-29453.741	38.452	セ1
4F	12P	0032	石器集中3(IX)	剥片	頁岩1	76.26	53.81	64.21	21.99	-18263.825	-29453.713	38.412	セ1
4F	12P	0033	石器集中3(IX)	剥片	珪質頁岩1	8.54	32.34	33.97	10.05	-18261.719	-29457.207	38.238	第36図3
4F	12P	0034	石器集中3(IX)	剥片	チャート1	1.59	22.50	19.99	5.05	-18267.405	-29455.067	38.248	
4F	12P	0035	石器集中3(IX)	石核	チャート1	20.93	39.06	25.95	20.88	-18267.449	-29454.749	38.332	セ2
4F	12P	0036	石器集中3(IX)	剥片	頁岩1	4.85	33.56	15.77	10.92	-18267.195	-29454.457	38.374	セ1
4F	12P	0037	石器集中3(IX)	剥片	チャート1	7.23	25.60	26.78	16.54	-18266.727	-29454.445	38.302	セ3
4F	12P	0038	石器集中3(IX)	剥片	チャート1	3.81	23.59	31.56	9.30	-18266.779	-29454.249	38.316	セ4
4F	12P	0039	石器集中3(IX)	剥片	チャート1	1.00	11.54	20.93	5.12	-18268.195	-29454.511	38.47	セ3

第11表 第9地点石器属性表

出土位置	遺物No.	遺構名(層位)	種別	石材(母岩)	重量(g)	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	X座標	Y座標	Z座標	接合	図版No.
4ト	12P	0040	石器集中3(IX)	剥片	チャート1	0.39	15.39	8.55	3.76	-18267.905	-29454.535	38.298	セ4
4ト	12P	0041	石器集中3(IX)	剥片	チャート1	0.76	17.00	9.48	4.11	-18267.915	-29454.065	38.484	
4ト	12P	0042	石器集中3(IX)	石核	チャート1	1.57	24.11	13.02	5.29	-18267.663	-29454.443	38.35	セ2
4ト	12P	0043	石器集中3(IX)	剥片	チャート1	0.32	12.66	9.63	2.94	-18267.289	-29453.965	38.432	
4ト	12P	0045	石器集中3(IX)	二次加工のある剥片	チャート1	23.01	39.89	43.75	14.77	-18265.713	-29455.109	38.348	第36図2
4ト	12P	0046	石器集中3(IX)	碎片	頁岩1	0.06	10.55	4.26	1.19	-18265.423	-29452.119	38.614	
4ト	12P	0047	石器集中3(IX)	剥片	頁岩1	0.50	15.47	10.40	4.02	-18265.951	-29451.865	38.62	
4ト	12P	0048	石器集中3(IX)	剥片	頁岩単	79.30	90.42	50.75	17.30	-18264.715	-29451.441	38.568	第37図5
4ト	12P-係	00-1		剥片	頁岩2	3.87	38.38	15.44	5.60				
4ト	12P-係	00-2		石核	ガラス質安山岩1	59.36	55.18	30.75	30.96				第36図4
4ト	12P-係	00-3		剥片	チャート1	9.73	26.75	24.85	14.89			セ2	
4ト	12P-係	00-4		剥片	頁岩2	1.82	37.00	11.31	5.14				第37図8
4ト	12P-係	00-6		剥片	頁岩2	4.47	17.12	34.59	8.62				
4ト	12P-係	00-7		剥片	頁岩1	8.87	50.22	38.59	6.61			セ1	
4ト	12P-係	00-8		剥片	頁岩2	26.75	50.69	30.87	16.76				
4ト	12P-係	00-10		石核	頁岩2	115.69	68.78	49.09	29.89				
4ト	12P-係	00-13		剥片	頁岩2	6.06	14.84	42.77	11.81				
4ト	12P-係	00-15		剥片	頁岩2	2.91	32.41	14.97	7.10				
4ト	13P	0001	石器集中1(IV~V)	細石刃	黒曜石9	0.13	14.25	6.22	1.86	-18234.649	-29466.049	37.966	第33図3
4ト	13P	0002	石器集中1(IV~V)	細石刃石核	黒曜石7	4.22	20.12	19.28	15.96	-18233.981	-29467.065	37.916	第33図1
4ト	13P	0003	石器集中1(IV~V)	ナイフ形石器	黒曜石4	9.39	51.75	27.36	8.63	-18233.561	-29466.677	37.87	第34図13
4ト	13P	0004	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	0.28	13.26	12.47	2.32	-18233.435	-29467.277	37.744	
4ト	13P	0005	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石4	5.19	30.14	30.49	9.38	-18233.015	-29466.205	37.96	
4ト	13P	0006	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石2	1.00	19.75	16.08	3.62	-18232.947	-29465.805	37.934	
4ト	13P	0007	石器集中1(IV~V)	碎片	黒曜石2	0.02	6.25	4.92	1.15	-18232.895	-29465.703	37.936	
4ト	13P	0008	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.12	16.72	6.61	2.82	-18232.965	-29465.335	37.854	
4ト	13P	0009	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.93	14.23	17.50	5.71	-18232.495	-29466.173	37.93	
4ト	13P	0010	石器集中1(IV~V)	ナイフ形石器	黒曜石5	5.98	40.43	21.58	8.58	-18232.349	-29466.151	37.974	第33図9
4ト	13P	0011	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	1.06	17.96	23.01	3.99	-18232.317	-29465.879	37.958	
4ト	13P	0012	石器集中1(IV~V)	不規則剥離のある剥片	黒曜石1	1.63	22.89	27.57	5.33	-18231.705	-29464.825	37.88	セ18
4ト	13P	0013	石器集中1(IV~V)	碎片	黒曜石1	0.01以下	3.05	3.24	0.74	-18232.519	-29466.143	37.922	
4ト	13P	0014	石器集中1(IV~V)	碎片	黒曜石1	0.02	6.79	3.57	1.31	-18232.443	-29466.181	37.876	
4ト	13P	0015	石器集中1(IV~V)	剥片	黒曜石1	0.30	17.01	9.17	3.91	-18232.267	-29465.919	37.91	
4ト	13P	0016	石器集中1(IV~V)	碎片	黒曜石2	0.03	3.58	6.63	2.23	-18231.439	-29465.279	38.12	
4ト	13P-係	00-2		剥片	黒曜石2	0.03	5.58	8.00	1.04				
4ト	13P-係	00-3		剥片	黒曜石2	0.07	11.31	4.16	1.34				
4ト	13P-係	00-4		剥片	黒曜石4	0.66	15.64	12.34	5.19				
4ト	13P-係	00-5		(打製)石斧	砂岩単	69.56	77.38	46.72	14.73				
4ト	14P	00-1		石鏃未製品	チャート単	3.52	8.79	23.59	20.04				
NH-9	一括	00-1		二次加工のある剥片	黒曜石2	2.98	28.06	23.35	5.50				
NH-9	一括	00-2		剥片	黒曜石6	2.10	19.29	22.55	5.30				
NH-9	一括	00-3		剥片	ガラス質安山岩1	1.06	26.11	11.02	4.29				
NH-9	一括	00-4		剥片	頁岩単	3.40	27.17	22.03	6.08				
NH-9	一括	00-5		剥片	チャート単	3.29	17.52	20.92	7.24				

第12表 第9地点石器属性表

母岩分類

黒曜石

- 黒曜石 1: 淡い灰～黒色を呈する。透明度低い。数は少ないが、大きな夾雑物が混じる。気泡もほぼ認められないが、黒色の縞状構造は認められる。鈍い光沢あり。
- 黒曜石 2: ほぼ無色である。透明度高い。球顆等の夾雑物は少なく、気泡もほぼ認められないが、乳白色や黒色の面状構造は全体的に認められる。やや鈍い～やや強い光沢あり。
- 黒曜石 3: ほぼ無色である。透明度高い。球顆等の夾雑物は少なく、気泡もほぼ認められないが、乳白色のモヤ状構造は全体的に認められる。やや鈍い～やや強い光沢あり。
- 黒曜石 4: 薄い褐色を呈する。透明度低い。球顆等の夾雑物は多く、気泡はほぼ認められない。淡い黒色、乳白色、赤褐色の縞状構造や乳白色のモヤ状構造が全体的に認められる。やや鈍い～やや強い光沢あり。
- 黒曜石 5: 赤褐色を呈する。透明度低い。球顆等の夾雑物は少なく、気泡もほぼ認められないが、黒色のモヤ状構造は全体的に認められる。やや鈍い～やや強い光沢あり。
- 黒曜石 6: 灰色を呈する。透明度低い。球顆等の夾雑物は少なく、気泡もほぼ認められないが、黒色の縞状構造は全体的に認められる。やや鈍い～やや強い光沢あり。
- 黒曜石 7: 黒色を呈する。透明度低い。球顆等の夾雑物は少なく、気泡もほぼ認められないが、黄褐色や乳白色の点状構造は全体的に認められる。やや鈍い～やや強い光沢あり。
- 黒曜石 8: ほぼ無色である。透明度高い。球顆等の夾雑物は少なく、気泡もほぼ認められないが、黒褐色のモヤ状構造は全体的に認められる。やや鈍い～やや強い光沢あり。
- 黒曜石 9: ほぼ無色である。透明度高い。球顆等の夾雑物は少なく、気泡もほぼ認められない。やや鈍い～やや強い光沢あり。
- 黒曜石 10: ほぼ無色である。透明度高い。球顆が多く混じる。やや鈍い～やや強い光沢あり。

頁岩

- 頁岩 1: 濃い灰色を呈する。乳白色の線状構造を含む。明瞭な節理面が含まれる。やや粒度細かい。光沢なし。
- 頁岩 2: 緑灰色を呈する。乳白色の線状構造を含む。節理面が含まれる。やや粒度細かい。光沢なし。
- 頁岩単: 上記以外で単独出土となる頁岩。

珪質頁岩

- 珪質頁岩 1: 透明感のない黄褐色を呈する。黒褐色の点状構造や淡い褐～茶褐色のモヤ状あるいは線状構造を含む。節理面は少ない。粒度は細かく、均質である。鈍い油脂光沢が認められる。
- 珪質頁岩単: 上記以外で単独出土となる珪質頁岩。

チャート

- チャート 1: 濃い灰色を呈する。黄褐色の点状の夾雑物や乳白色の線状構造を含む。粒度は細かく、均質である。鈍い油脂光沢が認められる。

ガラス質安山岩

- ガラス質安山岩 1: 黒色を呈する(風化面は黄色味の強い灰黄色を呈する)。細かい孔隙が多い。粒度細かい。



藤久保東第三遺跡第 8 地点 調査前全景



藤久保東第三遺跡第 8 地点 表土剥ぎ



藤久保東第三遺跡第 8 地点 調査風景



藤久保東第三遺跡第 8 地点 完掘（北から）



藤久保東第三遺跡第 8 地点 焼土遺構（北から）



藤久保東第三遺跡第 8 地点 埋め戻し



宮前遺跡 調査前全景



宮前遺跡 表土剥ぎ



宮前遺跡 完掘 (北から)



宮前遺跡 埋め戻し



三富開拓地割遺跡第 16 地点 調査前全景



三富開拓地割遺跡第 16 地点 表土剥ぎ



三富開拓地割遺跡第 16 地点 完掘 (南から)



三富開拓地割遺跡第 16 地点 埋め戻し



三富開拓地割遺跡第 17 地点 調査前全景



三富開拓地割遺跡第 17 地点 調査風景



三富開拓地割遺跡第 17 地点 石器集中(北から)



三富開拓地割遺跡第 17 地点 ナイフ形石器



生出窪北遺跡 調査前全景



生出窪北遺跡 完掘(東から)



中西遺跡第 1 地点 調査前全景



中西遺跡第 1 地点(試掘) 調査風景



中西遺跡第 1 地点(試掘) 遺物出土状況(北から)



中西遺跡第 1 地点(試掘) 完掘(北東から)



中西遺跡第 1 地点 (発掘) 表土剥ぎ



中西遺跡第 1 地点 (発掘) 完掘 (東から)



藤久保東遺跡 Y 地点 調査前全景



藤久保東遺跡 Y 地点 調査風景



藤久保東遺跡 Y 地点 遺物出土状況 (南から)



藤久保東遺跡 Y 地点 完掘 (南西から)



藤久保東遺跡 Z 地点 調査前全景



藤久保東遺跡 Z 地点 表土剥ぎ



藤久保東遺跡 Z 地点 完掘 (西から)



藤久保東遺跡 Z 地点 埋め戻し



中東遺跡第 6 地点 (1 次) 調査前全景



中東遺跡第 6 地点 (1 次) 表土剥ぎ



中東遺跡第 6 地点 (1 次) 完掘 (東から)



中東遺跡第 6 地点 (1 次) 埋め戻し



中東遺跡第 6 地点 (2 次) 調査前全景



中東遺跡第 6 地点 (2 次) 表土剥ぎ



中東遺跡第 6 地点 (2 次) ナイフ形石器



中東遺跡第 6 地点 (2 次) ナイフ形石器 (1/1)



中東遺跡第 6 地点 (2 次) 完掘 (東から)



中東遺跡第 6 地点 (2 次) 埋め戻し



藤久保東遺跡第 27 地点 調査前全景



藤久保東遺跡第 27 地点 表土剥ぎ



藤久保東遺跡第 27 地点 完掘 (西から)



藤久保東遺跡第 27 地点 埋め戻し



中東遺跡第 7 地点 調査前全景



中東遺跡第 7 地点 表土剥ぎ



中東遺跡第 7 地点 遺物出土状況(南から)



中東遺跡第 7 地点 完掘(西から)



中東遺跡第 6 地点(3 次) 調査前全景



中東遺跡第 6 地点(3 次) 完掘(北から)



中東遺跡第 6 地点(4 次) 調査前全景



中東遺跡第 6 地点(4 次) 調査風景



中東遺跡第 6 地点 (4 次) 調査風景



中東遺跡第 6 地点 (4 次) 完掘 (西から)



中東遺跡第 6 地点 (4 次) 剥片



中東遺跡第 6 地点 (4 次) 石核



中東遺跡第 8 地点 調査前全景



中東遺跡第 8 地点 完掘 (北から)



古井戸山遺跡 次 調査前全景



古井戸山遺跡 次 調査風景



古井戸山遺跡 次 完掘 (南西から)



古井戸山遺跡 次 住居跡検出状況 (東から)



古井戸山遺跡 次 土層堆積状況 (東から)



古井戸山遺跡 次 ナイフ形石器



中東遺跡第 9 地点 調査前全景



中東遺跡第 9 地点 表土剥ぎ



中東遺跡第 9 地点 遺物出土状況 (西から)



中東遺跡第 9 地点 完掘 (北東から)



本村南遺跡第 12 地点 調査前全景



本村南遺跡第 12 地点 (試掘) 表土剥ぎ



本村南遺跡第 12 地点 (試掘) 完掘 (南から)



本村南遺跡第 12 地点 (試掘) 住居跡検出状況 (西から)



本村南遺跡第 12 地点 (発掘) 表土剥ぎ



本村南遺跡第 12 地点 (発掘) 住居跡調査風景



本村南遺跡第 12 地点 (発掘) 遺物出土状況 (西から)



本村南遺跡第 12 地点 (発掘) 土層堆積状況 (西から)



本村南遺跡第 12 地点 (発掘) 弥生土器片



本村南遺跡第 12 地点 (発掘) 炭化材



本村南遺跡第 12 地点 (発掘) 完掘 (西から)



本村南遺跡第 12 地点 (発掘) 炉跡 (北から)



本村南遺跡第 12 地点 (発掘) 1 号住居跡出土遺物 (1/3)



本村北遺跡H地点 調査前全景



本村北遺跡H地点（試掘） 表土剥ぎ



本村北遺跡H地点（試掘） 完掘（南から）



本村北遺跡H地点（試掘） 住居跡検出状況（南から）



本村北遺跡H地点（発掘） 住居跡調査風景



本村北遺跡H地点(発掘) 遺物出土状況(南から)



本村北遺跡H地点（発掘） 遺物出土状況



本村北遺跡H地点（発掘） 須恵器坏



本村北遺跡 H 地点 (発掘) 土製紡錘車



本村北遺跡 H 地点 (発掘) 土製紡錘車



本村北遺跡 H 地点 (発掘) 完掘 (南から)



本村北遺跡 H 地点 (発掘) 1号住居跡カマド (南から)



1



2



3



4



5



7



8

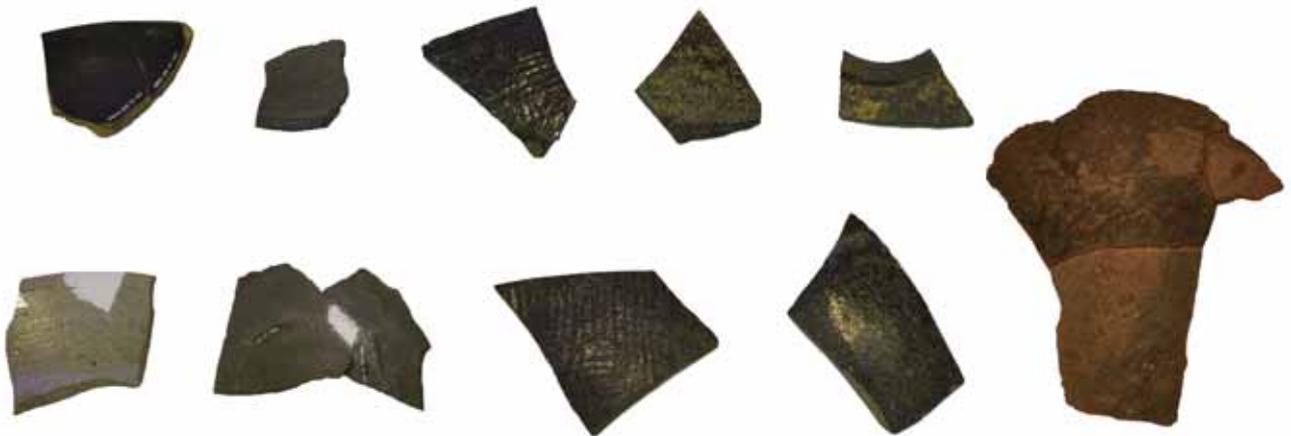


6

本村北遺跡 H 地点 (発掘) 1号住居跡出土遺物 (1/3)



本村北遺跡 H 地点（発掘） 2 号住居跡出土遺物（1/3）



本村北遺跡 H 地点（発掘） 3 号住居跡出土遺物（1/3）



整理作業風景



整理作業風景



古井戸山遺跡 次（発掘） 住居跡調査風景



古井戸山遺跡 次（発掘） 住居跡完掘（東から）



古井戸山遺跡 次（発掘） 土層堆積状況（南東から）



古井戸山遺跡 次（発掘） 石核出土状況（北から）



古井戸山遺跡 次（発掘） 土層堆積状況（北から）



古井戸山遺跡 次（発掘） 石核



古井戸山遺跡 次（発掘） 完掘（南東から）



古井戸山遺跡 次（発掘） 埋め戻し



² 正位置は 90° 回転右転



中東遺跡第9地点（発掘） 調査風景



中東遺跡第9地点（発掘） 調査風景



中東遺跡第9地点（発掘） 石器集中1（北から）



石器集中1 土層堆積状況（北から）



石器集中1 ナイフ形石器



石器集中1 ナイフ形石器



石器集中1 ナイフ形石器



石器集中1 ナイフ形石器



中東遺跡第9地点(発掘) 石器集中2(南から)



石器集中2 石核



中東遺跡第9地点(発掘) 石器集中3(北から)



石器集中3 土層堆積状況(北から)



石器集中3 剥片



石器集中3 剥片



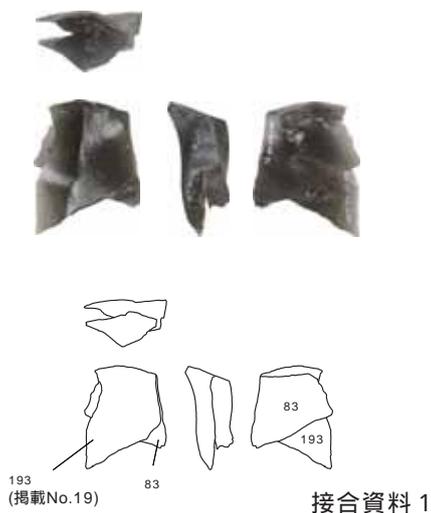
石器集中1・石器集中2 完掘(南から)



石器集中3 完掘(北から)



中東遺跡第9地点（発掘）第層下部～第層出土遺物（2/3）





1



3



2



4



5



6



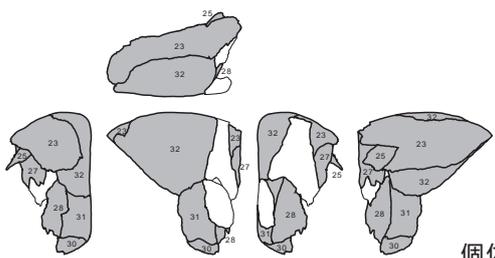
7



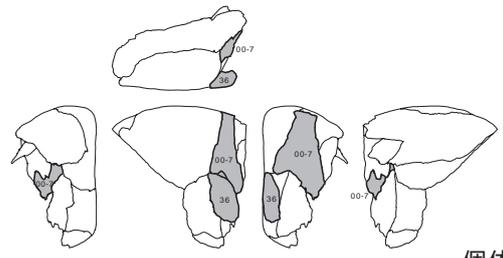
8



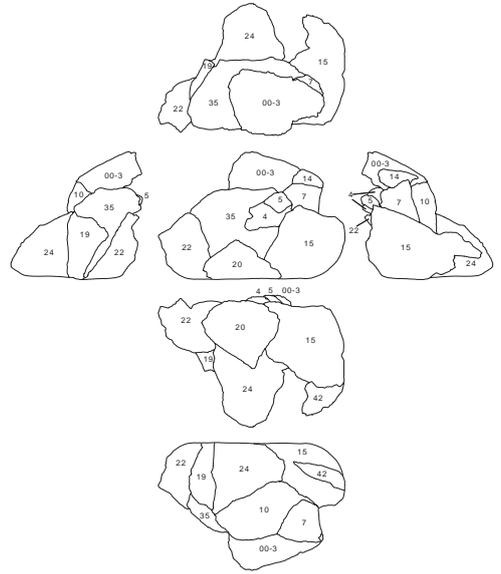
接合資料 1



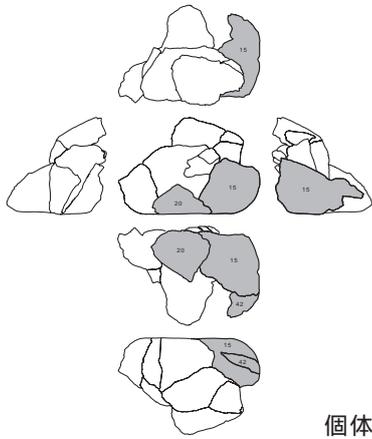
個体 A



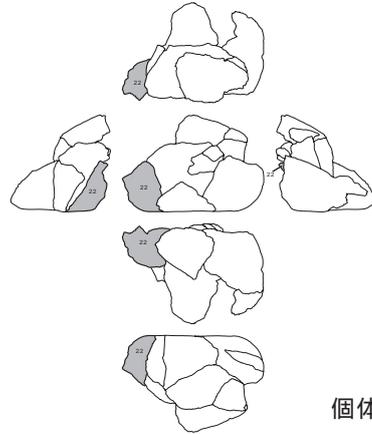
個体 B



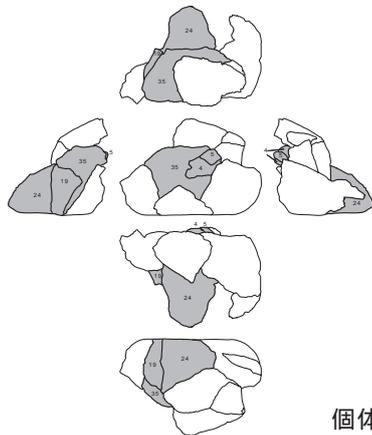
接合資料 2



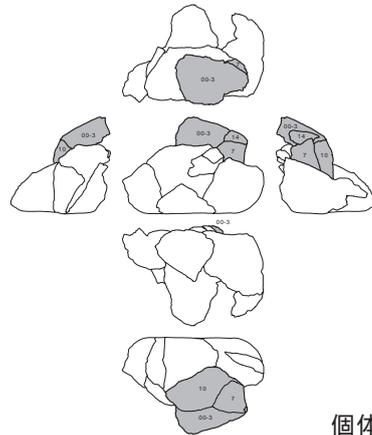
個体 A



個体 B



個体 C



個体 D

報 告 書 抄 録

ふりがな	ちょうないいせきはくつちょうさほうこくしょ						
書 名	町内遺跡発掘調査報告書	巻 次					
副書名							
巻 名							
シリーズ名	三芳町埋蔵文化財報告						
シリーズ番号	42						
編著者名	越前谷 理						
編集機関	三芳町教育委員会						
所在地	〒 354-8555 埼玉県入間郡三芳町大字藤久保 1100 番地 1						
発行年月日	2017 年(平成 29 年) 3 月 24 日						
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北 緯 東 経	調査期間	調査 面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡 番号				
なかひがしいせき 中東遺跡 だいろくちてん(にじ) 第 6 地点(2 次)	かみとめ 上富 178-7,-14 他	113247	32-020	35° 50 06 139° 30 21	20130927 20131204	542	倉庫増設
ほんむらみなみいせきだいじゅうにちてん 本村南遺跡第 12 地点	ちくまざわ 竹間沢 832-12 他	113247	32-001	35° 49 27 139° 33 01	20150127 20150216	374	個人住宅 建築
ほんむらきたいせきえちてん 本村北遺跡 H 地点	ちくまざわ 竹間沢 785-1,-6 他	113247	32-003	35° 49 31 139° 32 56	20150218 20150302	1,648	個人住宅 建築
ふるいどやまいせきはちじ 古井戸山遺跡 次	ちくまざわ 竹間沢 933-1 の一部	113247	32-002	35° 49 17 139° 32 50	20140924 20141003	150	無線基地局 建設
なかひがしいせきだいきゅうちてん 中東遺跡第 9 地点	かみとめ 上富 195-2 他	113247	32-020	35° 50 06 139° 30 25	20150108 20150327	1,742	資材置場 及び駐車場 造成
所収遺跡	種別	主な時代		主な遺構	主な遺物		特記事項
中東遺跡第 6 地点(2 次)	キャンプ跡	旧石器時代		第 層遺物包含層	ナイフ形石器		
本村南遺跡第 12 地点	集落跡	弥生時代		弥生時代後期 住居跡 1	弥生土器片等		
本村北遺跡 H 地点	集落跡	平安時代		平安時代 住居跡 3	土師器片・須恵器 片・土製紡錘車等		
古井戸山遺跡 次	集落跡	旧石器時代		第 層・第 層遺物 包含層・ 時期不明住居跡 1・ 焼土遺構 1	ナイフ形石器・石 核等		
中東遺跡第 9 地点	キャンプ跡	旧石器時代		第 層下部～第 層 石器集中 2・第 層 石器集中 1	ナイフ形石器・石 核・剥片等		

三芳町埋蔵文化財報告 42

町内遺跡発掘調査報告書

発行日 平成 29 年 3 月 24 日

編集機関 三芳町教育委員会

入間郡三芳町大字藤久保 1100-1

Tel.049-258-0019

発行 三芳町教育委員会

印刷 梅田印刷株式会社